

「保護施設の支援機能の実態把握と課題分析に関する調査研究事業」
＜アンケート調査＞

[利用者調査]

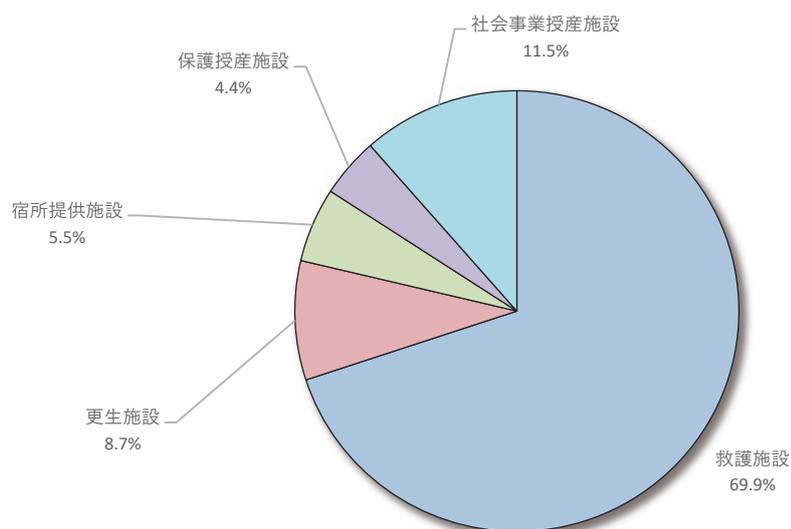
集計対象数： 13,248人

利用者について

施設種別別 回答施設数

(n= 183)

	施設数	割合
1: 救護施設	128	69.9%
2: 更生施設	16	8.7%
3: 宿所提供施設	10	5.5%
4: 保護授産施設	8	4.4%
5: 社会事業授産施設	21	11.5%
合計	183	100%

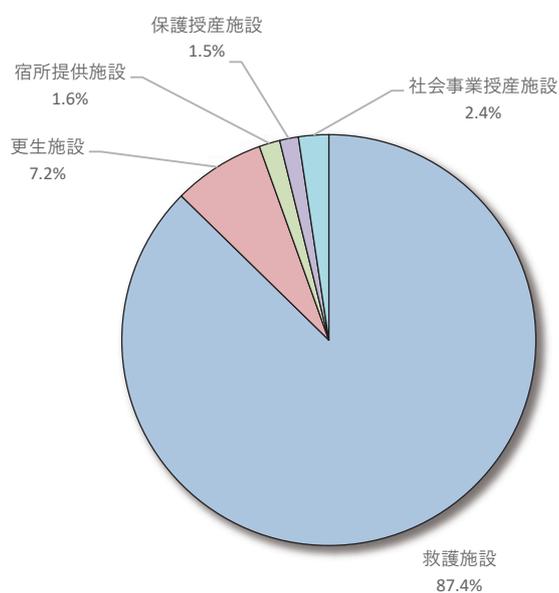


利用者について

施設種別別 回答利用者数

(n= 13,248)

	人数	割合
1: 救護施設	11,575	87.4%
2: 更生施設	952	7.2%
3: 宿所提供施設	215	1.6%
4: 保護授産施設	194	1.5%
5: 社会事業授産施設	312	2.4%
合計	13,248	100%



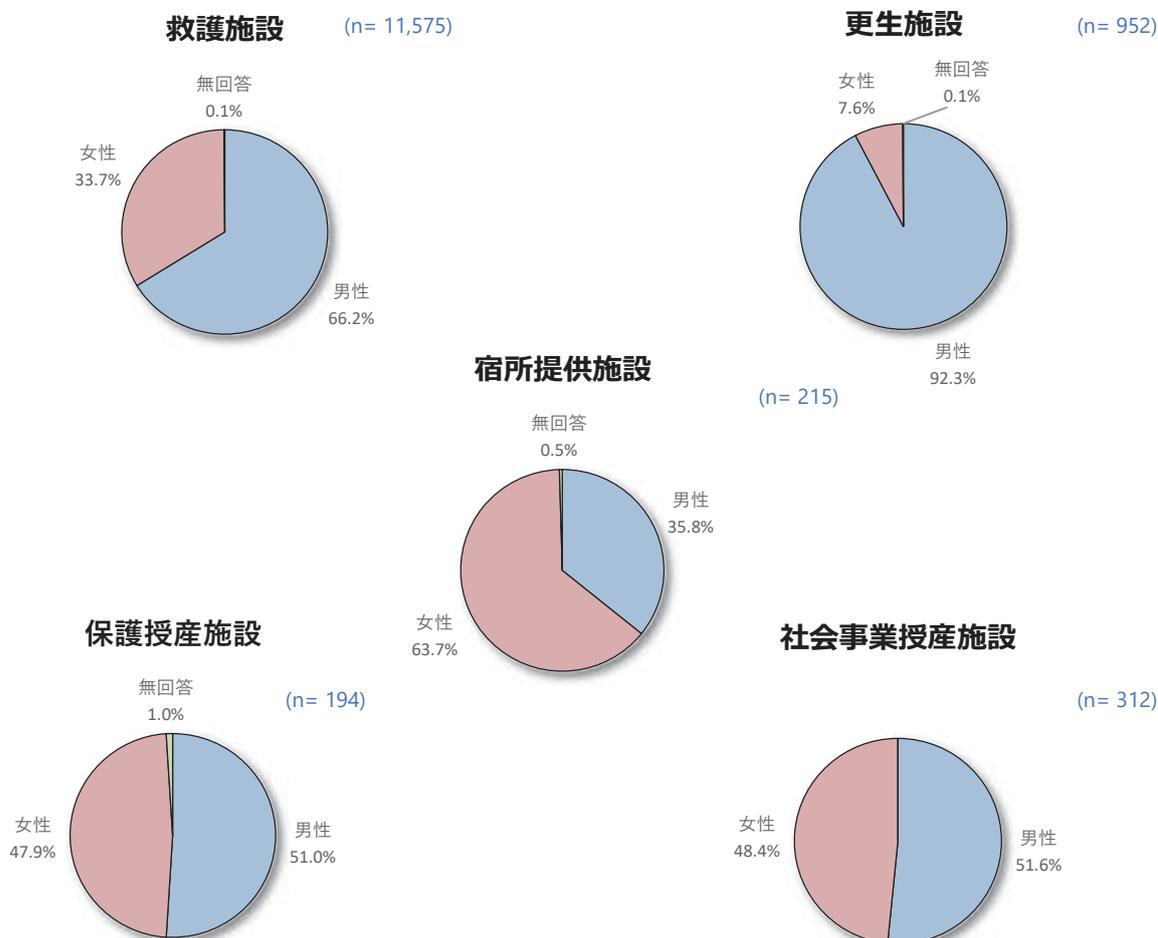
1. 基本情報

(1) 性別

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 男性	7,666	66.2%	879	92.3%	77	35.8%	99	51.0%	161	51.6%
2: 女性	3,898	33.7%	72	7.6%	137	63.7%	93	47.9%	151	48.4%
無回答	11	0.1%	1	0.1%	1	0.5%	2	1.0%	0	0.0%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は男性が7,666人（66.2%）、女性が3,898人（33.7%）である。
 更生施設は男性が879人（92.3%）、女性が72人（7.6%）である。
 宿所提供施設は男性が77人（35.8%）、女性が137人（63.7%）である。
 保護授産施設は男性が99人（51.0%）、女性が93人（47.9%）である。
 社会事業授産施設は男性が161人（51.6%）、女性が151人（48.4%）である。
 入所者における男性の占める割合が最も多い施設種別は更生施設（92.3%）、次いで救護施設（66.2%）、社会事業授産施設（51.6%）、保護授産施設（51.0%）と続いている。
 入所者における女性の占める割合が最も多い施設種別は宿所提供施設（63.7%）、次いで社会事業授産施設（48.4%）、保護授産施設（47.9%）と続いている。



1. 基本情報

(2) 年齢

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 20歳未満	5	0.0%	2	0.2%	6	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
2: 20歳以上30歳未満	67	0.6%	55	5.8%	22	10.2%	7	3.6%	3	1.0%
3: 30歳以上40歳未満	232	2.0%	85	8.9%	28	13.0%	23	11.9%	15	4.8%
4: 40歳以上50歳未満	881	7.6%	182	19.1%	41	19.1%	28	14.4%	40	12.8%
5: 50歳以上60歳未満	2,114	18.3%	312	32.8%	43	20.0%	59	30.4%	57	18.3%
6: 60歳以上65歳未満	1,962	17.0%	108	11.3%	17	7.9%	36	18.6%	47	15.1%
7: 65歳以上	6,314	54.5%	208	21.8%	58	27.0%	41	21.1%	150	48.1%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均	64.7歳		53.7歳		51.4歳		55.4歳		62.5歳	
最大	99歳		87歳		86歳		84歳		93歳	
最小	18歳		19歳		18歳		20歳		20歳	

救護施設は「65歳以上」が最も多く6,314人（54.5%）であり、次いで「50歳以上60歳未満」2,114人（18.3%）、「60歳以上65歳未満」1,962人（17.0%）と続いている。

更生施設は「50歳以上60歳未満」が最も多く312人（32.8%）であり、次いで「65歳以上」208人（21.8%）、「40歳以上50歳未満」182人（19.1%）と続いている。

宿所提供施設は「65歳以上」が最も多く58人（27.0%）であり、次いで「50歳以上60歳未満」43人（20.0%）、「40歳以上50歳未満」41人（19.1%）と続いている。

保護授産施設は「50歳以上60歳未満」が最も多く59人（30.4%）であり、次いで「65歳以上」41人（21.1%）、「60歳以上65歳未満」36人（18.6%）と続いている。

社会授産施設は「65歳以上」が最も多く150人（48.1%）であり、次いで「50歳以上60歳未満」57人（18.3%）、「60歳以上65歳未満」47人（15.1%）と続いている。

「65歳以上」の占める割合は、救護施設が最も多く（54.5%）、次いで社会事業授産施設（48.1%）、宿所提供施設（27.0%）、更生施設（21.8%）と続く。

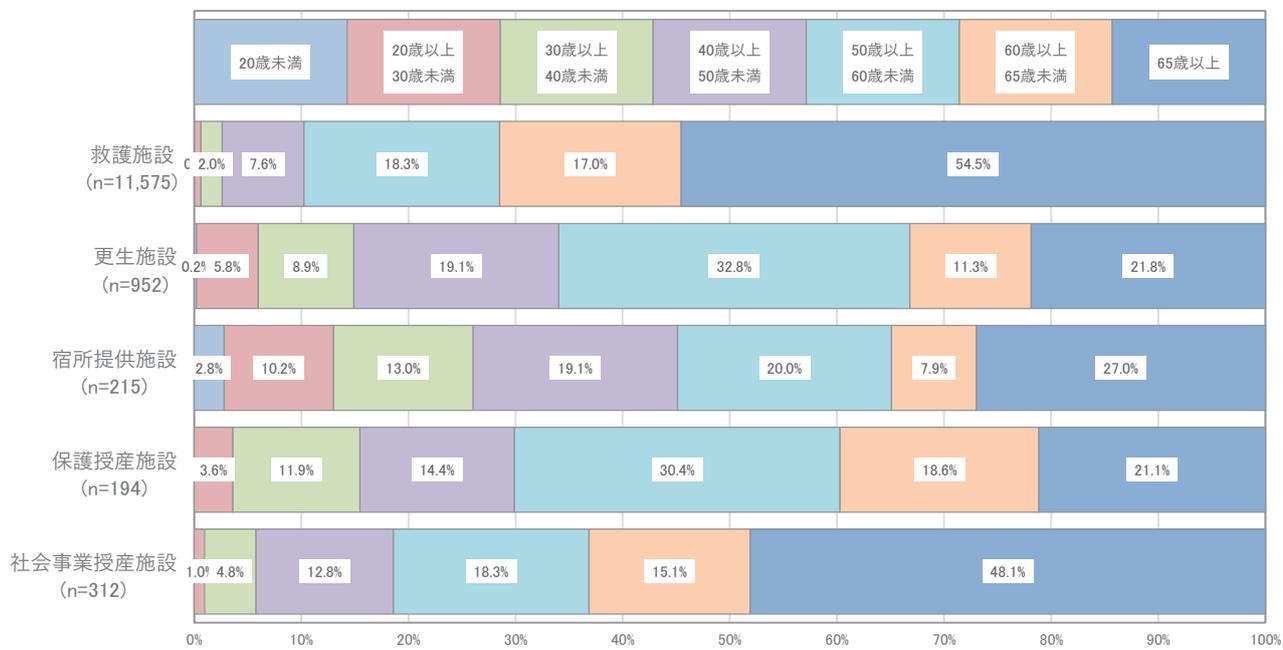
「30歳以上40歳未満」の占める割合は、宿所提供施設が最も多く（13.0%）、次いで保護授産施設（11.9%）、更生施設（8.9%）と続いている。

平均年齢は、救護施設が最も高く64.7歳であり、次いで社会事業授産施設62.5歳、保護授産施設55.4歳、更生施設53.7歳と続いている。

1. 基本情報

(2) 年齢

10/1現在の年齢



1. 基本情報

(3) 入所(利用)期間

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 1年未満	1,552	13.4%	552	58.0%	169	78.6%	45	23.2%	31	9.9%
2: 1年以上2年未満	1,331	11.5%	218	22.9%	1	0.5%	23	11.9%	20	6.4%
3: 2年以上3年未満	976	8.4%	73	7.7%	5	2.3%	14	7.2%	13	4.2%
4: 3年以上4年未満	837	7.2%	52	5.5%	10	4.7%	20	10.3%	20	6.4%
5: 4年以上5年未満	630	5.4%	18	1.9%	7	3.3%	11	5.7%	18	5.8%
6: 5年以上10年未満	2,221	19.2%	34	3.6%	10	4.7%	27	13.9%	72	23.1%
7: 10年以上	4,028	34.8%	5	0.5%	13	6.0%	54	27.8%	138	44.2%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均	11年2か月		1年4か月		2年9か月		7年5か月		10年9か月	
最大	62年3か月		13年11か月		31年6か月		42年5か月		56年6か月	
最小	0か月		0か月		0か月		0か月		0か月	

救護施設は「10年以上」が最も多く4,028人（34.8%）であり、次いで「5年以上10年未満」2,221人（19.2%）、「1年未満」1,552人（13.4%）、「1年以上2年未満」1,331人（11.5%）と続いている。

更生施設は「1年未満」が最も多く552人（58.0%）であり、次いで「1年以上2年未満」218人（22.9%）、「2年以上3年未満」73人（7.7%）、「3年以上4年未満」52人（5.5%）と続いている。

宿所提供施設は「1年未満」が最も多く169人（78.6%）であり、次いで「10年以上」63人（6.0%）、「3年以上4年未満」、「5年以上10年未満」が共に10人（4.71%）と続いている。

保護授産施設は「10年以上」が最も多く54人（27.8%）であり、次いで「1年未満」45人（23.2%）、「5年以上10年未満」27人（13.9%）、「1年以上2年未満」23人（11.9%）と続いている。

社会授産施設は「10年以上」が最も多く138人（44.2%）であり、次いで「5年以上10年未満」72人（23.1%）、「1年以上2年未満」、「3年以上4年未満」が共に20人（6.4%）と続いている。

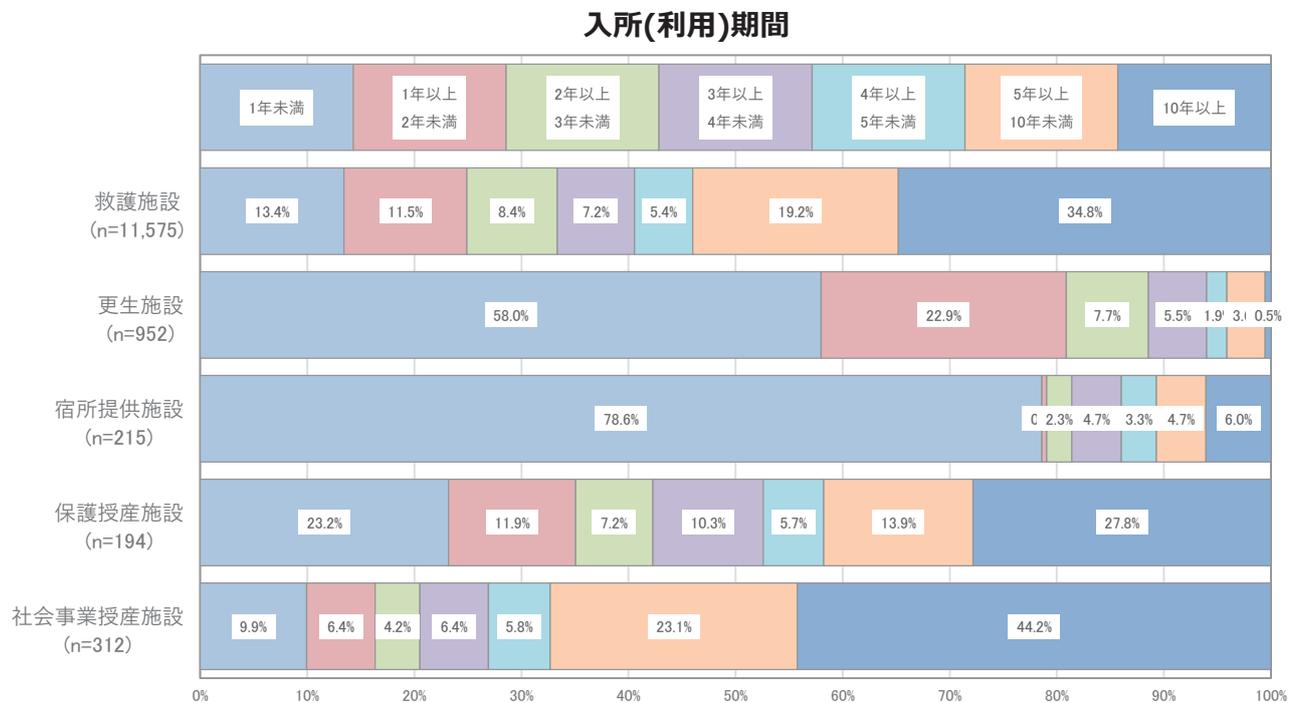
「10年以上」の占める割合は、社会事業授産施設が最も多く（44.2%）であり、次いで救護施設（34.8%）、保護授産施設（27.8%）、宿所提供施設（6.0%）と続く。

「1年未満」の占める割合は、宿所提供施設が最も多く（78.6%）であり、次いで更生施設（58.0%）、保護授産施設（23.2%）、救護施設（13.4%）と続いている。

平均入所（利用）期間は、救護施設が最も長く（11年2か月）、次いで社会事業授産施設（10年9か月）、保護授産施設（7年5か月）、宿所提供施設（2年9か月）と続いている。

1. 基本情報

(3) 入所(利用)期間



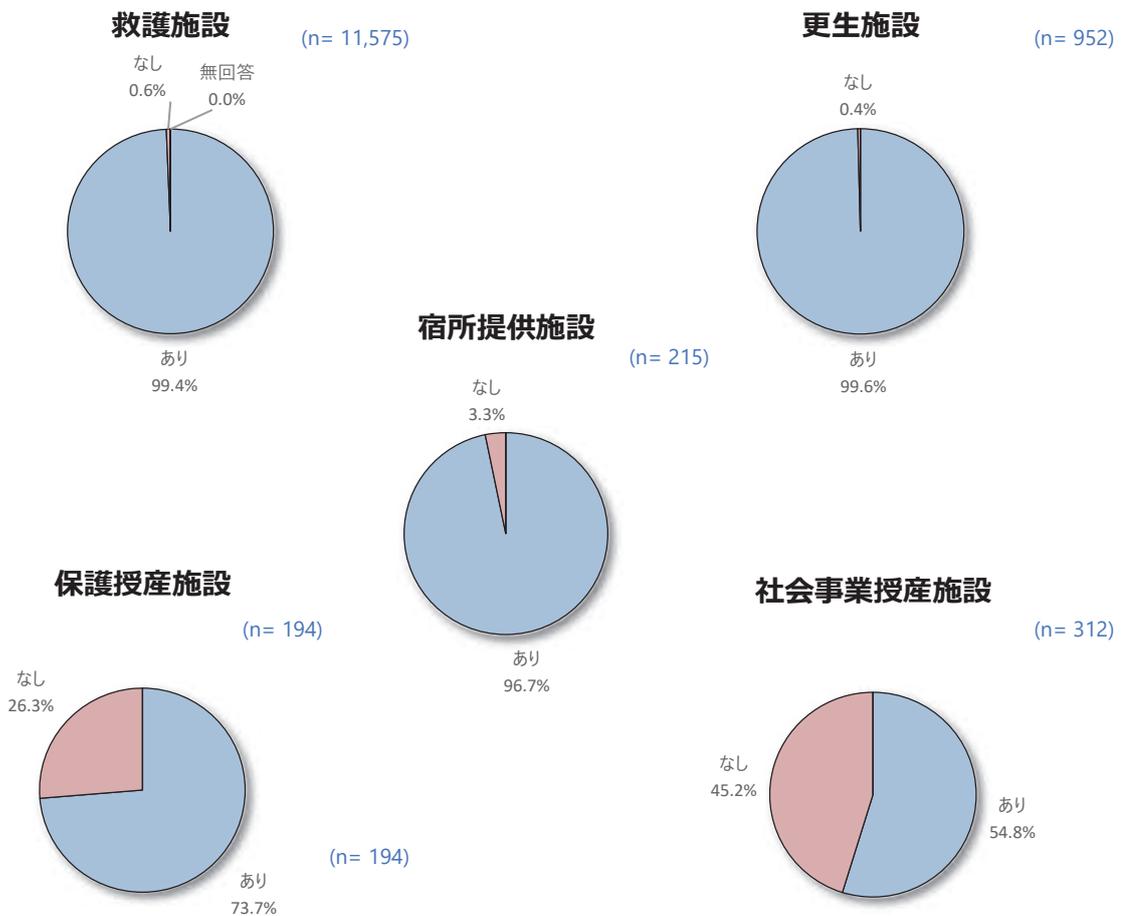
1. 基本情報

(4) 生活保護の受給の有無

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: あり	11,503	99.4%	948	99.6%	208	96.7%	143	73.7%	171	54.8%
2: なし	70	0.6%	4	0.4%	7	3.3%	51	26.3%	141	45.2%
無回答	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は「あり」が11,503人（99.4%）、「なし」が70人（0.6%）である。
 更生施設は「あり」が948人（99.6%）、「なし」が4人（0.4%）である。
 宿所提供施設は「あり」が208人（96.7%）、「なし」が7人（3.3%）である。
 保護授産施設は「あり」が143人（73.7%）、「なし」が51人（26.3%）である。
 社会事業授産施設は「あり」が171人（54.8%）、「なし」が141人（45.2%）である。
 生活保護受給の「あり」が占める割合は、更生施設が最も多く（99.6%）、次いで救護施設（99.4%）、宿所提供施設（96.7%）、保護授産施設（73.7%）と続いている。



1. 基本情報

(4) 生活保護の受給の有無

◆自己負担

(n= 12,973)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 自己負担なし	7,807	67.9%	788	83.1%	202	97.1%	143	100.0%	155	90.6%
2: 施設事務費の一部自己負担あり	3,630	31.6%	157	16.6%	6	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	66	0.6%	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	16	9.4%
合計	11,503	100%	948	100%	208	100%	143	100%	171	100%

救護施設は「自己負担なし」が7,807人（67.9%）、「施設事務費の一部自己負担あり」が3,630人（31.6%）である。

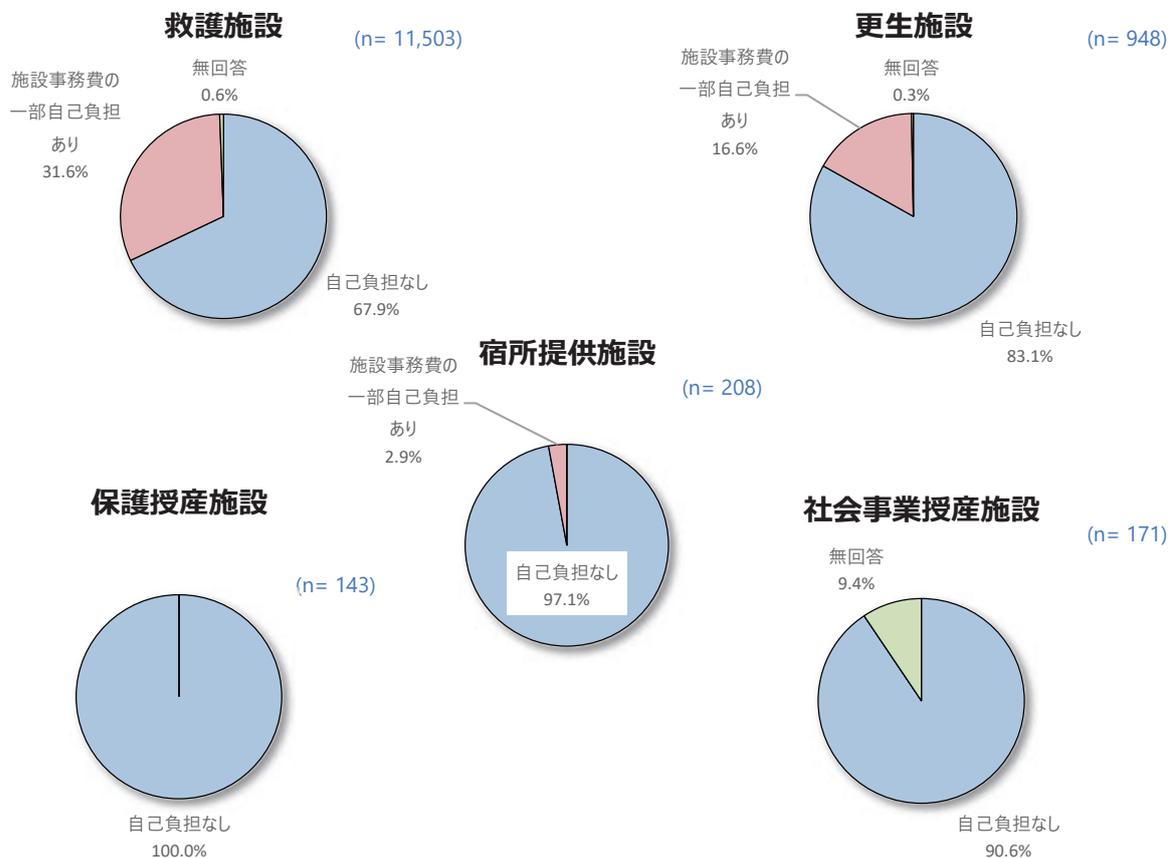
更生施設は「自己負担なし」が788人（83.1%）、「施設事務費の一部自己負担あり」が157人（16.6%）である。

宿所提供施設は「自己負担なし」が202人（97.1%）、「施設事務費の一部自己負担あり」が6人（2.9%）である。

保護授産施設は143人全員が「自己負担なし」である。

社会事業授産施設は「自己負担なし」が155人（90.6%）である。

「施設事務費の一部自己負担あり」の占める割合は、救護施設が最も多く（31.6%）、次いで更生施設（16.6%）、宿所提供施設（2.9%）と続いている。



1. 基本情報

(4) 生活保護の受給の有無 [宿所提供施設]

◆世帯

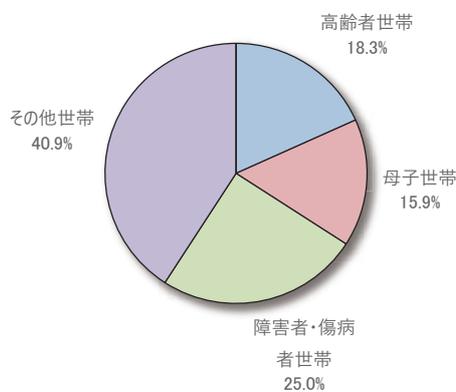
(n= 208)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 高齢者世帯					38	18.3%				
2: 母子世帯					33	15.9%				
3: 障害者・傷病者世帯					52	25.0%				
4: その他世帯					85	40.9%				
無回答					0	0.0%				
合計					208	100%				

「その他世帯」が最も多く85世帯（40.9%）であり、次いで「障害者・傷病者世帯」52世帯（25.0%）、「高齢者世帯」38世帯（18.3%）と続いている。

宿所提供施設

(n= 208)



1. 基本情報

(5) 障害者加算の停止の有無

(n = 12,973)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 加算あり (受給中)	4,692	40.8%	148	15.6%	11	5.3%	10	7.0%	0	0.0%
2: 加算あり (停止中)	1,976	17.2%	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3: 加算なし	4,818	41.9%	792	83.5%	197	94.7%	131	91.6%	119	69.6%
無回答	17	0.1%	3	0.3%	0	0.0%	2	1.4%	52	30.4%
合計	11,503	100%	948	100%	208	100%	143	100%	171	100%

救護施設は「加算なし」が最も多く4,818人（41.9%）、次いで「加算あり（受給中）」が4,692人（40.8%）、「加算あり（停止中）」が1,976人（17.2%）と続いている。

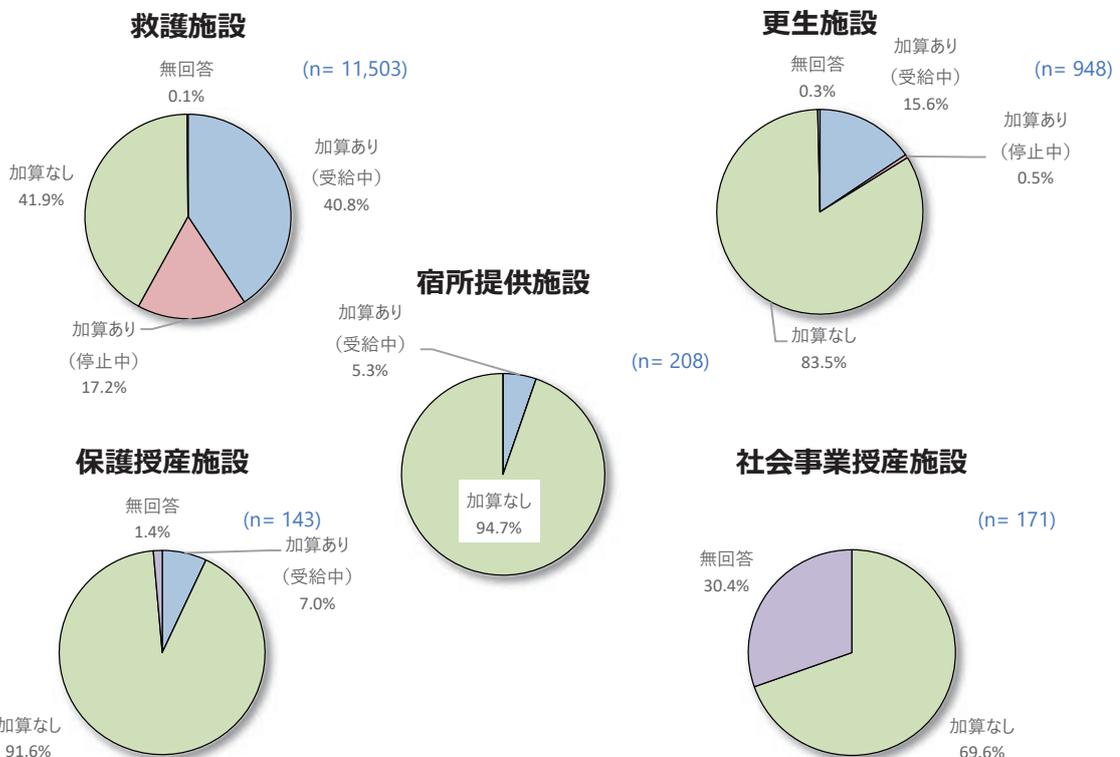
更生施設は「加算なし」が最も多く792人（83.5%）、次いで「加算あり（受給中）」が148人（15.6%）、「加算あり（停止中）」が5人（0.5%）と続いている。

宿所提供施設は「加算なし」が197人（94.7%）、「加算あり（受給中）」が11人（5.3%）である。

保護授産施設は「加算なし」が最も多く131人（91.6%）、次いで「加算あり（受給中）」が10人（7.0%）である。

社会事業授産施設は「加算なし」が119人（69.6%）である。

「加算あり（受給中）」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（40.8%）、次いで更生施設（15.6%）、保護授産施設（7.0%）と続いている。



1. 基本情報

(6) 入所前の状況(居所等) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

(n= 12,742)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 居宅	2,993	25.9%	116	12.2%	110	51.2%				
2: 救護施設	614	5.3%	2	0.2%	1	0.5%				
3: 更生施設	153	1.3%	6	0.6%	8	3.7%				
4: 宿所提供施設	37	0.3%	15	1.6%	1	0.5%				
5: ホームレス自立支援センター（一時生活支援事業）	86	0.7%	117	12.3%	0	0.0%				
6: シェルター（一時生活支援事業）	96	0.8%	11	1.2%	13	6.0%				
7: 無料低額宿泊所	239	2.1%	178	18.7%	1	0.5%				
8: 旅館・宿泊施設等（無料低額宿泊所以外）	22	0.2%	94	9.9%	1	0.5%				
9: 障害者支援施設	259	2.2%	3	0.3%	0	0.0%				
10: 共同生活介護（ケアホーム）（旧法）	14	0.1%	0	0.0%	0	0.0%				
11: 共同生活援助（グループホーム）	179	1.5%	7	0.7%	1	0.5%				
12: 福祉ホーム	17	0.1%	0	0.0%	0	0.0%				
13: 介護保険施設	94	0.8%	1	0.1%	0	0.0%				
14: 介護保険施設以外の老人福祉施設	44	0.4%	3	0.3%	0	0.0%				
15: 児童福祉施設	74	0.6%	0	0.0%	2	0.9%				
16: 婦人保護施設	89	0.8%	1	0.1%	1	0.5%				
17: その他の社会福祉施設	134	1.2%	8	0.8%	3	1.4%				
18: 精神科病院	4,221	36.5%	162	17.0%	2	0.9%				
19: 一般病院	1,328	11.5%	103	10.8%	4	1.9%				
20: 司法施設	174	1.5%	14	1.5%	6	2.8%				
21: 友人・知人宅	108	0.9%	16	1.7%	14	6.5%				
22: 野宿生活	391	3.4%	72	7.6%	23	10.7%				
23: その他	196	1.7%	20	2.1%	23	10.7%				
無回答	13	0.1%	3	0.3%	1	0.5%				
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%				

救護施設は「精神科病院」が最も多く4,221人（36.5%）であり、次いで「居宅」2,993人（25.9%）、「一般病院」1,328人（11.5%）、「救護施設」（5.3%）と続いている。

更生施設は「無料低額宿泊所」が最も多く178人（18.7%）であり、次いで「精神科病院」162人（17.0%）、「ホームレス自立支援センター（一時生活支援事業）」117人（12.3%）、「居宅」116人（12.2%）と続いている。

宿所提供施設は、「居宅」が最も多く110人（51.2%）であり、次いで、「野宿生活」、「その他」が共に23人（10.7%）、「友人・知人」14人（6.5%）と続いている。

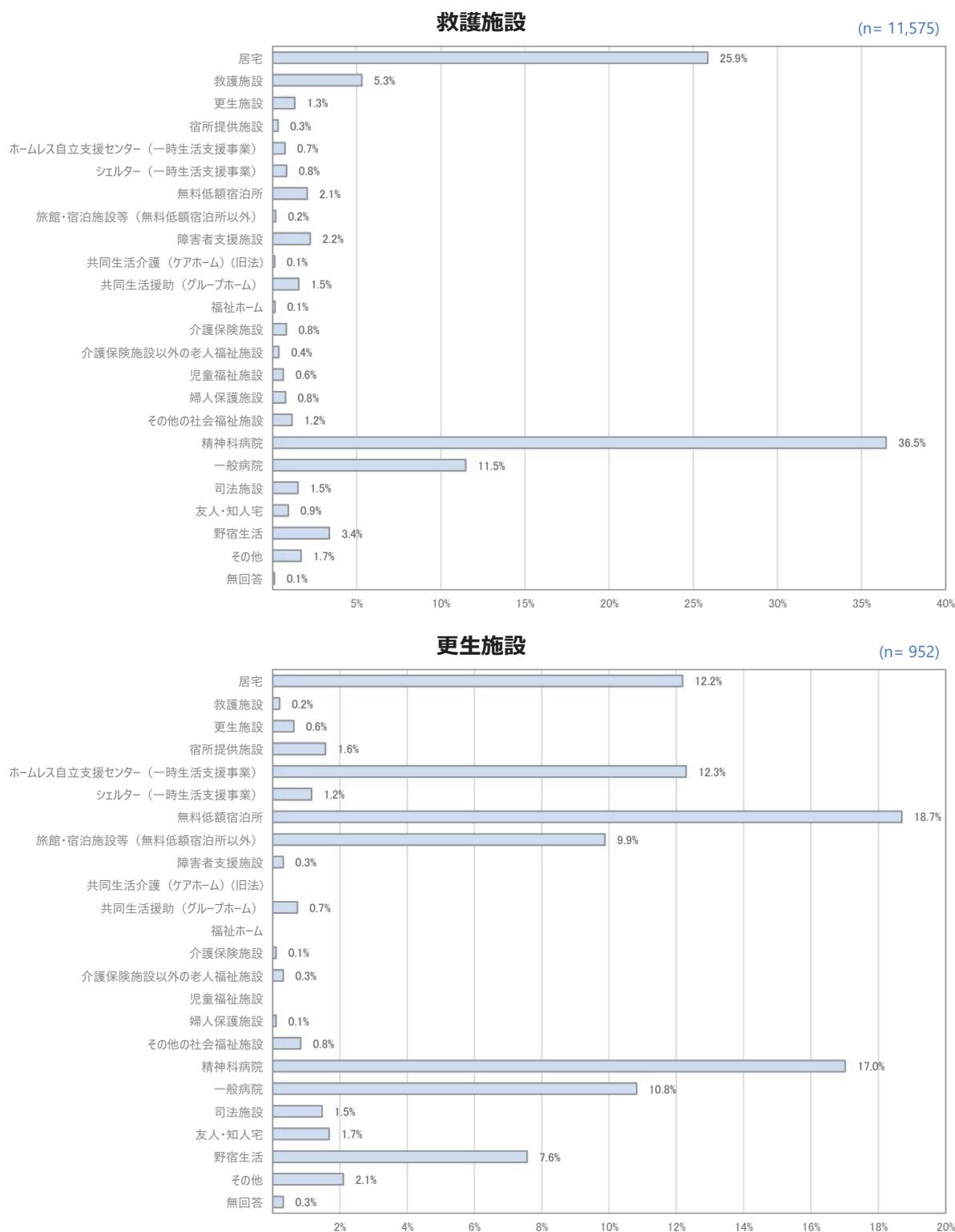
「精神科病院」の占める割合は救護施設が最も多く（36.5%）、次いで、更生施設（17.0%）、宿所提供施設（0.9%）と続いている。

「無料低額宿泊所」の占める割合は更生施設が最も多く（18.7%）、次いで、救護施設（2.1%）、宿所提供施設（0.5%）と続いている。

「居宅」の占める割合は、宿所提供施設が最も多く（51.2%）、次いで救護施設（25.9%）、更生施設（12.2%）と続いている。

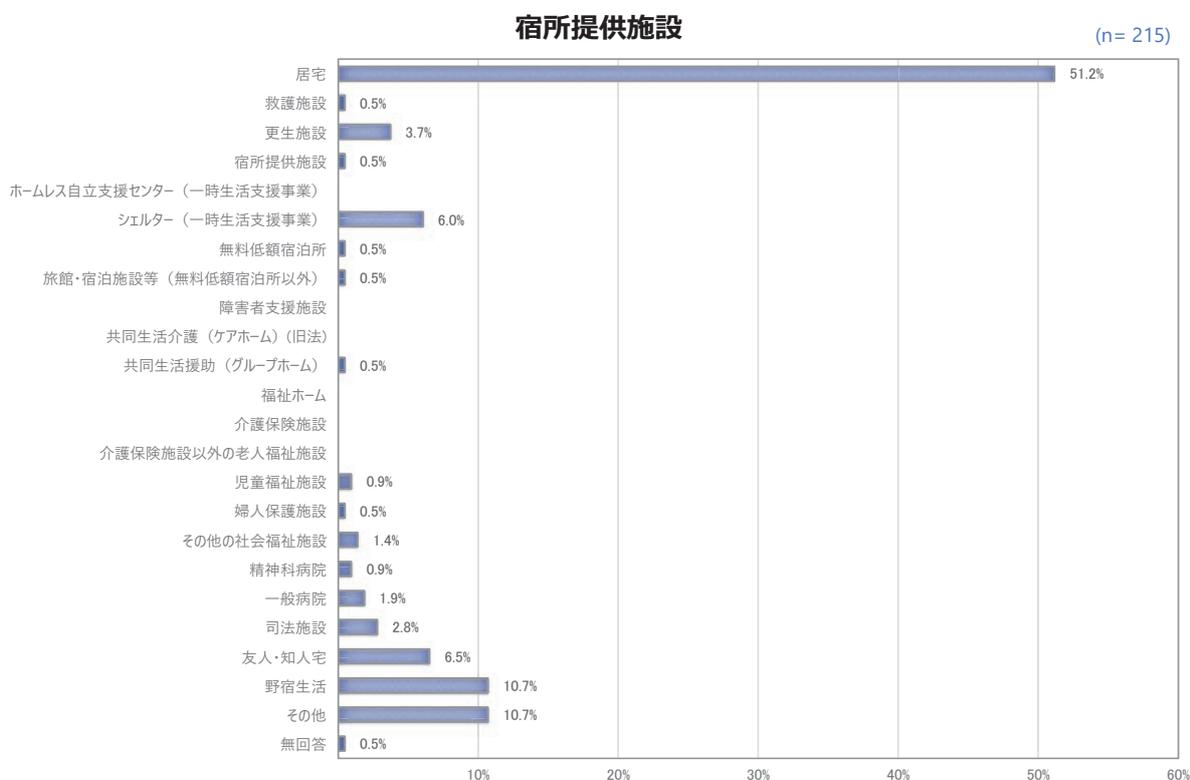
1. 基本情報

(6) 入所前の状況(居所等) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]



1. 基本情報

(6) 入所前の状況(居所等) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]



1. 基本情報

(6) 入所前の状況(居所等) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

《主なその他の内容》

救護施設

- ・ 社員寮・住み込み等
- ・ 記憶障害等により不明
- ・ 避難所

更生施設

- ・ 社員寮
- ・ ネットカフェ
- ・ 海外

宿所提供施設

- ・ ネットカフェ

1. 基本情報

(7) 住居 [保護授産施設・社会事業授産施設]

(n= 506)

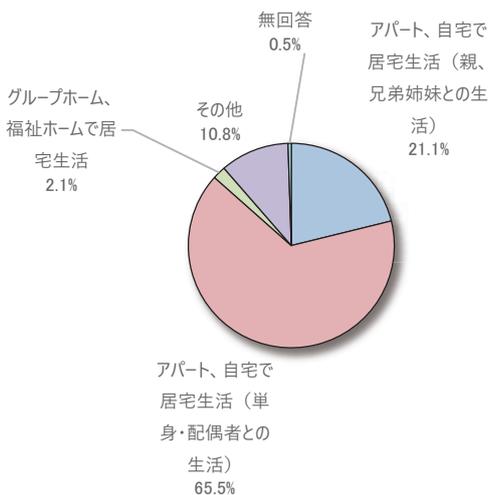
	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: アパート、自宅で居宅生活（親、兄弟姉妹との生活）							41	21.1%	69	22.1%
2: アパート、自宅で居宅生活（単身・配偶者との生活）							127	65.5%	223	71.5%
3: グループホーム、福祉ホームで居宅生活							4	2.1%	13	4.2%
4: その他							21	10.8%	0	0.0%
無回答							1	0.5%	7	2.2%
合計							194	100%	312	100%

保護授産施設では「アパート、自宅で居宅生活（単身・配偶者との生活）」が最も多く127人（65.5%）であり、次いで「アパート、自宅で居宅生活（親、兄弟姉妹との生活）」41人（21.1%）、その他21人（10.8%）、「グループホーム、福祉ホームで居宅生活」4人（2.1%）と続いている。

社会事業授産施設では「アパート、自宅で居宅生活（単身・配偶者との生活）」が最も多く223人（71.5%）であり、次いで「アパート、自宅で居宅生活（親、兄弟姉妹との生活）」が69人（22.1%）、「グループホーム、福祉ホームで居宅生活」が13人（4.2%）と続いている。

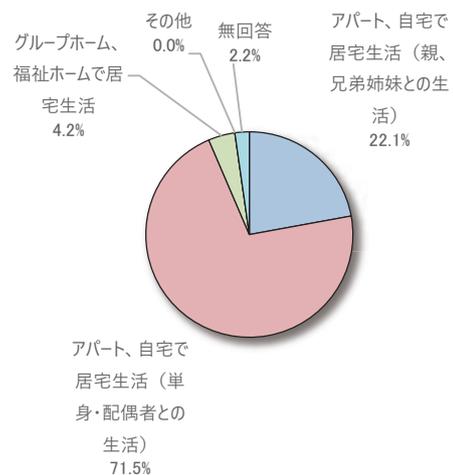
保護授産施設

(n= 194)



社会事業授産施設

(n= 312)



1. 基本情報

(7) 住居 [保護授産施設・社会事業授産施設]

《主なその他の内容》

保護授産施設

- 母子生活支援施設

1. 基本情報

(8) 入所(利用)理由

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 緊急的に入所(利用)の必要性がある	1,522	13.1%	151	15.9%	161	74.9%	20	10.3%	1	0.3%
2: 本人の状態から施設入所(利用)が必要である	10,588	91.5%	875	91.9%	85	39.5%	137	70.6%	234	75.0%
3: 地域に他の施設・事業者が見つからない	1,515	13.1%	20	2.1%	10	4.7%	7	3.6%	30	9.6%
4: 他施設の入所(利用)待機の状態である	74	0.6%	17	1.8%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
5: 他施設での受け入れが困難	682	5.9%	24	2.5%	5	2.3%	0	0.0%	4	1.3%
6: 他制度の対象とならないため	868	7.5%	56	5.9%	18	8.4%	45	23.2%	15	4.8%
7: その他	205	1.8%	1	0.1%	21	9.8%	0	0.0%	47	15.1%
有効回答数	11,575	-	952	-	215	-	194	-	312	-

救護施設では「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」が最も多く10,588人(91.5%)であり、次いで「緊急的に入所(利用)の必要性がある」1,522人(13.1%)、「地域に他の施設・事業者が見つからない」1,515人(13.1%)、「他制度の対象とならないため」868人(7.5%)と続いている。

更生施設では「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」が最も多く875人(91.9%)であり、次いで「緊急的に入所(利用)の必要性がある」151人(15.9%)、「他制度の対象とならないため」56人(5.9%)、「他施設での受け入れが困難(例/暴力、虐待、債務、触法、依存症等)」24人(2.5%)と続いている。

宿所提供施設では「緊急的に入所(利用)の必要性がある」が最も多く161人(74.9%)であり、次いで「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」85人(39.5%)、「その他」21人(9.8%)、「他制度の対象とならないため」18人(8.4%)と続いている。

保護授産施設では「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」が最も多く137人(70.6%)であり、次いで「他制度の対象とならないため」45人(23.2%)、「緊急的に入所(利用)の必要性がある」20人(10.3%)、「地域に他の施設・事業者が見つからない」7人(3.6%)と続いている。

社会事業授産施設では「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」が最も多く、234人(75.0%)であり、次いで「その他」47人(15.1%)、「地域に他の施設・事業者が見つからない」30人(9.6%)、「他制度の対象とならないため」15人(4.8%)と続いている。

「本人の状態から施設入所(利用)が必要である」の占める割合が最も多い施設種別は更生施設(91.9%)であり、次いで救護施設(91.5%)、社会事業授産施設(75.0%)である。

「緊急的に入所(利用)の必要性がある」の占める割合が最も多い施設種別は宿所提供施設(74.9%)であり、次いで更生施設(15.9%)、救護施設(13.1%)と続いている。

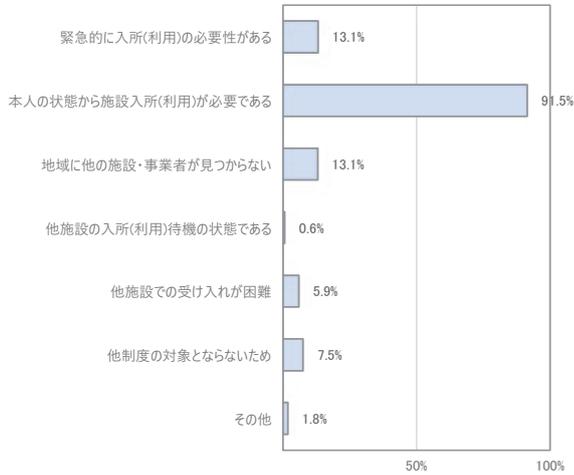
「地域に他の施設・事業者が見つからない」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設(13.1%)であり、次いで社会事業授産施設(9.6%)、宿所提供施設(4.7%)と続いている。

「他の制度対象とならないため」の占める割合が最も多い施設種別は保護授産施設(23.2%)であり、次いで宿所提供施設(8.4%)、救護施設(7.5%)と続いている。

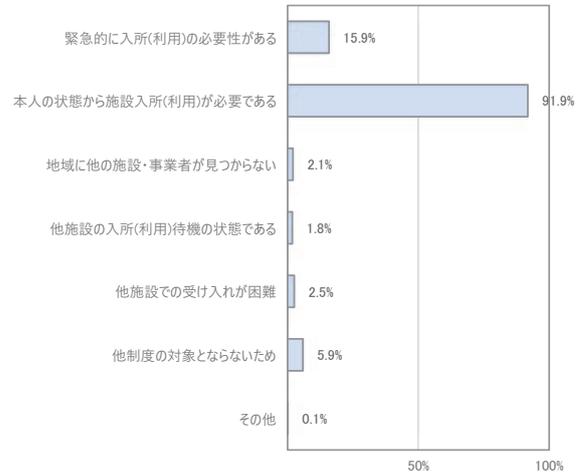
1. 基本情報

(8) 入所(利用)理由

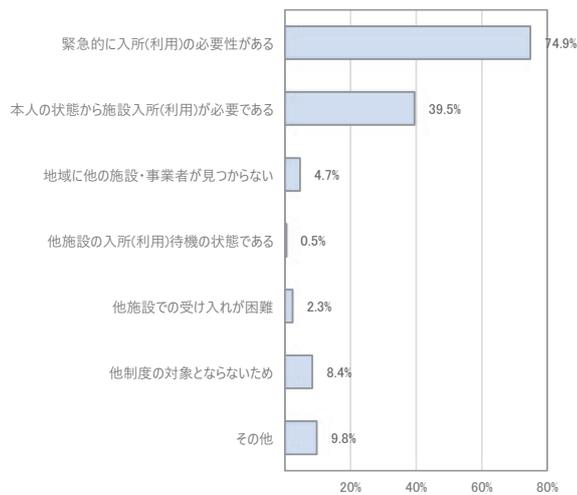
救護施設 (n= 11,575)



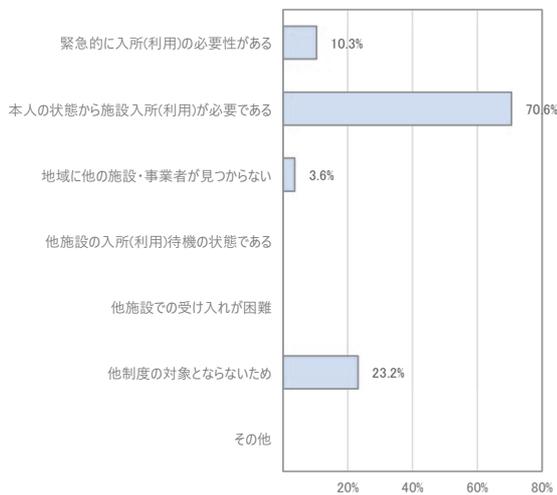
更生施設 (n= 952)



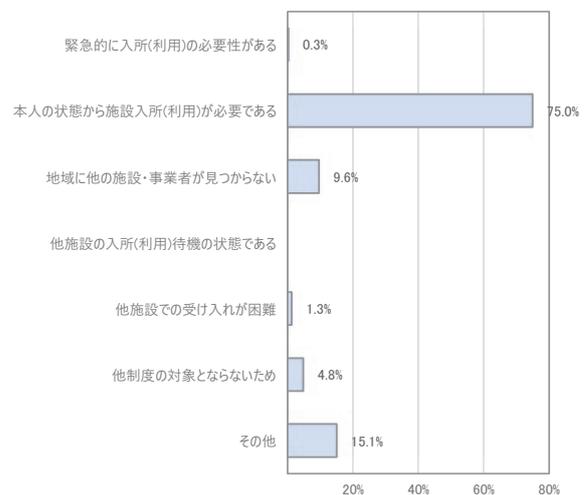
宿所提供施設 (n= 215)



保護授産施設 (n= 194)



社会事業授産施設 (n= 312)



1. 基本情報

(8) 入所(利用)理由

《主なその他の内容》

救護施設

- 施設の閉鎖や、地元近くへの救護施設への転寮等
- 長期入院からの退所先を探す間の一時的な居住の場等
- 居宅保護が可能か本人の状態を把握する期間の利用等

更生施設

- 社会復帰促進事業後の利用

宿所提供施設

- 社会復帰促進事業後の利用

社会事業授産施設

- 区役所からの紹介
- 本人の希望

1. 基本情報

(9) 利用者の障害の状況

障害の有無

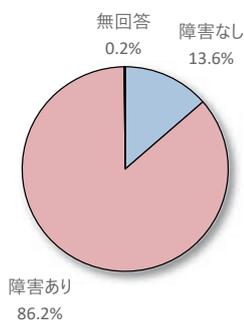
(n = 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: 障害なし	1,573	13.6%	510	53.6%	137	63.7%	122	62.9%	183	58.7%
1: 障害あり	9,981	86.2%	439	46.1%	77	35.8%	72	37.1%	115	36.9%
無回答	21	0.2%	3	0.3%	1	0.5%	0	0.0%	14	4.5%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は「障害あり」が9,981人（86.2%）、「障害なし」が1,573人（13.6%）である。
 更生施設は「障害あり」が439人（46.1%）、「障害なし」が510人（53.6%）である。
 宿所提供施設は「障害あり」が77人（35.8%）、「障害なし」が137人（63.7%）である。
 保護授産施設は「障害あり」が72人（37.1%）、「障害なし」が122人（62.9%）である。
 社会事業授産施設は「障害あり」が115人（36.9%）、「障害なし」が183人（58.7%）である。
 「障害なし」の占める割合が最も多い施設種別は宿所提供施設（63.7%）、次いで保護授産施設（62.9%）社会事業授産施設（58.7%）と続いている。

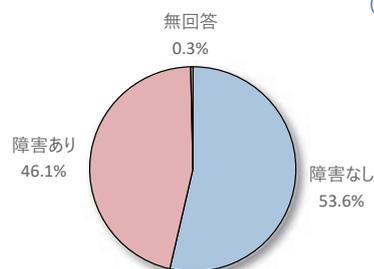
救護施設

(n = 11,575)



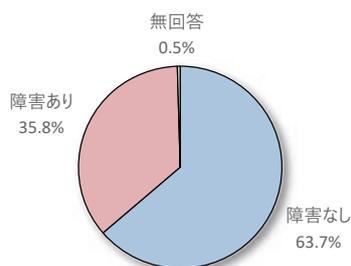
更生施設

(n = 952)



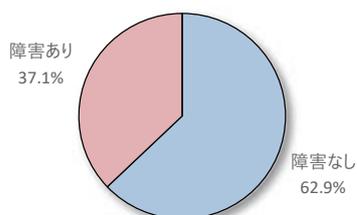
宿所提供施設

(n = 215)



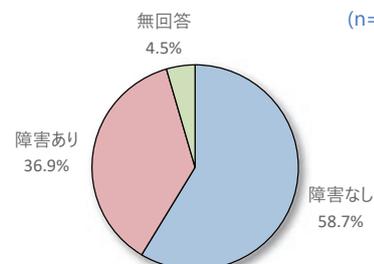
保護授産施設

(n = 194)



社会事業授産施設

(n = 312)



1. 基本情報

(9) 利用者の障害の状況

障害の状況

(n= 10,723)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 身体障害	1,855	18.5%	61	13.8%	15	19.2%	15	20.8%	41	31.8%
2: 知的障害	2,910	29.0%	38	8.6%	5	6.4%	25	34.7%	53	41.0%
3: 精神疾患・障害	6,957	69.6%	345	78.0%	49	62.8%	31	43.0%	20	15.5%
4: 発達障害	121	1.2%	26	5.8%	4	5.1%	3	4.1%	0	0.0%
5: 生活障害	568	5.7%	26	5.8%	10	12.8%	2	2.8%	1	0.7%
6: その他	143	1.4%	12	2.7%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.7%
有効回答数	10,002	-	442	-	78	-	72	-	129	-

施設では「精神疾患・障害」が最も多く6,957人（69.6%）、次いで「知的障害」2,910人（29.0%）、「身体障害」1,855人（18.5%）と続いている。

更生施設では「精神疾患・障害」が最も多く345人（78.0%）、次いで「身体障害」61人（13.8%）、「知的障害」が38人（8.6%）と続いている。

宿所提供施設では「精神疾患・障害」が最も多く49人（62.8%）、次いで「身体障害」15人（19.2%）、「生活障害」が10人（12.8%）と続いている。

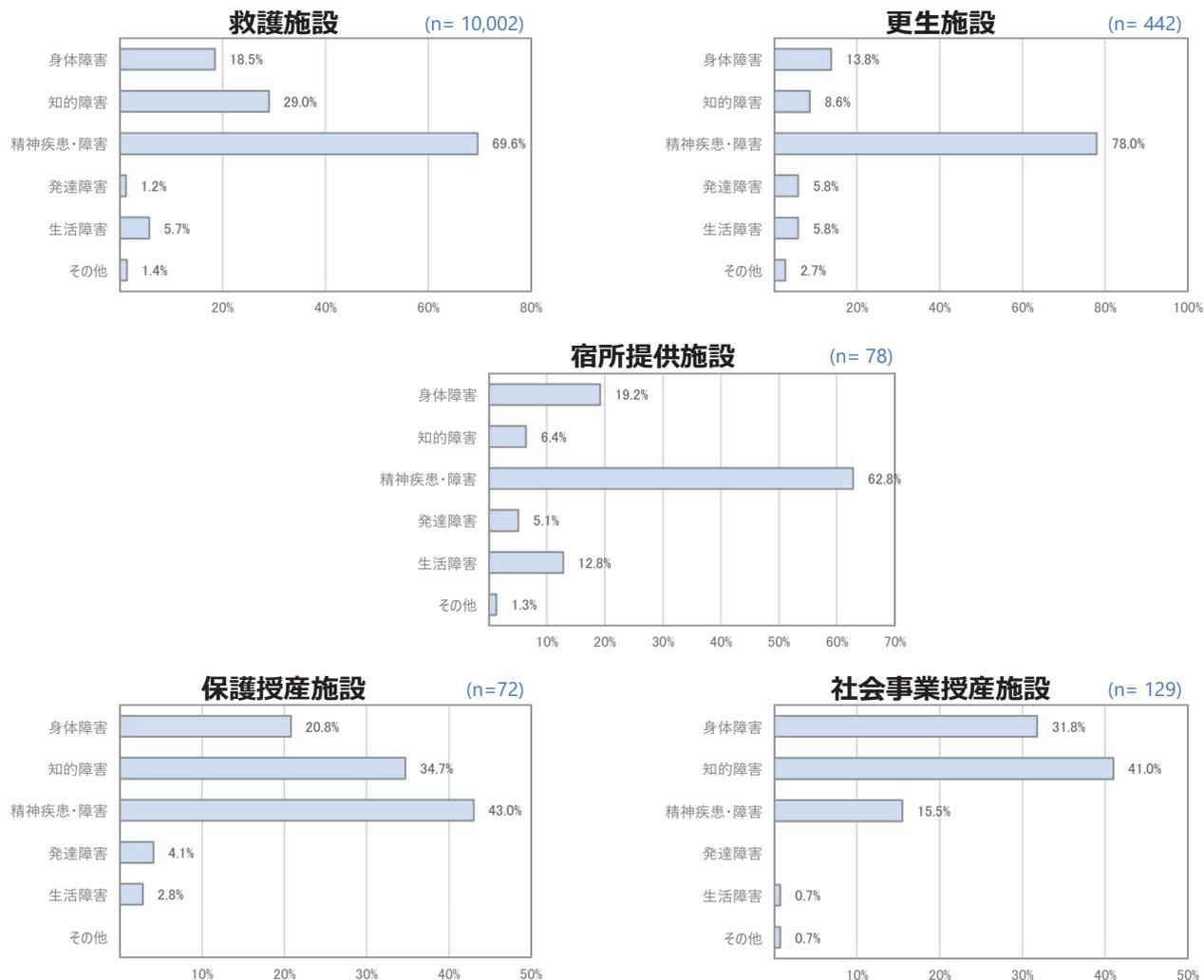
保護授産施設では「精神疾患・障害」が最も多く31人（43.0%）、次いで「知的障害」25人（34.7%）、「身体障害」が15人（20.8%）と続いている。

社会事業授産施設では「知的障害」が最も多く53人（41.0%）、次いで「身体障害」が41人（31.8%）、「精神疾患・障害」が20人（15.5%）となっている。

「精神疾患・障害」の占める割合が最も多い施設種別は更生施設（78.0%）であり、次いで救護施設（69.6%）、宿所提供施設（62.8%）と続いている。

1. 基本情報

(9) 利用者の障害の状況



1. 基本情報

(9) 利用者の障害の状況

《主なその他の内容》

救護施設

- ・ 高次脳機能障害

更生施設

- ・ 高次脳機能障害

1. 基本情報

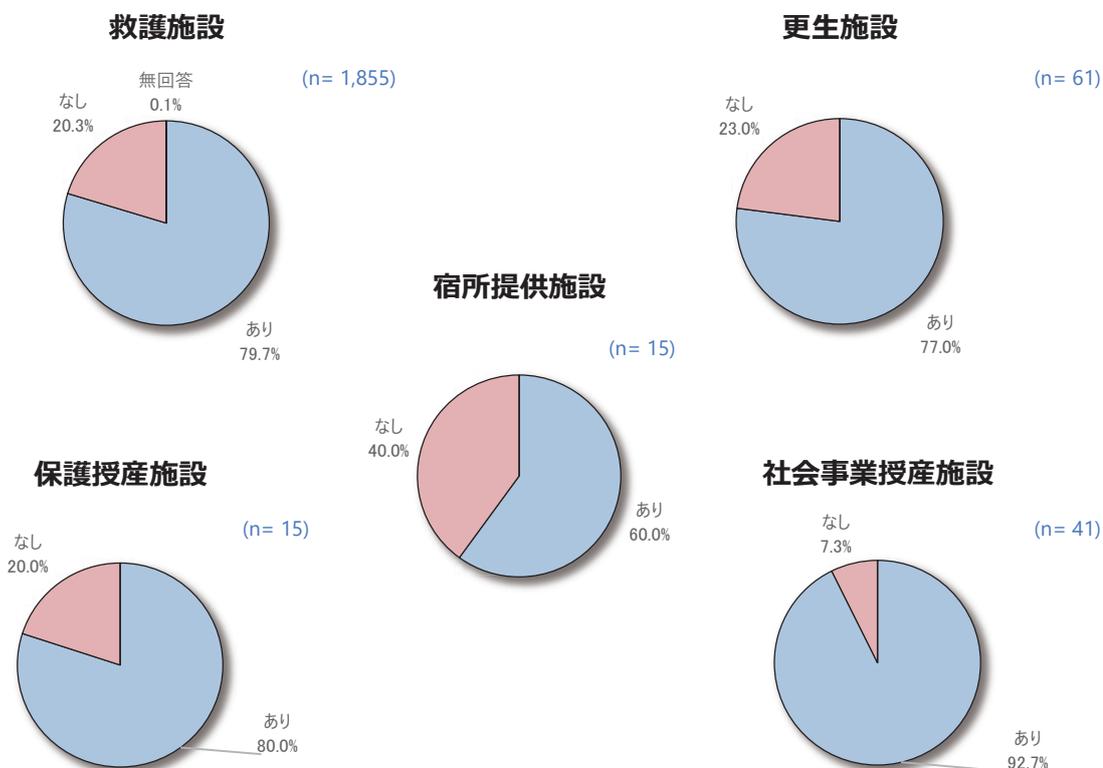
(9)_1 身体障害の状況

①手帳の有無

(n = 1,987)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: あり	1,478	79.7%	47	77.0%	9	60.0%	12	80.0%	38	92.7%
2: なし	376	20.3%	14	23.0%	6	40.0%	3	20.0%	3	7.3%
無回答	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,855	100%	61	100%	15	100%	15	100%	41	100%

救護施設は「あり」が1,478人（79.7%）、「なし」が376人（20.3%）である。
 更生施設は「あり」が47人（77.0%）、「なし」が14人（23.0%）である。
 宿所提供施設は「あり」が9人（60.0%）、「なし」が6人（40.0%）である。
 保護授産施設は「あり」が12人（80.0%）、「なし」が3人（20.0%）である。
 社会事業授産施設は「あり」が38人（92.7%）、「なし」が3人（7.3%）である。
 手帳の「あり」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（92.7%）、次いで保護授産施設（80.0%）、救護施設（79.7%）、更生施設（77.0）と続いている。



1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況

②手帳の障害等級

(n= 1,584)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 1級	409	27.7%	10	21.3%	0	0.0%	2	16.7%	3	7.9%
2: 2級	323	21.9%	5	10.6%	2	22.2%	3	25.0%	11	28.9%
3: 3級	253	17.1%	6	12.8%	3	33.3%	3	25.0%	8	21.1%
4: 4級	277	18.7%	12	25.5%	2	22.2%	4	33.3%	10	26.3%
5: 5級	107	7.2%	6	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.5%
6: 6級	107	7.2%	7	14.9%	2	22.2%	0	0.0%	2	5.3%
7: 7級	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	0.1%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,478	100%	47	100%	9	100%	12	100%	38	100%

救護施設は「1級」が最も多く409人（27.7%）、次いで「2級」323人（21.9%）、「4級」277人（18.7%）、「3級」253人（17.1%）と続いている。

更生施設は「4級」が最も多く12人（25.5%）、次いで「1級」10人（21.3%）、「6級」7人（14.9%）、「3級」「5級」が共に6人（12.8%）と続いている。

宿所提供施設は「3級」が最も多く3人（33.3%）、次いで「2級」「4級」「6級」が共に2人（22.2%）と続いている。

保護授産施設は「4級」が最も多く4人（33.3%）、次いで「2級」「3級」が共に3人（25.0%）、「1級」2人（16.7%）と続いている。

社会事業授産施設は「2級」が最も多く11人（28.9%）、次いで「4級」10人（26.3%）、「3級」8人（21.1%）、「5級」4人（10.5%）と続いている。

「1級」を占める割合が最も多い施設種別は救護施設（27.7%）であり、次いで更生施設（21.3%）、保護授産施設（16.7%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況

②手帳の障害等級



1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況

③手帳に記載の主な障害

(n= 1,584)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 視覚障害	255	17.3%	6	12.8%	2	22.2%	0	0.0%	2	5.3%
2: 聴覚・平衡機能障害	148	10.0%	7	14.9%	0	0.0%	1	8.3%	4	10.5%
3: そしゃく機能障害	25	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 肢体不自由障害	826	55.9%	16	34.0%	5	55.6%	8	66.7%	24	63.2%
5: 内部障害	238	16.1%	16	34.0%	1	11.1%	3	25.0%	8	21.1%
有効回答数	1,478	-	47	-	9	-	12	-	38	-

救護施設は「肢体不自由障害」が最も多く826人(55.9%)であり、次いで「視覚障害」255人(17.3%)、「内部障害」238人(16.1%)と続いている。

更生施設は「肢体不自由障害」「内部障害」が最も多く共に16人(34.0%)であり、次いで「聴覚・平衡機能障害」7人(14.9%)、「視覚障害」6人(12.8%)と続いている。

宿所提供施設は「肢体不自由障害」が最も多く5人(55.6%)であり、次いで「視覚障害」2人(22.2%)、「内部障害」1人(11.1%)と続いている。

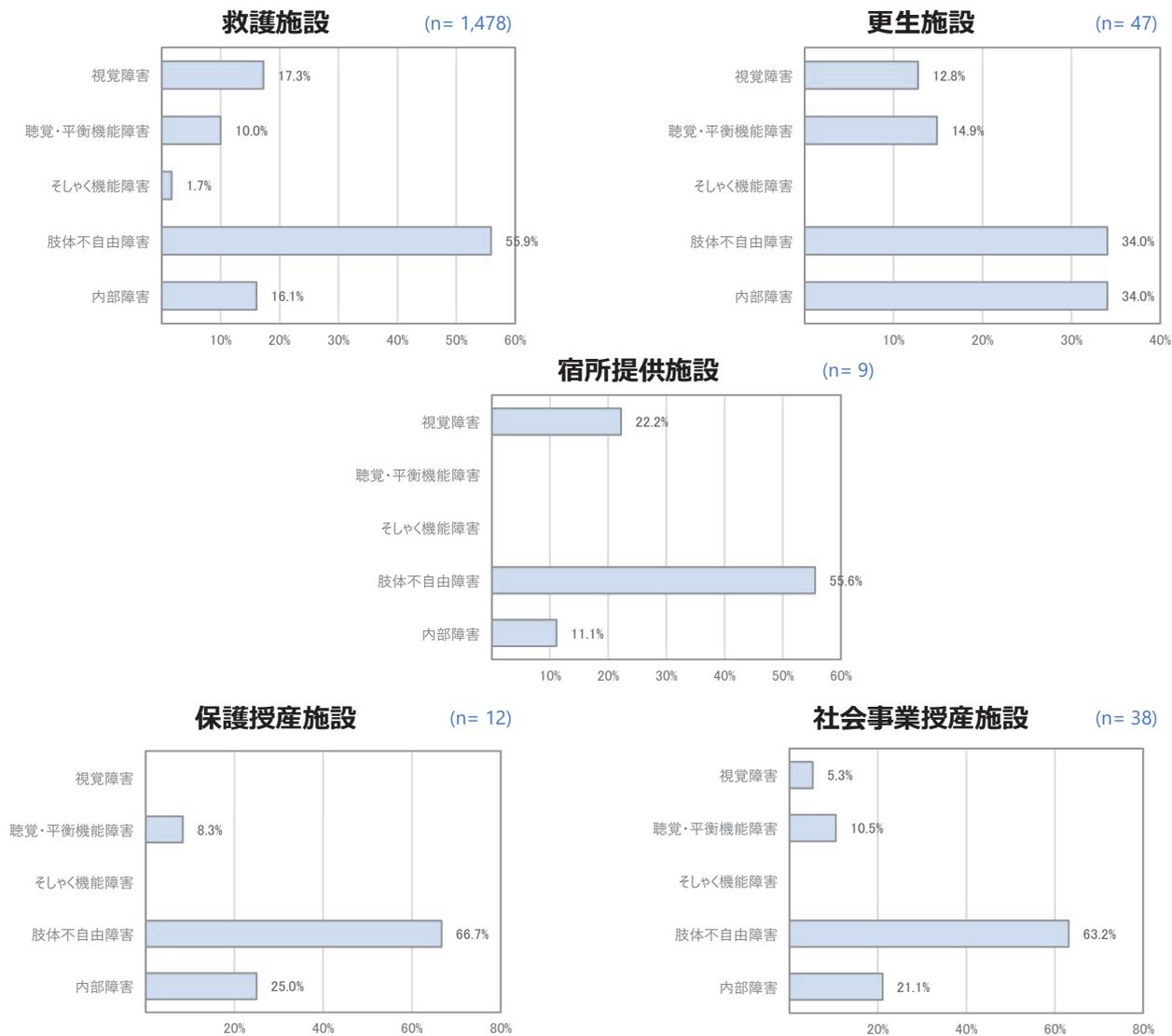
保護授産施設は「肢体不自由障害」が最も多く8人(66.7%)であり、次いで「内部障害」3人(25.0%)、「聴覚・平衡機能障害」1人(8.3%)と続いている。

社会事業授産施設は「肢体不自由障害」が最も多く24人(63.2%)であり、次いで「内部障害」8人(21.1%)、「聴覚・平衡機能障害」4人(10.5%)と続いている。

「肢体不自由障害」の占める割合が最も多い施設種別は保護授産施設(66.7%)であり、次いで社会事業授産施設(63.2%)、救護施設(55.9%)、更生施設(55.6%)と続いている。

1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況



1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況「手帳なし」

④ 障害の程度

(n= 402)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 1級	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2: 2級	14	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3: 3級	18	4.8%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
4: 4級	13	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: 5級	22	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6: 6級	16	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7: 7級	11	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8: 不明	277	73.7%	14	100.0%	5	83.3%	3	100.0%	3	100.0%
合計	376	100%	14	100%	6	100%	3	100%	3	100%

救護施設は「不明」が最も多く277人（73.7%）であり、次いで「5級」22人（5.9%）、「3級」18人（4.8%）、「6級」16人（4.3%）と続いている。

更生施設は全ての回答が「不明」であり14人（100%）である。

宿所提供施設は「不明」が最も多く5人（83.3%）であり、次いで「3級」1人（16.7%）である。

保護授産施設は全ての回答が「不明」であり3人（100%）である。

社会事業授産施設は全ての回答が「不明」であり3人（100%）である。

「不明」の占める割合が最も多い施設種別は更生施設、保護授産施設、社会事業授産施設（100%）であり、次いで、宿所提供施設（83.3%）、救護施設（73.7%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況「手帳なし」

④ 障害の程度



1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況「手帳なし」

⑤ 主な障害状況

(n= 402)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 視覚障害	36	9.6%	2	14.3%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
2: 聴覚・平衡機能障害	24	6.4%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3: そしゃく機能障害	10	2.7%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 肢体不自由障害	286	76.1%	5	35.7%	2	33.3%	1	33.3%	0	0.0%
5: 内部障害	29	7.7%	4	28.6%	1	16.7%	2	66.7%	3	100.0%
有効回答数	376	-	14	-	6	-	3	-	3	-

救護施設は「肢体不自由障害」が最も多く286人（76.1%）であり、次いで「視覚障害」36人（9.6%）、「内部障害」29人（7.7%）と続いている。

更生施設は「肢体不自由障害」が最も多く5人（35.7%）であり、次いで「内部障害」が4人（28.6%）、「視覚障害」2人（14.3%）と続いている。

宿所提供施設は「肢体不自由障害」「視覚障害」が最も多く共に2人（33.3%）であり、次いで「内部障害」1人（16.7%）と続いている。

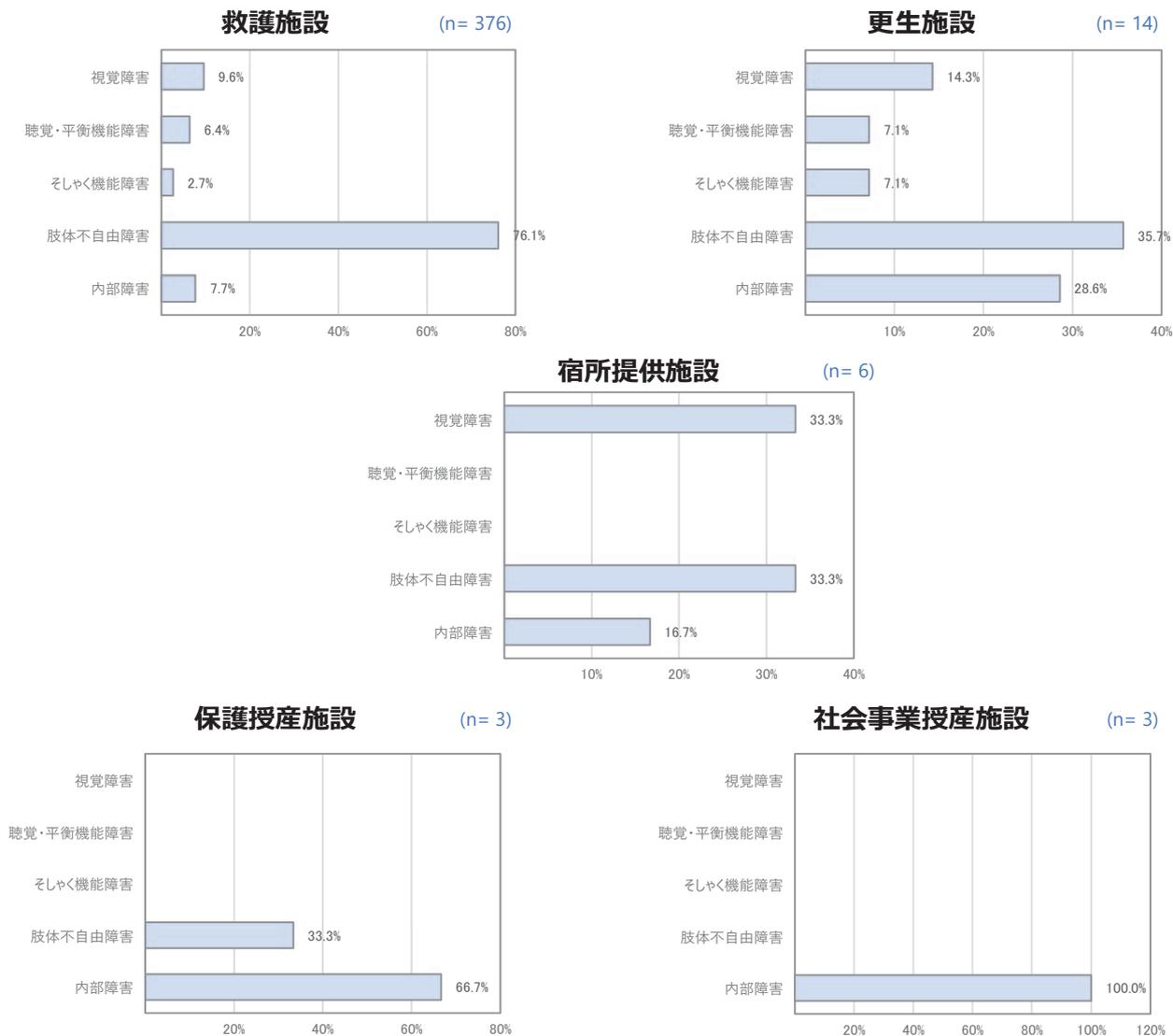
保護授産施設は「内部障害」が最も多く2人（66.7%）であり、次いで「内部障害」1人（33.3%）である。

社会事業授産施設は全ての回答が「内部障害」であり3人（100%）である。

「肢体不自由障害」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（76.1%）であり、次いで更生施設（35.7%）、宿所提供施設及び保護授産施設が（33.3%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_1 身体障害の状況「手帳なし」



1. 基本情報

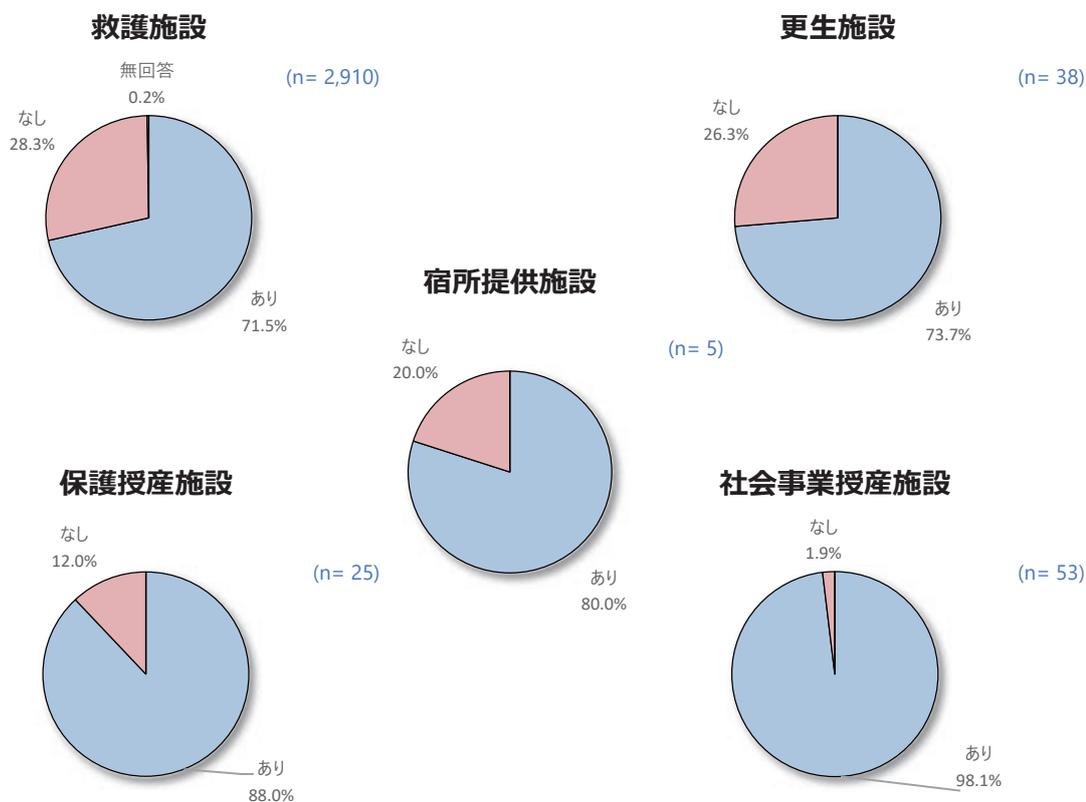
(9)_2 知的障害の状況

①手帳の有無

(n= 3,031)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: あり	2,080	71.5%	28	73.7%	4	80.0%	22	88.0%	52	98.1%
2: なし	823	28.3%	10	26.3%	1	20.0%	3	12.0%	1	1.9%
無回答	7	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	2,910	100%	38	100%	5	100%	25	100%	53	100%

救護施設は「あり」が2,080人（71.5%）、「なし」が823人（28.3%）である。
 更生施設は「あり」が28人（73.7%）、「なし」が10人（26.3%）である。
 宿所提供施設は「あり」が4人（80.0%）、「なし」が1人（20.0%）である。
 保護授産施設は「あり」が22人（88.0%）、「なし」が3人（12.0%）である。
 社会事業授産施設は「あり」が52人（98.1%）、「なし」が1人（1.9%）である。
 手帳の「あり」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（98.1%）、次いで保護授産施設（88.0%）、宿所提供施設（80.0%）、更生施設（73.7%）と続いている。



1. 基本情報

(9)_2 知的障害の状況

②手帳の障害等級

(n = 2,186)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: OA : A1 : 1度	219	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	9.6%
2: A : A2 : 2度	617	29.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%
3: B : B1 : 3度	968	46.5%	5	17.9%	3	75.0%	11	50.0%	22	42.3%
4: C : B2 : 4度	275	13.2%	23	82.1%	1	25.0%	9	40.9%	25	48.1%
無回答	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	2,080	100%	28	100%	4	100%	22	100%	52	100%

救護施設は「B : B1 : 3度」が最も多く968人（46.5%）、次いで「A : A2 : 2度」617人（29.7%）、「C : B2 : 4度」275人（13.2%）、「OA : A1 : 1度」219人（10.5%）と続いている。

更生施設は「C : B2 : 4度」が最も多く23人（82.1%）、次いで「B : B1 : 3度」5人（17.9%）である。

宿所提供施設は「B : B1 : 3度」が最も多く3人（75.0%）、次いで「C : B2 : 4度」1人（25.0%）である。

保護授産施設は「B : B1 : 3度」が最も多く11人（50.0%）、次いで「C : B2 : 4度」9人（40.9%）、「A : A2 : 2度」2人（9.1%）と続いている。

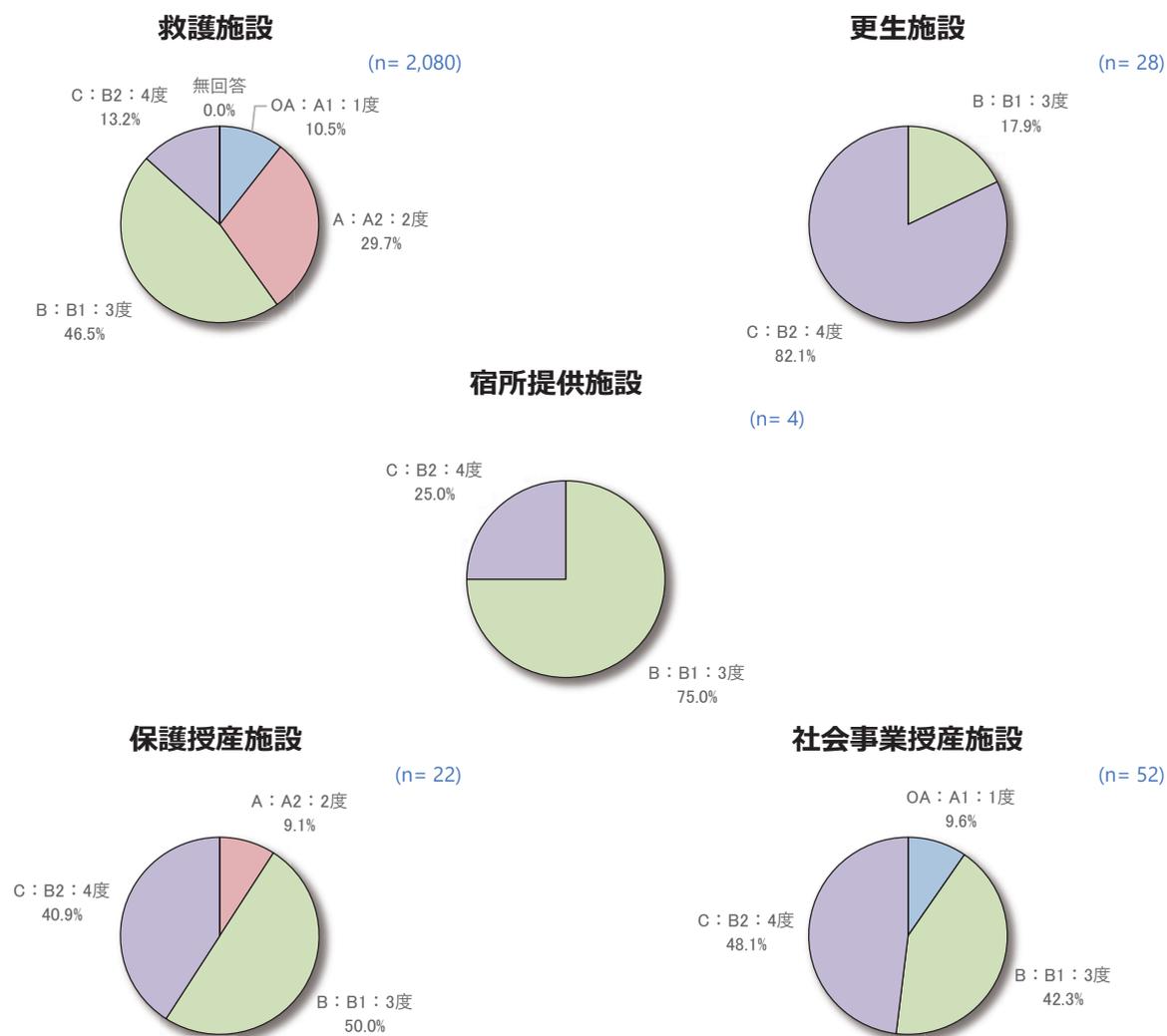
社会事業授産施設は「C : B2 : 4度」が最も多く25人（48.1%）、次いで「B : B1 : 3度」22人（42.3%）、「OA : A1 : 1度」5人（9.6%）と続いている。

「OA : A1 : 1度」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（10.5%）であり、次いで社会事業授産施設（9.6%）、その他の種別は0人（0.0%）である。

「C : B2 : 4度」の占める割合が最も多い施設種別は更生施設（82.1%）であり、次いで社会事業施設（48.1%）、保護授産施設（40.9%）、宿所提供施設（25.0%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_2 知的障害の状況



1. 基本情報

(9)_2 知的障害の状況「手帳なし」

③ 障害の状況

(n= 838)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 最重度	31	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2: 重度	123	14.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3: 中度	231	28.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 軽度	401	48.7%	9	90.0%	1	100.0%	3	100.0%	1	100.0%
5: 不明	37	4.5%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	823	100%	10	100%	1	100%	3	100%	1	100%

救護施設は「軽度」が最も多く401人（48.7%）、次いで「中度」が231人（28.1%）、「重度」が123人（14.9%）、「最重度」が31人（3.8%）と続いている。

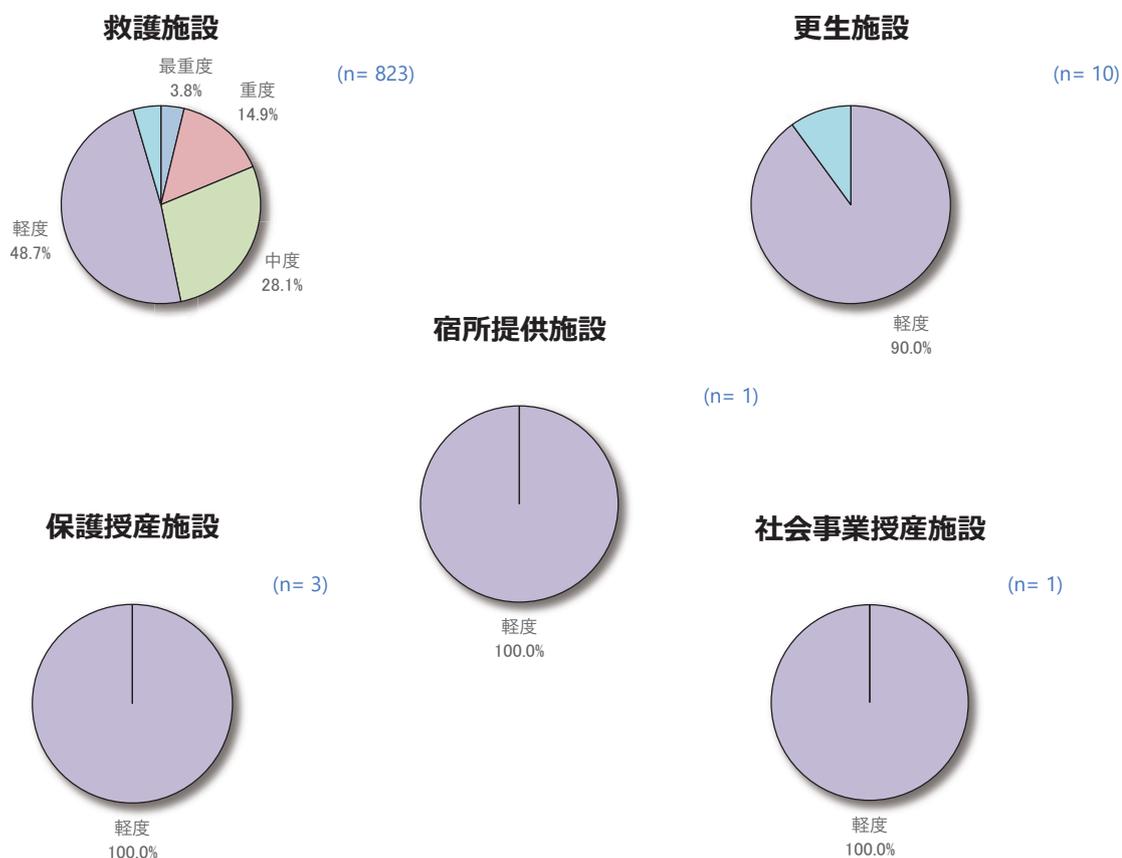
更生施設は「軽度」が9人（90.0%）である。

宿所提供施設は1人全員が「軽度」である。

保護授産施設は3人全員が「軽度」である。

社会事業授産施設は1人全員が「軽度」である。

「軽度」の占める割合が最も多い施設種別は宿所提供施設、保護授産施設、社会事業授産施設（100%）、次いで更生施設（90%）、救護施設（48.7%）である。



1. 基本情報

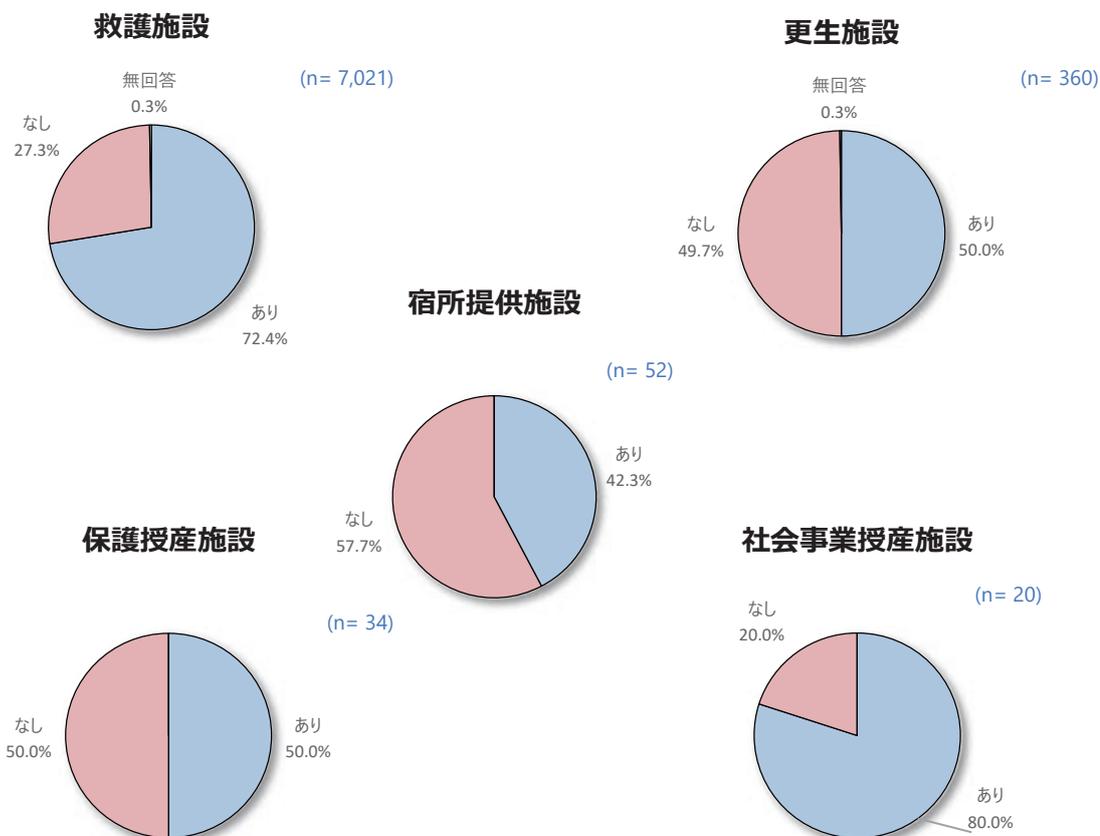
(9)_3 精神疾患・障害の状況

①手帳の有無

(n = 7,487)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: あり	5,085	72.4%	180	50.0%	22	42.3%	17	50.0%	16	80.0%
2: なし	1,917	27.3%	179	49.7%	30	57.7%	17	50.0%	4	20.0%
無回答	19	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	7,021	100%	360	100%	52	100%	34	100%	20	100%

救護施設は「あり」が5,085人（72.4%）、「なし」が1,917人（27.3%）である。
 更生施設は「あり」が180人（50.0%）、「なし」が179人（49.7%）である。
 宿所提供施設は「あり」が22人（42.3%）、「なし」が30人（57.7%）である。
 保護授産施設は「あり」、「なし」が共に17人（50.0%）である。
 社会事業授産施設は「あり」が16人（80.0%）、「なし」が4人（20.0%）である。
 手帳の「あり」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（80.0%）、次いで救護施設（72.4%）、更生施設及び保護授産施設（50.0%）と続いている。



1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況

②手帳の障害等級

(n = 5,320)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 1級	980	19.3%	3	1.7%	1	4.5%	0	0.0%	6	37.5%
2: 2級	3,640	71.6%	118	65.6%	10	45.5%	9	52.9%	6	37.5%
3: 3級	449	8.8%	56	31.1%	11	50.0%	8	47.1%	4	25.0%
無回答	16	0.3%	3	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	5,085	100%	180	100%	22	100%	17	100%	16	100%

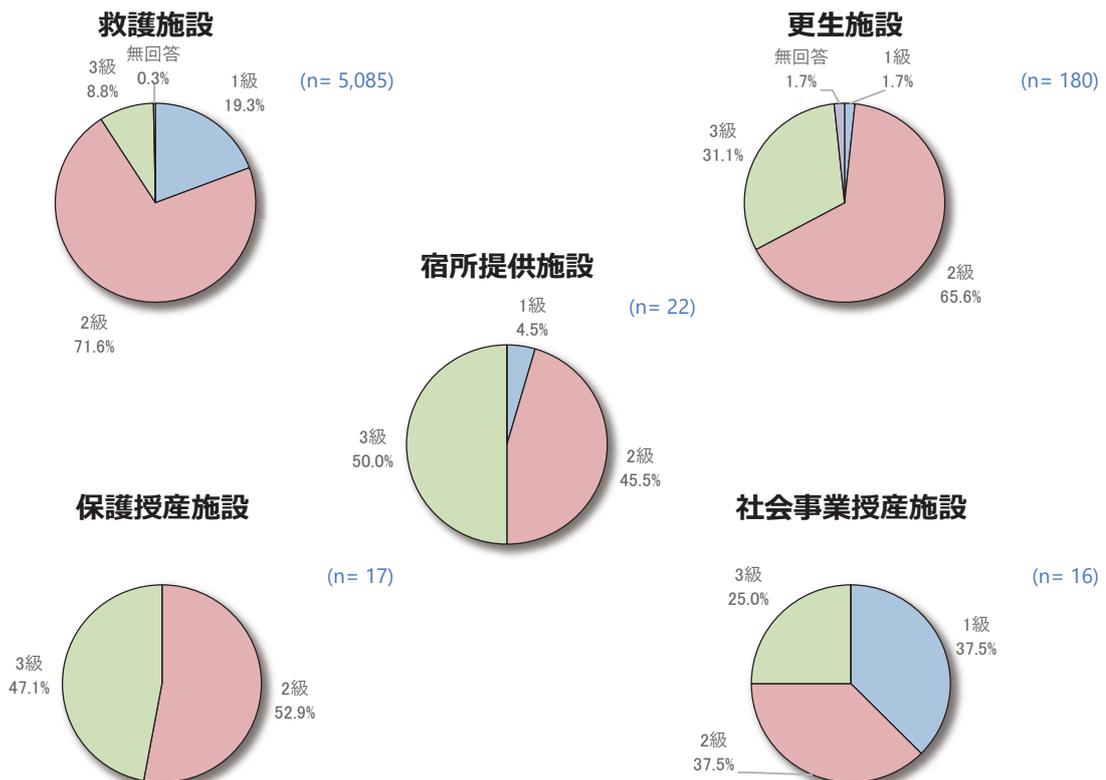
救護施設は「2級」が最も多く3,640人（71.6%）、次いで「1級」が980人（19.3%）、「3級」が449人（8.8%）と続いている。

更生施設は「2級」が最も多く118人（65.6%）、次いで「3級」が56人（31.1%）、「1級」が3人（1.7%）と続いている。

宿所提供施設は「3級」が最も多く11人（50.0%）、次いで「2級」が10人（45.5%）、「1級」が1人（4.5%）と続いている。

保護授産施設は「2級」が9人（52.9%）、「3級」が8人（47.1%）である。

社会事業授産施設は「1級」「2級」が共に6人（37.5%）、次いで「3級」4人（25.0%）と続いている。「2級」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（71.6%）、次いで更生施設（65.6%）、保護授産施設（52.9%）、宿所提供施設（45.5%）と続いている。



1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況

③精神疾患(機能障害)の状況

(n= 5,320)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 統合失調症	3,427	67.4%	96	53.3%	9	40.9%	8	47.1%	5	31.3%
2: そううつ病	398	7.8%	35	19.4%	5	22.7%	2	11.8%	5	31.3%
3: 非定型精神病	53	1.0%	2	1.1%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
4: 中毒精神病	114	2.2%	5	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: てんかん	249	4.9%	8	4.4%	0	0.0%	1	5.9%	2	12.5%
6: 器質精神病	170	3.3%	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%
7: アルコール依存症	558	11.0%	17	9.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%
8: その他	610	12.0%	35	19.4%	8	36.4%	6	35.3%	1	6.3%
有効回答数	5,085	-	180	-	22	-	17	-	16	-

救護施設は「統合失調症」が最も多く3,427人（67.4%）、次いで「アルコール依存症」が558人（11.0%）、「そううつ病」が398人（7.8%）と続いている。

更生施設は「統合失調症」が最も多く96人（53.3%）、次いで「そううつ病」が35人（19.4%）、「アルコール依存症」が17人（9.4%）と続いている。

宿所提供施設は「統合失調症」が最も多く9人（40.9%）、次いで「そううつ病」が5人（22.7%）、「非定型精神病」が2人（9.1%）と続いている。

保護授産施設は「統合失調症」が8人（47.1%）、次いで「そううつ病」が2人（11.8%）である。

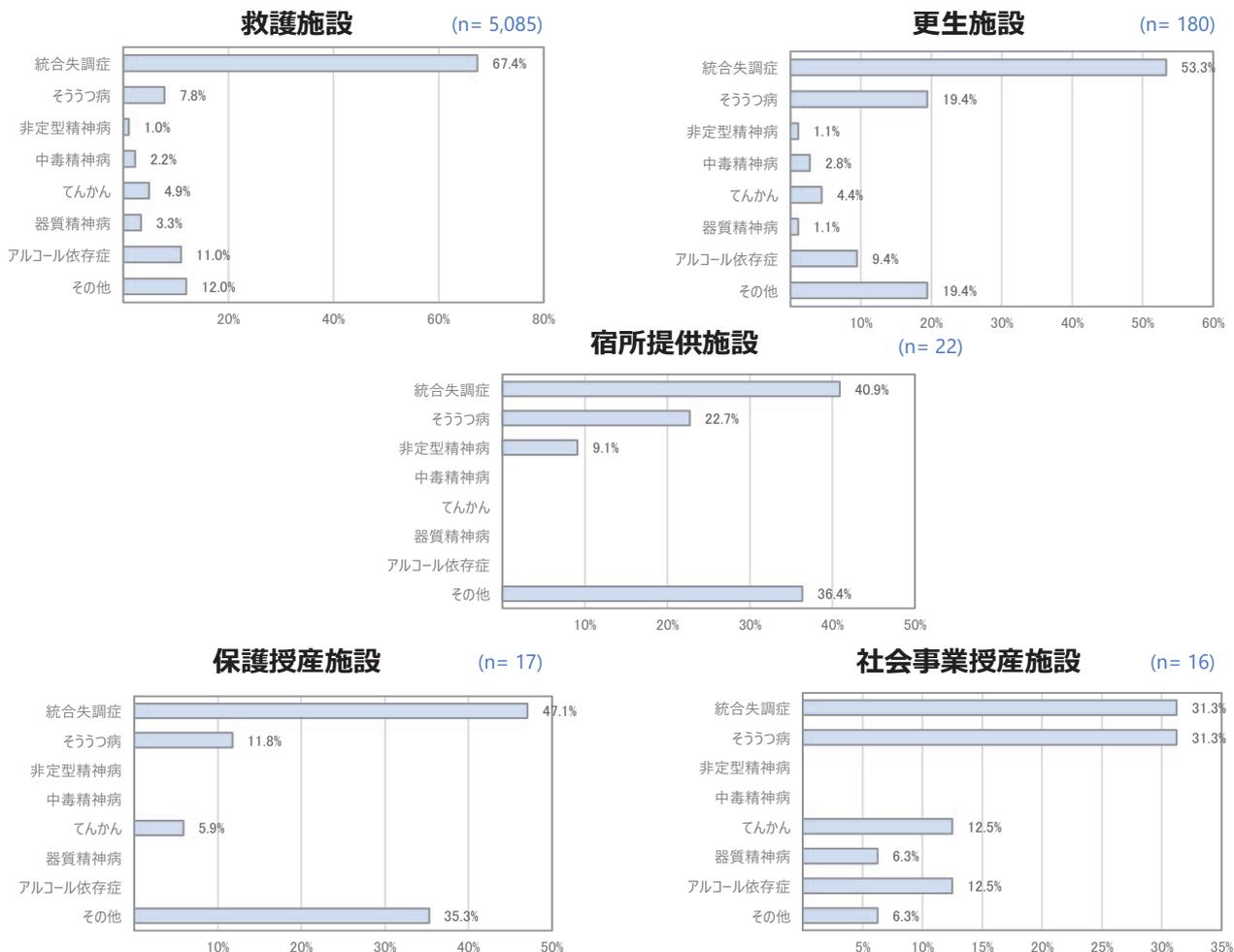
社会事業授産施設は「統合失調症」「そううつ病」が最も多く共に5人（31.3%）、次いで「てんかん」「アルコール依存症」が共に2人（12.5%）、「器質精神病」「その他」が共に1人（6.3%）と続いている。

「統合失調症」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（67.4%）、次いで更生施設（53.3%）、保護授産施設が（47.1%）、宿所提供施設（40.9%）と続いている。

「そううつ病」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（31.3%）、次いで宿所提供施設（22.7%）、更生施設（19.4%）、保護授産施設（11.8%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況



1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況「手帳なし」

④ 障害の程度

(n = 2,147)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 1級	81	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2: 2級	301	15.7%	3	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%
3: 3級	164	8.6%	9	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 不明	1,371	71.5%	167	93.3%	30	100.0%	17	100.0%	2	50.0%
合計	1,917	100%	179	100%	30	100%	17	100%	4	100%

救護施設は「不明」が最も多く1,371人（71.5%）、次いで「2級」301人（15.7%）、「3級」164人（8.6%）、「1級」81人（4.2%）と続いている。

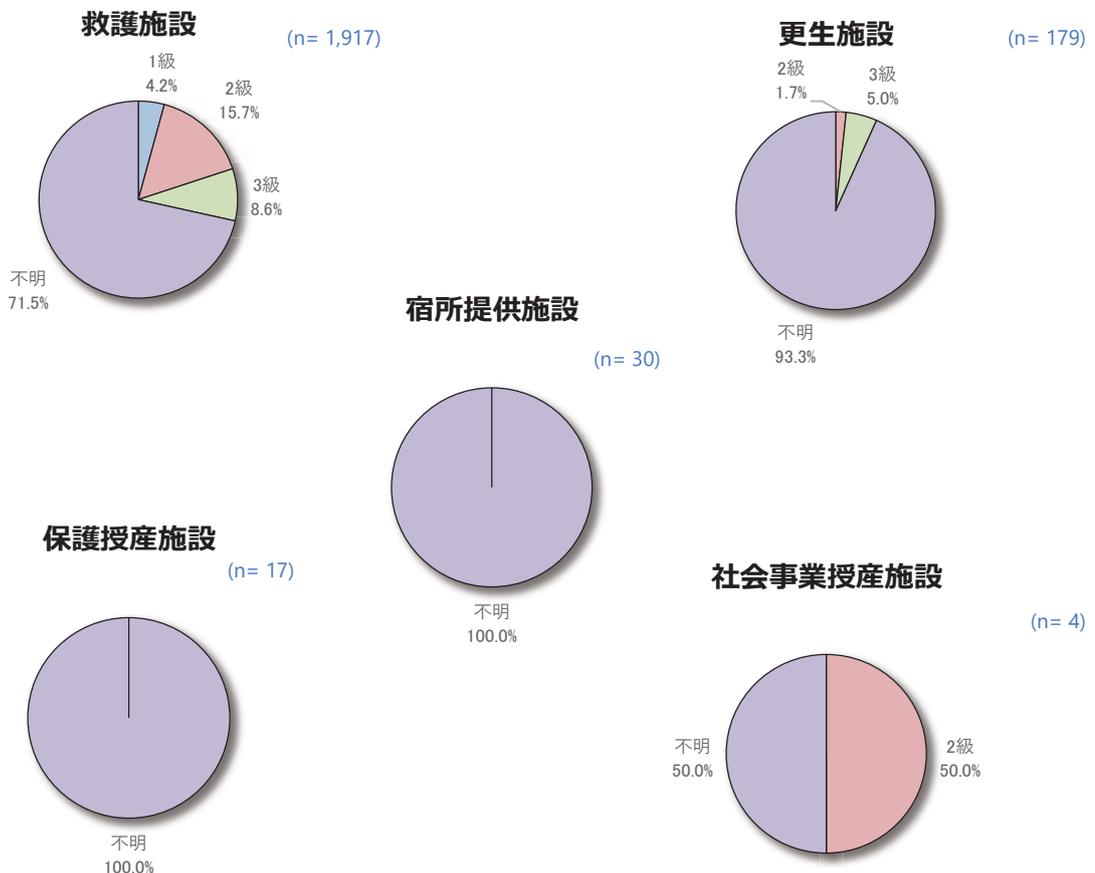
更生施設は「不明」が最も多く167人（93.3%）、次いで「3級」9人（5.0%）、「2級」3人（1.7%）と続いている。

宿所提供施設は30人全員が「不明」である。

保護授産施設は17人全員が「不明」である。

社会事業授産施設は「2級」「不明」が共に2人（50.0%）である。

「2級」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（50.0%）、次いで救護施設（15.7%）、更生施設（1.7%）と続いている。



1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況「手帳なし」

⑤ 主な障害状況

(n = 2,147)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 統合失調症	588	30.7%	43	24.0%	0	0.0%	5	29.4%	2	50.0%
2: そううつ病	163	8.5%	33	18.4%	12	40.0%	1	5.9%	2	50.0%
3: 非定型精神病	40	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 中毒精神病	26	1.4%	6	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: てんかん	224	11.7%	3	1.7%	1	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
6: 器質精神病	101	5.3%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7: アルコール依存症	419	21.9%	50	27.9%	2	6.7%	2	11.8%	0	0.0%
8: その他	522	27.2%	57	31.8%	15	50.0%	9	52.9%	0	0.0%
有効回答数	1,917	-	179	-	30	-	17	-	4	-

救護施設は「統合失調症」が最も多く588人（30.7%）、次いで「アルコール依存症」が419人（21.9%）、「てんかん」が224人（11.7%）と続いている。

更生施設は「アルコール依存症」が最も多く50人（27.9%）、次いで「統合失調症」が43人（24.0%）、「そううつ病」が33人（18.4%）と続いている。

宿所提供施設は「その他」が最も多く15人（50.0%）、次いで「そううつ病」が12人（40.0%）、「てんかん」が1人（3.3%）と続いている。

保護授産施設は「統合失調症」が最も多く5人（29.4%）、次いで「アルコール依存症」が2人（11.8%）である。

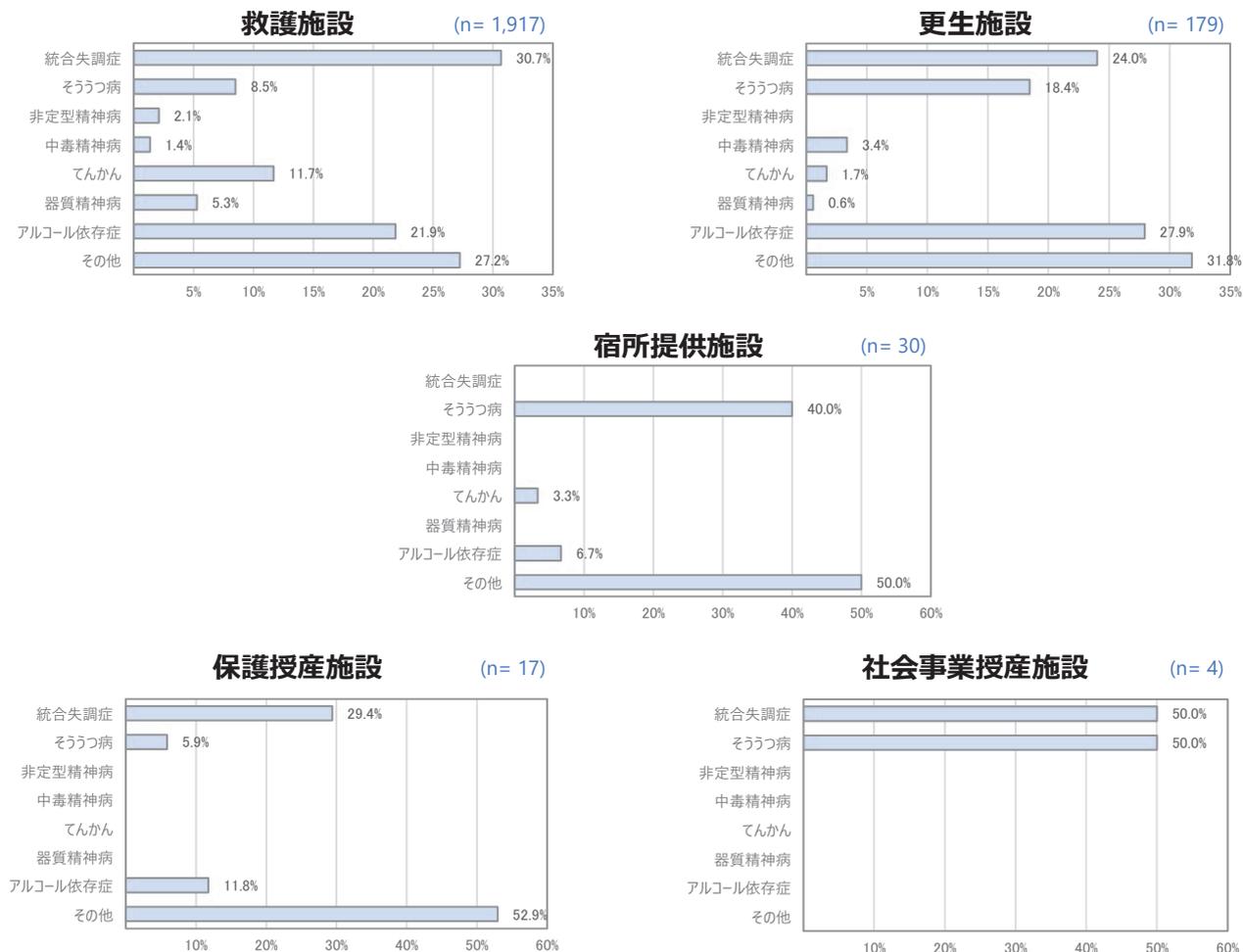
社会事業授産施設は「統合失調症」「そううつ病」が共に2人（50.0%）である。

「統合失調症」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（50.0%）、次いで救護施設（30.7%）、保護授産施設（29.4%）、更生施設（24.0%）と続いている。

「そううつ病」の占める割合が最も多い施設種別は社会事業授産施設（50.0%）、次いで宿所提供施設（40.0%）、更生施設（18.4%）、救護施設（8.5%）と続いている。

1. 基本情報

(9)_3 精神疾患・障害の状況「手帳なし」



1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無

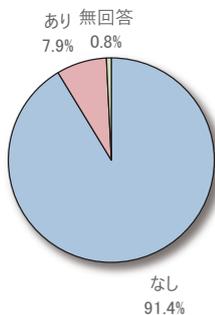
(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: なし	10,574	91.4%	914	96.0%	204	94.9%	180	92.8%	288	92.3%
1: あり	913	7.9%	31	3.3%	5	2.3%	14	7.2%	7	2.2%
無回答	88	0.8%	7	0.7%	6	2.8%	0	0.0%	17	5.4%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設では「なし」が10,574人（91.4%）、「あり」913人（7.9%）となっている。
 更生施設では「なし」が914人（96.0%）、「あり」が31人（3.3%）となっている。
 宿所提供施設では「なし」が204人（94.9%）、「あり」5人（2.3%）となっている。
 保護授産施設では「なし」が180人（92.8%）、「あり」が14人（7.2%）となっている。
 社会事業授産施設では「なし」が288人（92.3%）、「あり」7人（2.2%）となっている。
 「なし」の占める割合が最も多い施設種別は更生施設（96.0%）であり、次いで、宿所提供施設（94.9%）、保護授産施設（92.8%）、社会事業授産施設（92.3%）と続いている。

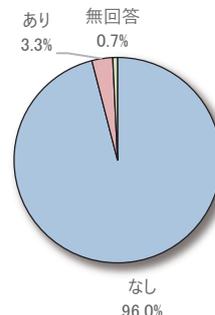
救護施設

(n= 11,575)



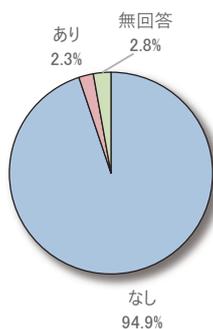
更生施設

(n= 952)



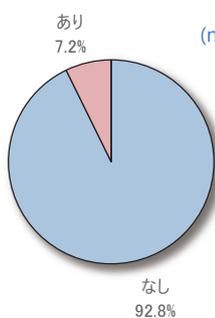
宿所提供施設

(n= 215)



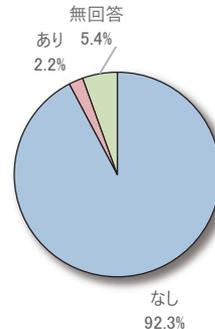
保護授産施設

(n= 194)



社会事業授産施設

(n= 312)



1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: なし	10,574	91.4%	914	96.0%	204	94.9%	180	92.8%	288	92.3%
● 介護保険第2被保険者特定疾病 ●										
1: がん【がん末期】	62	0.5%	4	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2: 関節リウマチ	52	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
3: 筋萎縮性側索硬化症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 後縦靭帯骨化症	9	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: 骨折を伴う骨粗鬆症	32	0.3%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6: 初老期における認知症	97	0.8%	3	0.3%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.3%
7: 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病	42	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.3%
8: 脊髄小脳変性症	13	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9: 脊柱管狭窄症	36	0.3%	4	0.4%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
10: 早老症	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11: 多系統萎縮症	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12: 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	75	0.6%	5	0.5%	0	0.0%	3	1.5%	3	1.0%
13: 脳血管疾患	346	3.0%	5	0.5%	3	1.4%	1	0.5%	0	0.0%
14: 閉塞性動脈硬化症	19	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15: 慢性閉塞性肺疾患	55	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
16: 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症	46	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.5%	0	0.0%
● 特定疾患治療研究事業の対象疾患 ●										
1: スモン	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2: プリオン病	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3: 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4: 重症急性膵炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: 重症多形滲出性紅斑（急性期）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
● その他 ●										
1: 指定難病 306疾病（※上記を除く）	116	1.0%	9	0.9%	2	0.9%	1	0.5%	2	0.6%
有効回答数	11,575	-	952	-	215	-	194	-	312	-

1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無

● 介護保険第2被保険者特定疾病 ●

救護施設は「脳血管疾患」が最も多く346人（3.0%）であり、次いで「初老期における認知症」97人（0.8%）、「糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症」75人（0.6%）、「がん【ガン末期】」62人（0.5%）と続いている。

更生施設は「脳血管疾患」「糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症」が最も多く共に5人（0.5%）であり、次いで「がん【ガン末期】」「脊柱管狭窄症」が共に4人（0.4%）と続いている。

宿所提供施設は「脳血管疾患」が最も多く3人（1.4%）であり、その他の回答は無かった。

保護授産施設は「糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症」「両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症」が最も多く、共に3人（1.5%）であり、次いで、「関節リウマチ」「脊柱管狭窄症」が共に2人（1.0%）と続いている。

社会事業授産施設は、「糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症」が最も多く3人（1.0%）であり、次いで「初老期における認知症」1人（0.3%）と続いている。

● 特定疾患治療研究事業の対象疾患 ●

救護施設は「スモン」が最も多く1人（0.0%）であり、その他の項目に該当する回答は無かった。

更生施設は、全ての項目が非該当であった。

宿所提供施設は、全ての項目が非該当であった。

保護授産施設は、全ての項目が非該当であった。

社会事業授産施設は、全ての項目が非該当であった。

● その他 ●

救護施設は「指定難病 306疾病（※上記を除く）」は116人（1.0%）であった。

更生施設は「指定難病 306疾病（※上記を除く）」は9人（0.9%）であった。

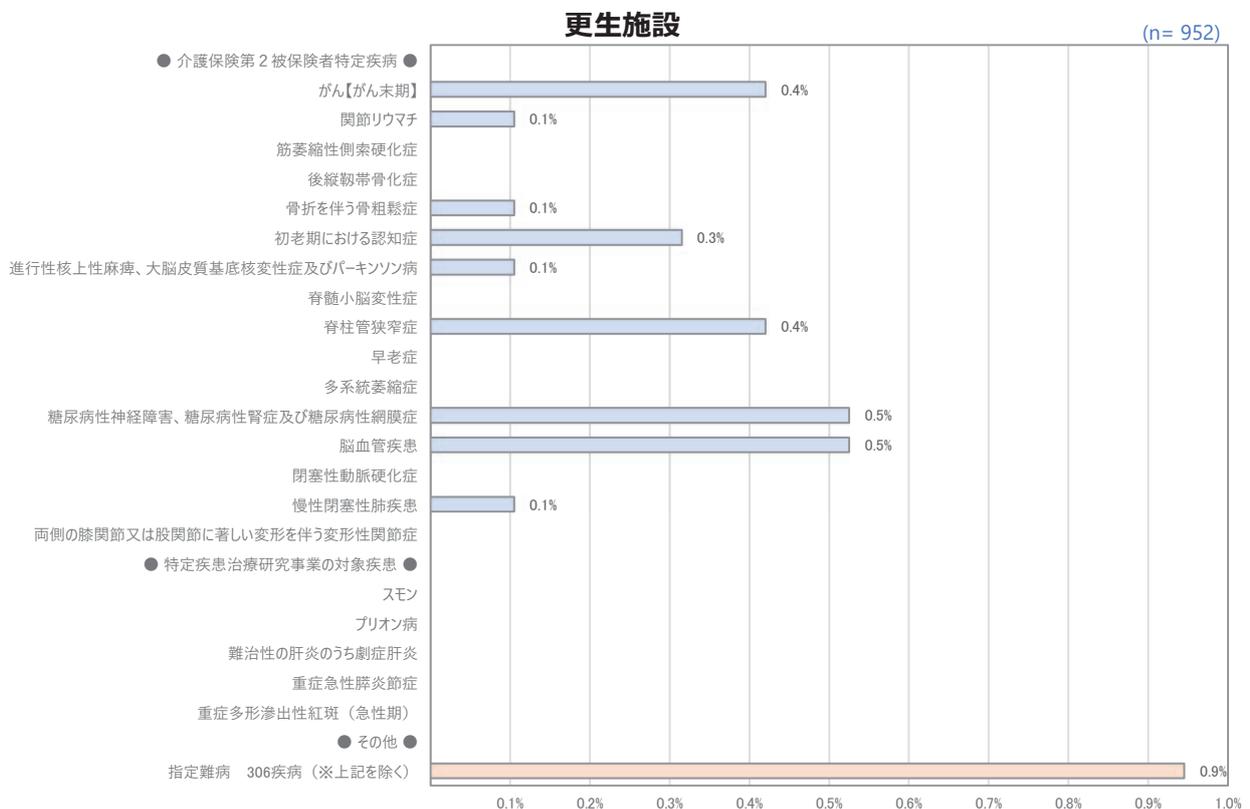
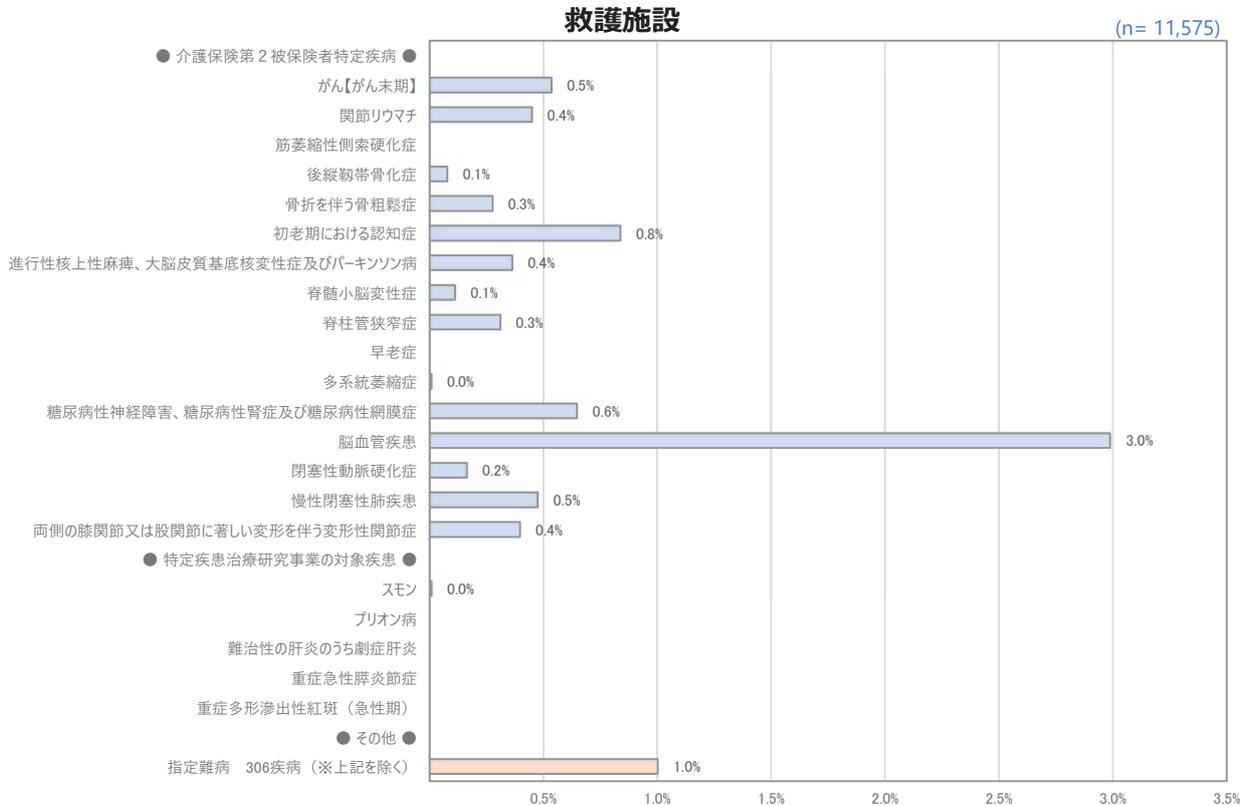
宿所提供施設は「指定難病 306疾病（※上記を除く）」は2人（0.9%）であった。

保護授産施設は「指定難病 306疾病（※上記を除く）」は1人（0.5%）であった。

社会事業授産施設は「指定難病 306疾病（※上記を除く）」は2人（0.6%）であった。

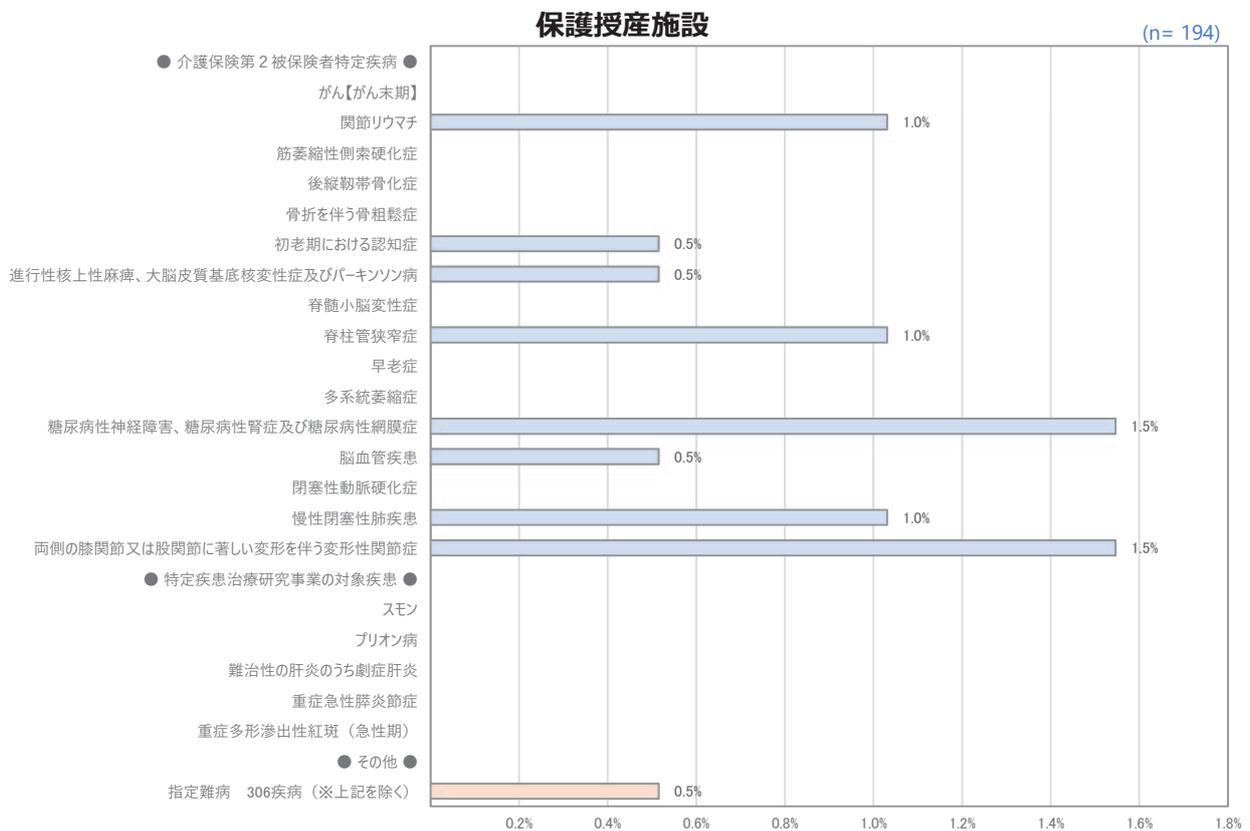
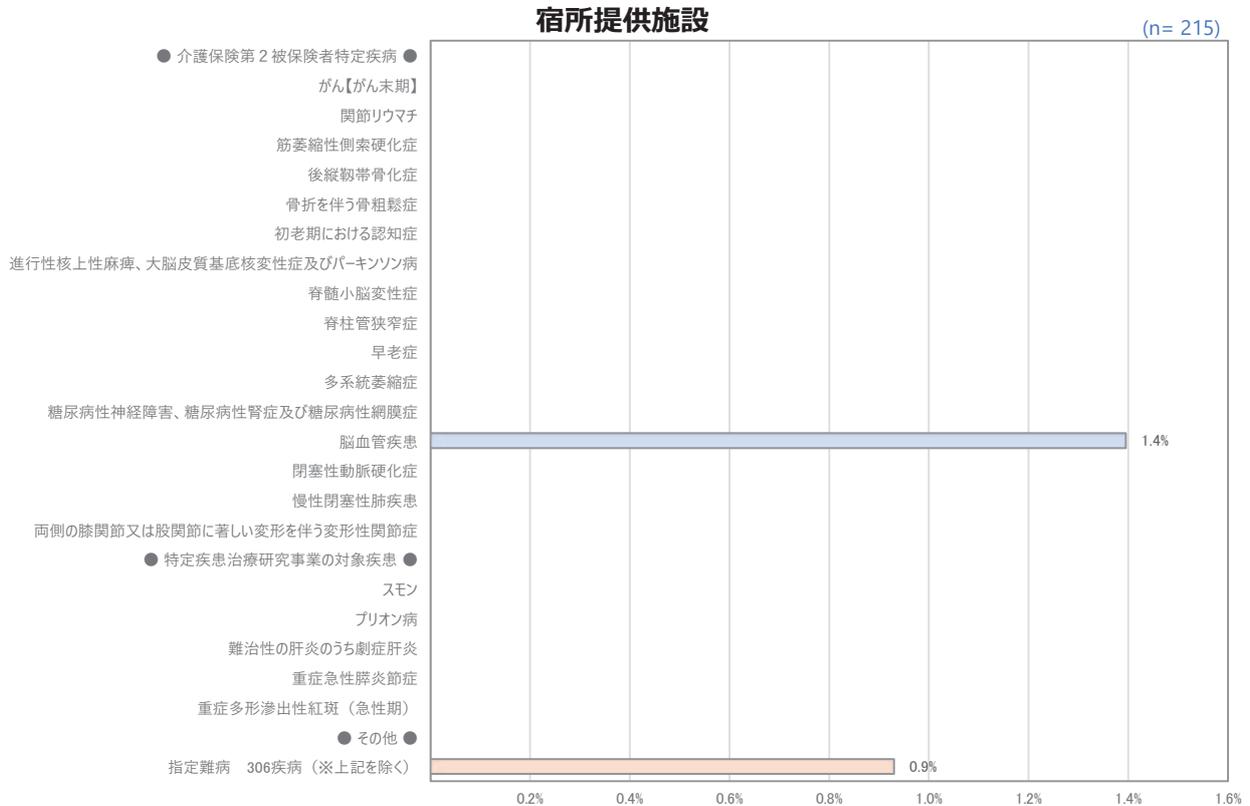
1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無



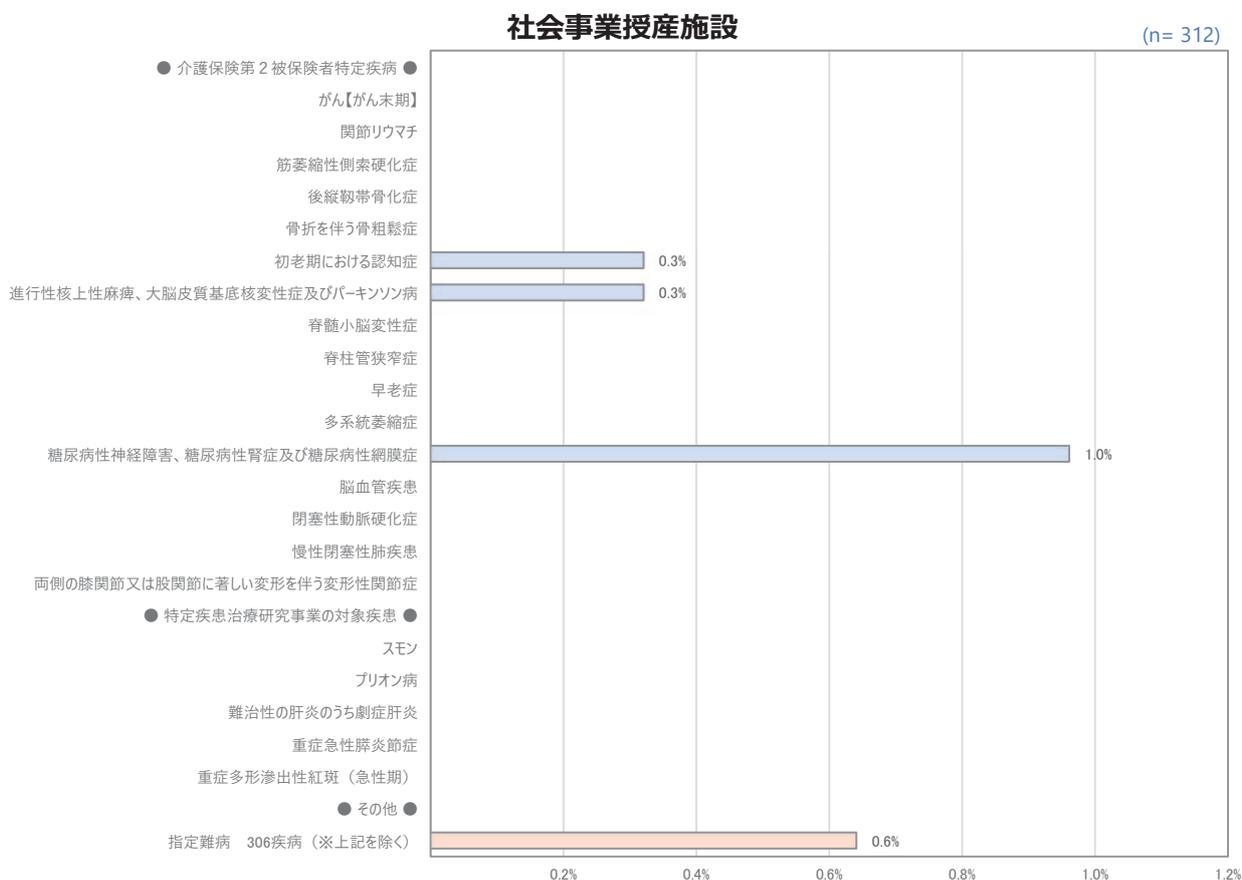
1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無



1. 基本情報

(10) 特定疾患の有無



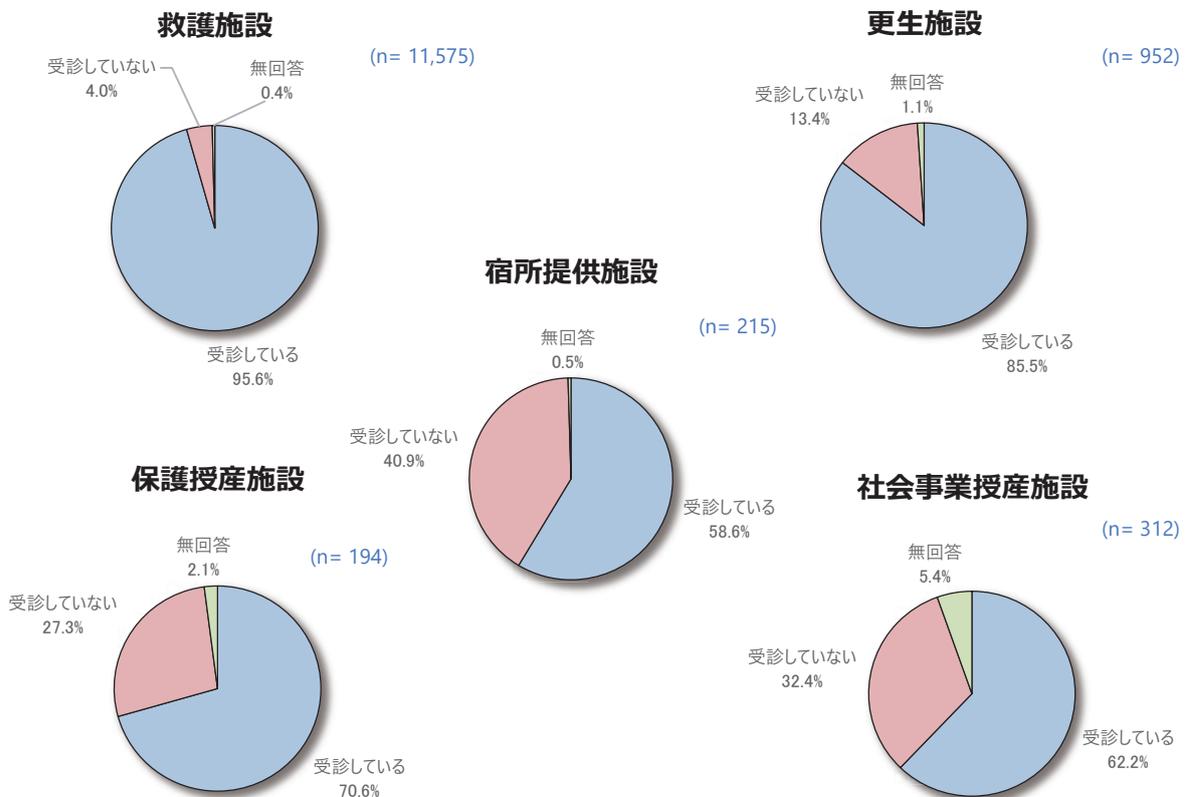
1. 基本情報

(11) 受診の状況

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 受診している	11,066	95.6%	814	85.5%	126	58.6%	137	70.6%	194	62.2%
2: 受診していない	463	4.0%	128	13.4%	88	40.9%	53	27.3%	101	32.4%
無回答	46	0.4%	10	1.1%	1	0.5%	4	2.1%	17	5.4%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は「受診している」が11,066人（95.6%）、「受診していない」が463人（4.0%）である。更生施設は「受診している」が814人（85.5%）、「受診していない」が128人（13.4%）である。宿所提供施設は「受診している」が126人（58.6%）、「受診していない」が88人（40.9%）である。保護授産施設は「受診している」が137人（70.6%）、「受診していない」が53人（27.3%）、「無回答」4人（2.1%）と続いている。社会事業授産施設は「受診している」が194人（62.2%）、「受診していない」が101人（32.4%）である。「受診している」の占める割合が最も多い施設種別は救護施設（95.6%）、次いで更生施設（85.5%）、保護授産施設（70.6%）、社会事業授産施設（62.2%）と続いている。



1. 基本情報

(11) 受診の状況

◆受診している診療科

(n= 12,337)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 精神神経科	7,549	68.2%	405	49.8%	57	45.2%	27	19.7%	30	15.5%
2: 神経内科	189	1.7%	23	2.8%	7	5.6%	4	2.9%	11	5.7%
3: 内科	6,738	60.9%	411	50.5%	42	33.3%	80	58.4%	132	68.0%
4: 気管食道科	42	0.4%	17	2.1%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
5: 外科	335	3.0%	32	3.9%	4	3.2%	3	2.2%	12	6.2%
6: 整形外科	930	8.4%	165	20.3%	15	11.9%	34	24.8%	33	17.0%
7: 脳神経外科	281	2.5%	29	3.6%	4	3.2%	0	0.0%	3	1.5%
8: 放射線科	14	0.1%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	1	0.5%
9: 麻酔科(ハインリック)	5	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10: 理学診療科	11	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11: 泌尿器科	615	5.6%	24	2.9%	0	0.0%	1	0.7%	4	2.1%
12: 肛門科	23	0.2%	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13: 産婦人科	97	0.9%	7	0.9%	9	7.1%	4	2.9%	2	1.0%
14: 眼科	1,051	9.5%	65	8.0%	14	11.1%	7	5.1%	11	5.7%
15: 一般歯科(矯正を含む)	1,093	9.9%	119	14.6%	9	7.1%	7	5.1%	14	7.2%
16: 口腔外科	31	0.3%	3	0.4%	1	0.8%	1	0.7%	0	0.0%
17: 耳鼻咽喉科	267	2.4%	32	3.9%	2	1.6%	0	0.0%	10	5.2%
18: 皮膚科	843	7.6%	50	6.1%	3	2.4%	6	4.4%	7	3.6%
19: その他	290	2.6%	30	3.7%	8	6.3%	10	7.3%	3	1.5%
有効回答数	11,066	-	814	-	126	-	137	-	194	-

救護施設は「精神神経科」が最も多く7,549人（68.2%）であり、次いで「内科」6,738人（60.9%）、「一般歯科（矯正含む）」1,093人（9.9%）、「眼科」1,051人（9.5%）と続いている。

更生施設は「内科」が最も多く411人（50.5%）であり、次いで「精神神経科」405人（49.8%）、「整形外科」165人（20.3%）、「一般歯科（矯正含む）」119人（14.6%）と続いている。

宿所提供施設は「精神神経科」が最も多く57人（45.2%）であり、次いで「内科」42人（33.3%）、「整形外科」15人（11.9%）、「眼科」14人（11.1%）と続いている。

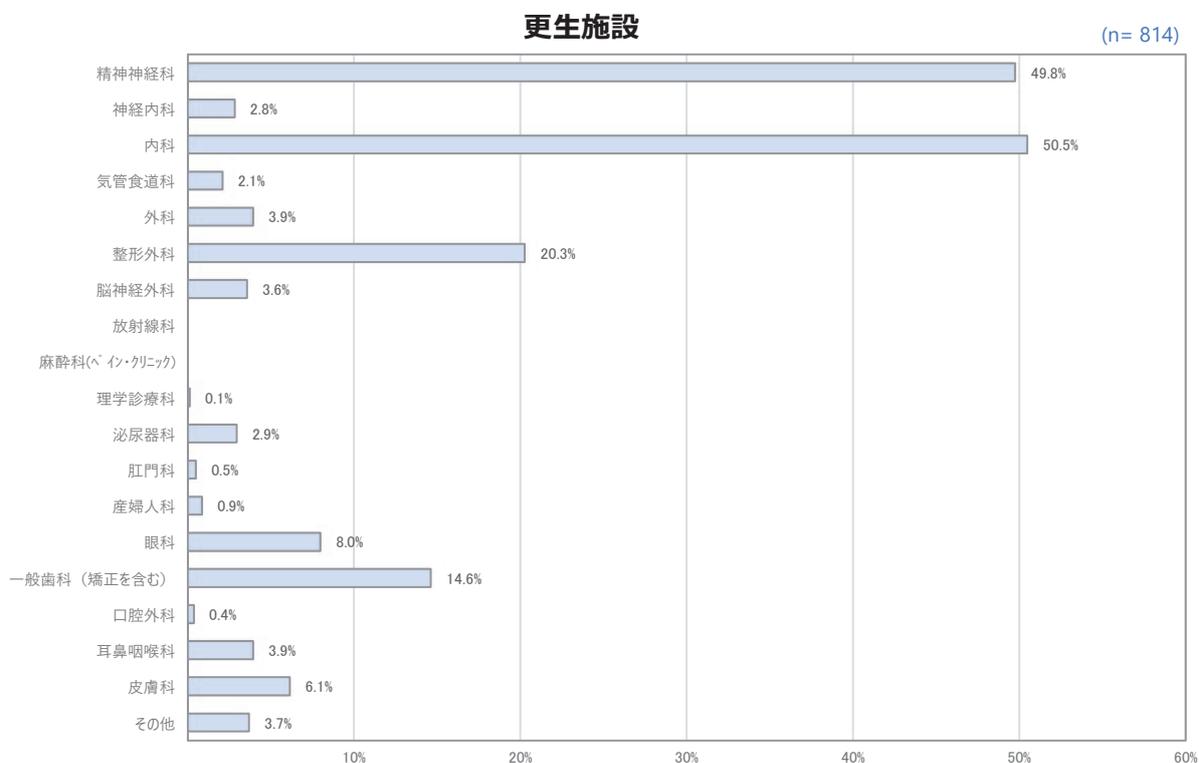
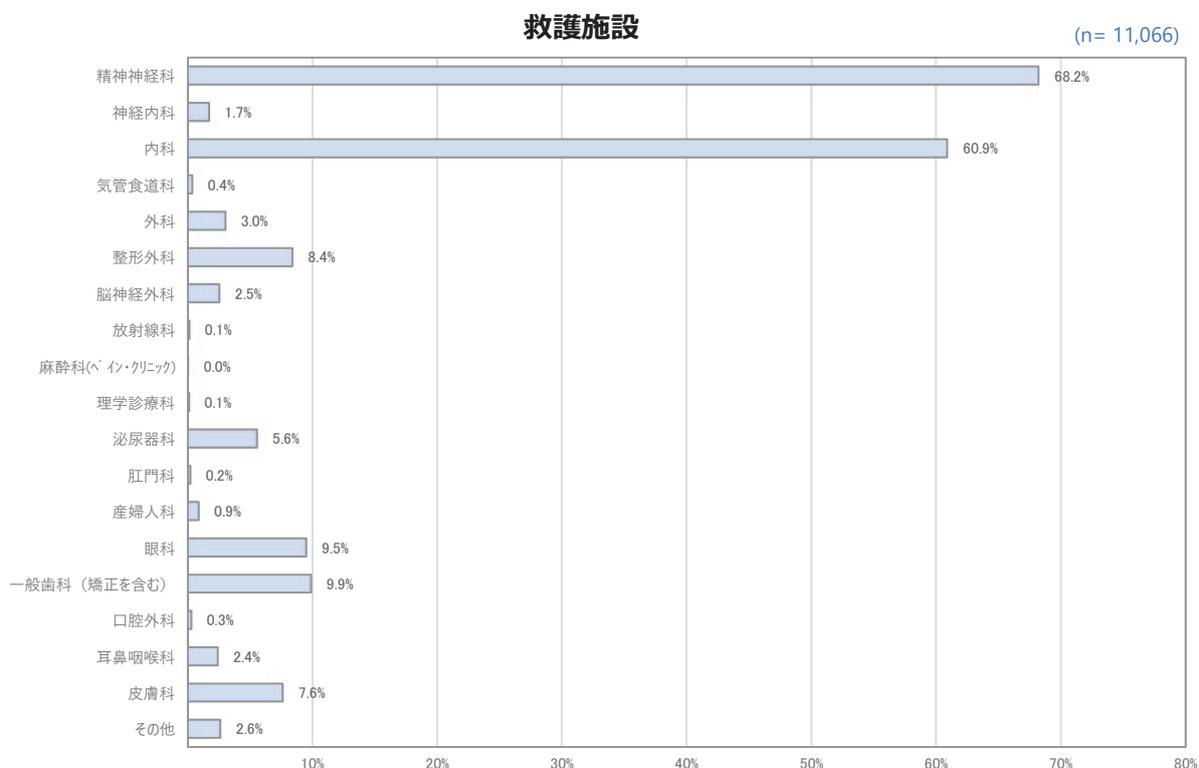
保護授産施設は「内科」が最も多く80人（58.4%）であり、次いで「整形外科」34人（24.8%）、「精神神経科」27人（19.7%）、「その他」10人（7.3%）と続いている。

社会事業授産施設は「内科」が最も多く132人（68.0%）であり、次いで「整形外科」33人（17.0%）、「精神神経科」30人（15.5%）、「一般歯科（矯正含む）」14人（7.2%）と続いている。

「精神神経科」の占める割合は最も多い施設種別は、救護施設（68.2%）であり、次いで更生施設（49.8%）、宿所提供施設（45.2%）、保護授産施設（19.7%）と続いている。

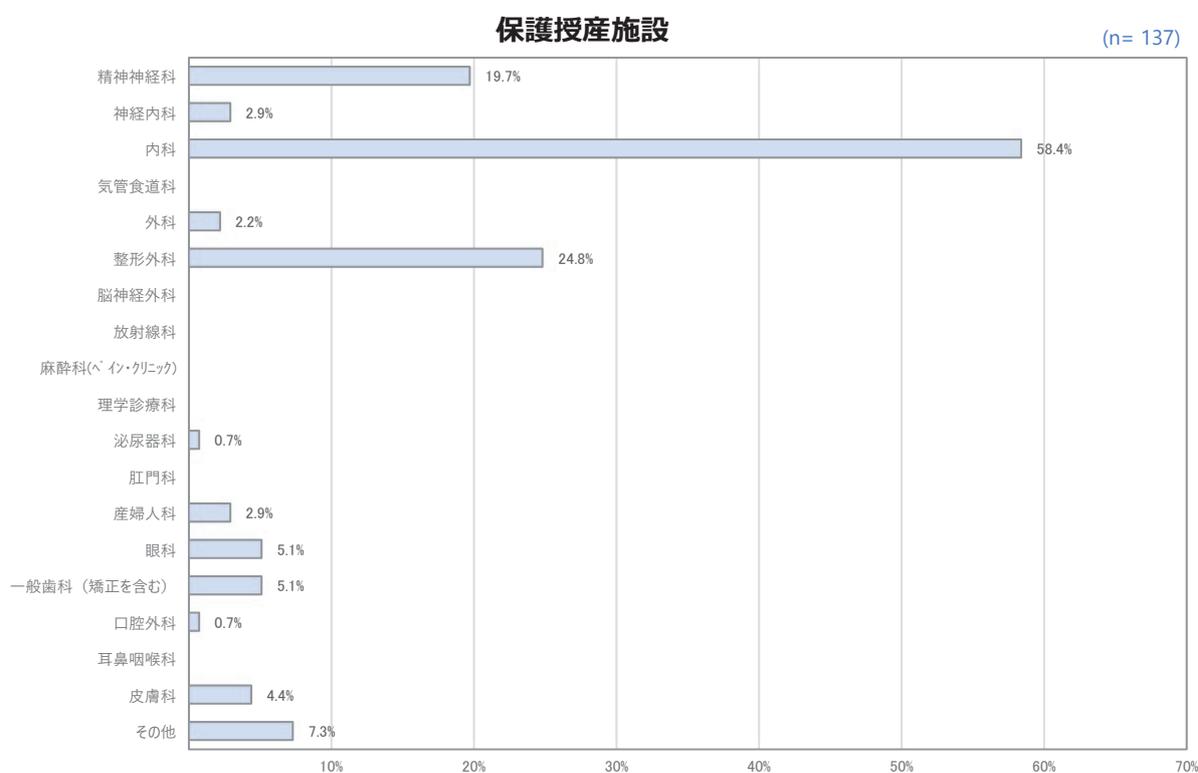
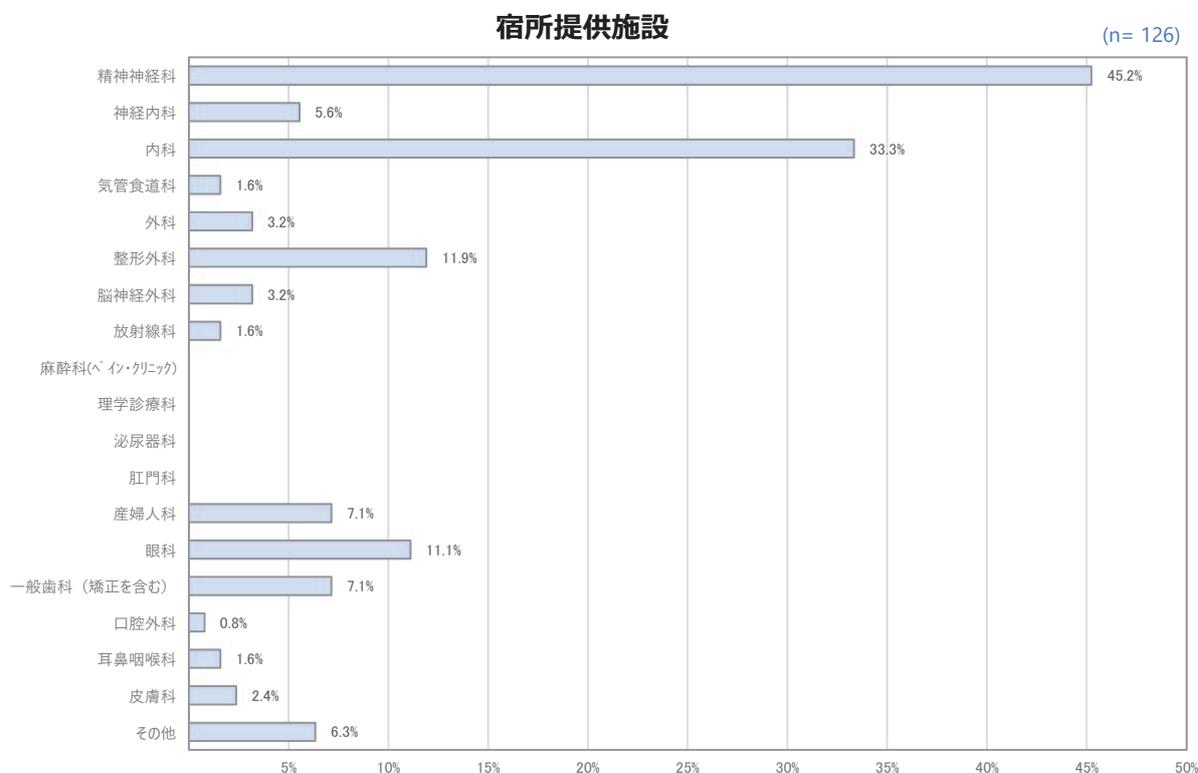
1. 基本情報

(11) 受診の状況



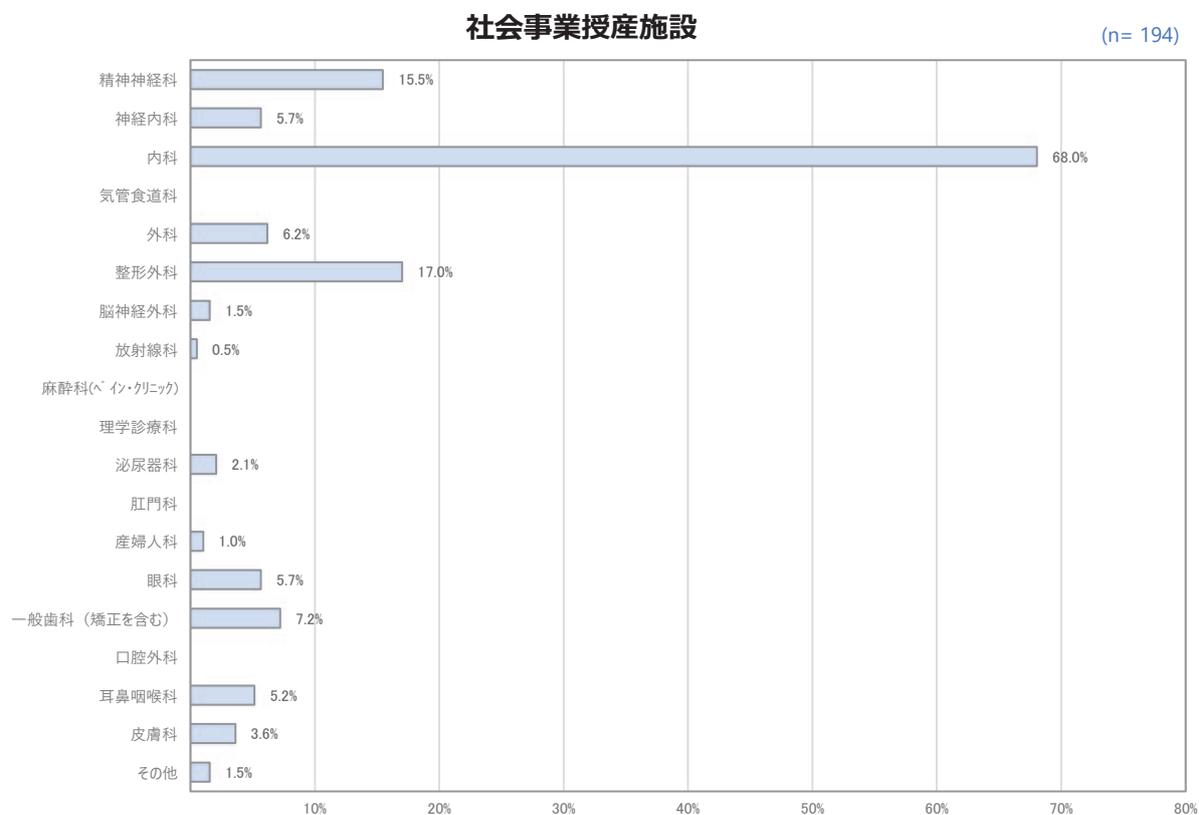
1. 基本情報

(11) 受診の状況



1. 基本情報

(11) 受診の状況



1. 基本情報

(11) 受診の状況

《主なその他の内容》

救護施設

- 施設への往診にて対応
- リハビリテーション科

更生施設

- リハビリテーション科

1. 基本情報

(11) 受診の状況

◆通院同行支援の状況

(n= 12,337)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: 送迎や通院同行等の支援を受けていない	974	8.8%	699	85.9%	110	87.3%	129	94.2%	179	92.3%
1: 他の利用者との集団通院時に送迎を利用	5,508	49.8%	22	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%
2: 本人の通院時に個別に送迎を利用	5,563	50.3%	48	5.9%	4	3.2%	4	2.9%	7	3.6%
3: 診察室や薬局への同行支援を受けている	7,285	65.8%	46	5.7%	2	1.6%	3	2.2%	4	2.1%
4: その他	436	3.9%	12	1.5%	9	7.1%	1	0.7%	0	0.0%
有効回答数	11,066	-	814	-	126	-	137	-	194	-

救護施設は「診察室や薬局への動向支援を受けている（主治医面談や薬の説明の同席等）」が最も多く7,285人（65.8%）、次いで「本人の通院時に個別に送迎を利用している」が5,563人（50.3%）、「他の利用者との集団通院時には送迎を利用している」が5,508人（49.8%）と続いている。

更生施設は「送迎や通院同行の支援を受けていない（自立）」が最も多く699人（85.9%）、次いで「本人の通院時に個別に送迎を利用している」が48人（5.9%）「診察室や薬局への動向支援を受けている（主治医面談や薬の説明の同席等）」が46人（5.7%）と続いている。

宿所提供施設は「送迎や通院同行の支援を受けていない（自立）」が最も多く110人（87.3%）、次いで「その他」が9人（7.1%）、「本人の通院時に個別に送迎を利用している」が4人（3.2%）と続いている。

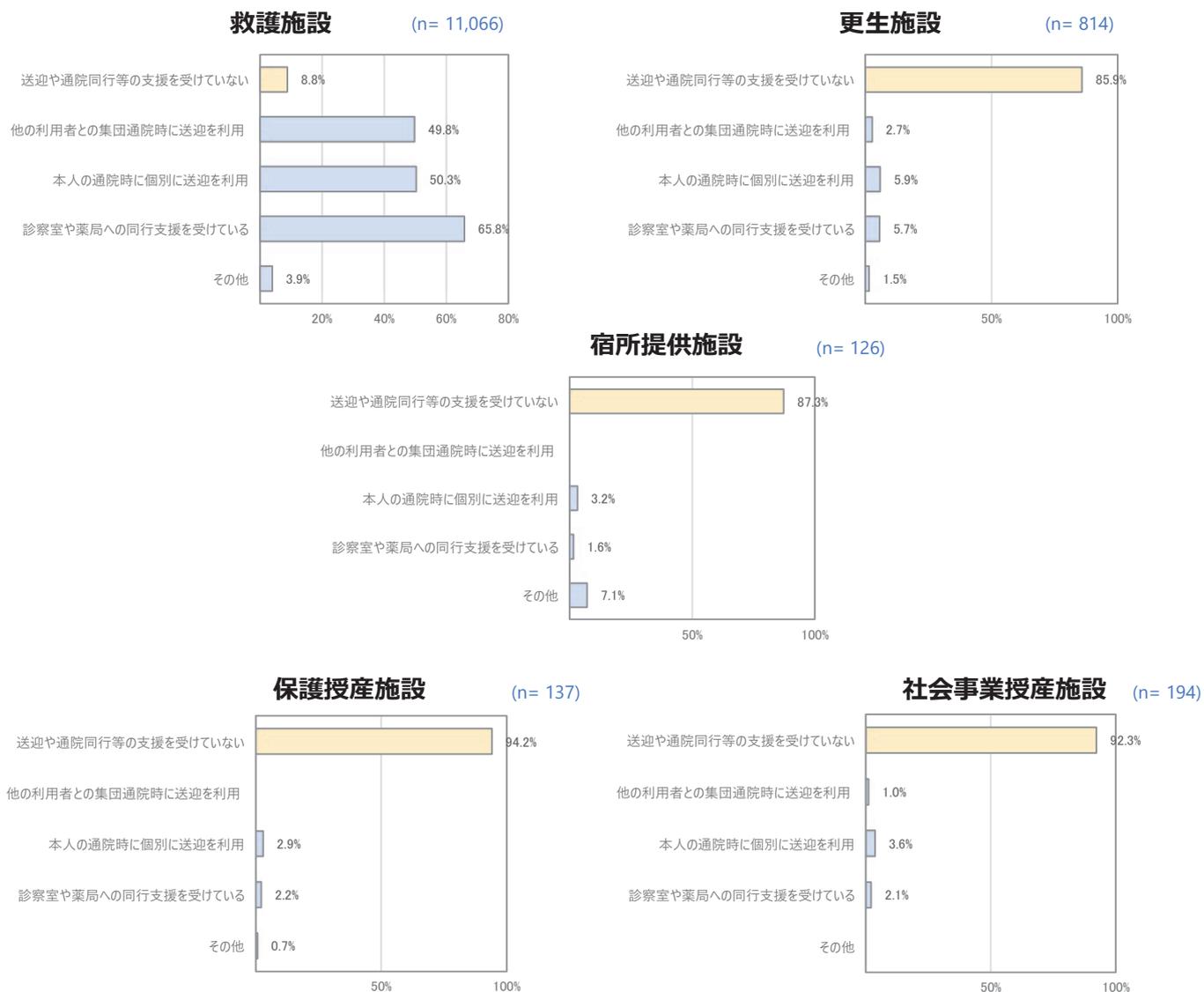
保護授産施設は「送迎や通院同行の支援を受けていない（自立）」が最も多く129人（94.2%）、次いで「本人の通院時に個別に送迎を利用している」が4人（2.9%）「診察室や薬局への動向支援を受けている（主治医面談や薬の説明の同席等）」が3人（2.2%）と続いている。

社会事業授産施設は「送迎や通院同行の支援を受けていない（自立）」が最も多く179人（92.3%）、次いで「本人の通院時に個別に送迎を利用している」が7人（3.6%）「診察室や薬局への動向支援を受けている（主治医面談や薬の説明の同席等）」が4人（2.1%）と続いている。

「診察室や薬局への同行支援を受けている（主治医面談や薬の説明の同席等）」の占める割合が最も高い施設種別は救護施設（65.8%）、次いで更生施設（5.7%）、保護授産施設（2.2%）、社会事業授産施設（2.1%）と続いている。

1. 基本情報

(11) 受診の状況



1. 基本情報

(11) 受診の状況

《主なその他の内容》

救護施設

- 嘱託医による往診（必要に応じて施設看護師が情報共有を行う）
- 親族による同行（施設側は連絡調整）
- 病院による送迎を利用

更生施設

- 嘱託医による往診
- 親族による同行

宿所提供施設

- 家族による通院同行

2. 生活能力の状況

(12) 金銭管理

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で金銭を管理できる	2,191	18.9%	624	65.5%	190	88.4%	167	86.1%	238	76.3%
3: 助言があれば自分で金銭を管理できる	1,670	14.4%	121	12.7%	13	6.0%	7	3.6%	18	5.8%
2: 助言と援助があれば自分で金銭を管理できる	2,822	24.4%	127	13.3%	9	4.2%	16	8.2%	24	7.7%
1: 助言や援助があっても自分で金銭を管理できない	4,857	42.0%	78	8.2%	3	1.4%	3	1.5%	12	3.8%
無回答	35	0.3%	2	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	20	6.4%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.10		3.36		3.81		3.75		3.65	

救護施設は「助言や援助があっても自分で金銭を管理することができない」が最も多く4,857人（42.0%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で金銭を管理することができる」2,822人（24.4%）、「自分で金銭を管理できる」2,191人（18.9%）、「助言があれば自分で金銭を管理できる」1,670人（14.4%）と続いている。

更生施設は「自分で金銭を管理できる」が最も多く624人（65.5%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で金銭を管理することができる」127人（13.3%）、「助言があれば自分で金銭を管理できる」121人（12.7%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で金銭を管理できる」が最も多く190人（88.4%）であり、次いで「助言があれば自分で金銭を管理できる」13人（6.0%）、「助言と援助があれば自分で金銭を管理できる」9人（4.2%）と続いている。

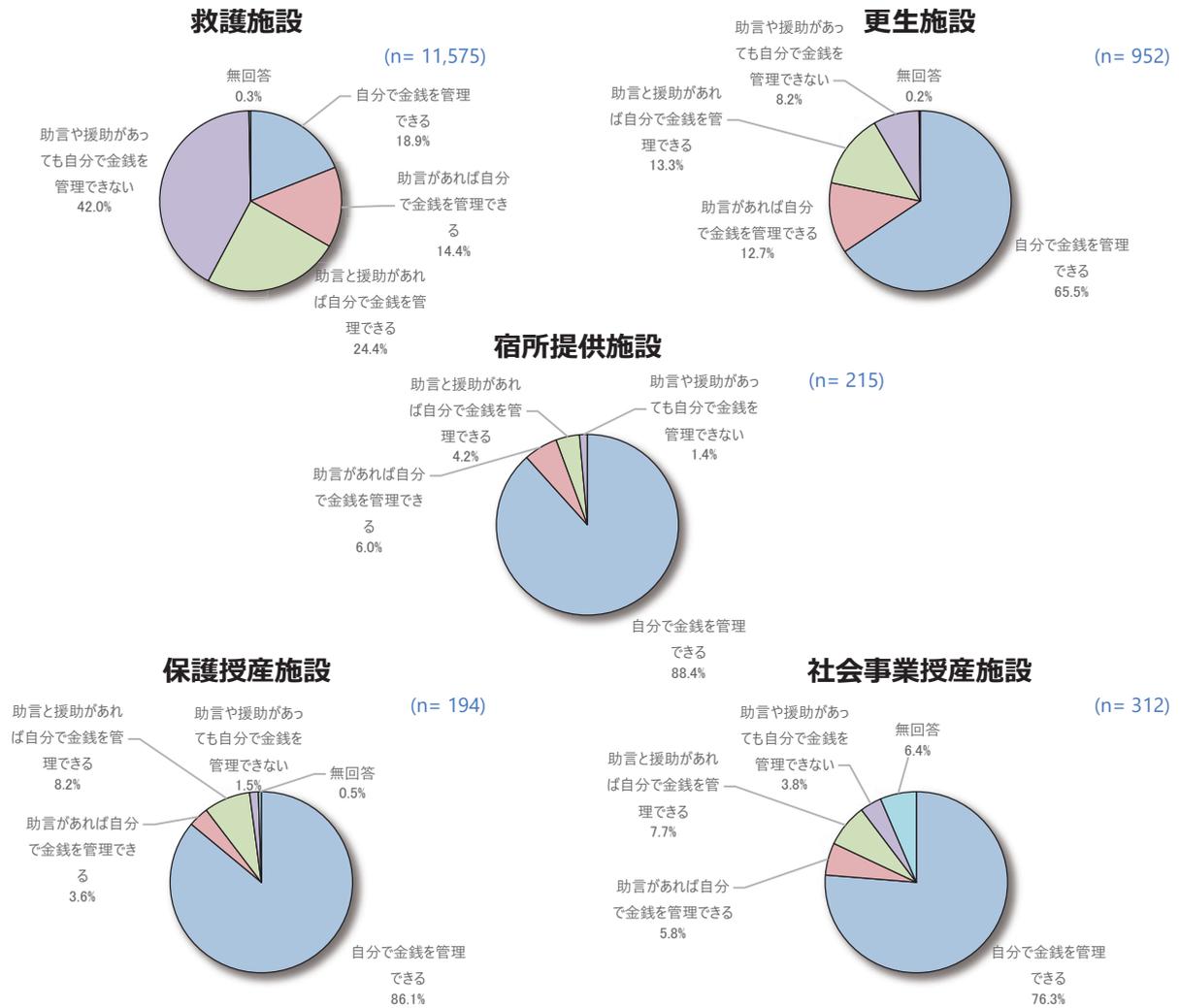
保護授産施設は「自分で金銭を管理できる」が最も多く167人（86.1%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で金銭を管理することができる」16人（8.2%）、「助言があれば自分で金銭を管理することができる」7人（3.6%）と続いている。

社会事業授産施設は「自分で金銭を管理することができる」が最も多く238人（76.3%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で金銭を管理することができる」24人（7.7%）、「無回答」20人（6.4%）、「助言があれば自分で金銭を管理することができる」18人（5.8%）と続いている。

「助言や援助があっても自分で金銭を管理することができない」が占める割合が最も多い施設種別は、救護施設（42.0%）であり、次いで更生施設（8.2%）、社会事業授産施設（3.8%）、保護授産施設（1.5%）と続いている。

2. 生活能力の状況

(12) 金銭管理



2. 生活能力の状況

(13) 服薬管理

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で服薬を管理できる	1,445	12.5%	539	56.6%	188	87.4%	182	93.8%	261	83.7%
3: 助言があれば自分で服薬を管理できる	1,372	11.9%	108	11.3%	9	4.2%	4	2.1%	18	5.8%
2: 助言と援助があれば自分で服薬を管理できる	2,577	22.3%	225	23.6%	5	2.3%	6	3.1%	7	2.2%
1: 助言や援助があっても自分で服薬を管理できない	6,104	52.7%	76	8.0%	3	1.4%	2	1.0%	4	1.3%
無回答	77	0.7%	4	0.4%	10	4.7%	0	0.0%	22	7.1%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	1.84		3.17		3.86		3.89		3.85	

救護施設は「助言や援助があっても自分で服薬を管理することができない」が最も多く6,104人（52.7%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で服薬を管理することができる」2,577人（22.3%）、「自分で服薬を管理できる」1,445人（12.5%）、「助言があれば自分で服薬を管理できる」1,372人（11.9%）と続いている。

更生施設は「自分で服薬を管理できる」が最も多く539人（56.6%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で服薬を管理することができる」225人（23.6%）、「助言があれば自分で服薬を管理できる」108人（11.3%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で服薬を管理できる」が最も多く188人（87.4%）であり、次いで「無回答」10人（4.7%）、「助言があれば自分で服薬を管理できる」9人（4.2%）、「助言と援助があれば自分で服薬を管理できる」5人（4.2%）と続いている。

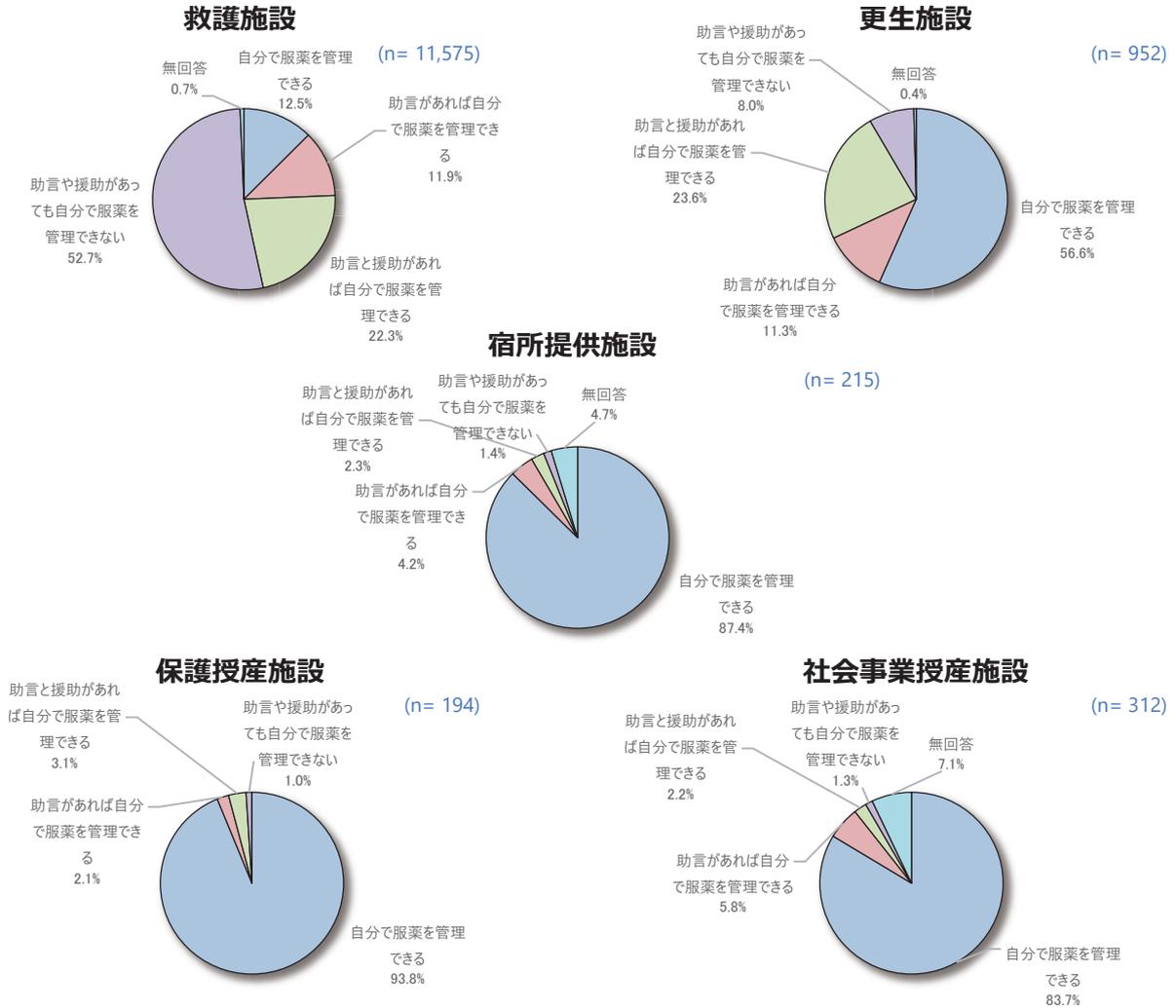
保護授産施設は「自分で服薬を管理できる」が最も多く182人（93.8%）であり、次いで「助言と援助があれば自分で服薬を管理することができる」6人（3.1%）、「助言があれば自分で服薬を管理することができる」4人（2.1%）と続いている。

社会事業授産施設は「自分で服薬を管理することができる」が最も多く261人（83.7%）であり、次いで「無回答」22人（7.1%）、「助言があれば自分で服薬を管理することができる」18人（5.8%）、「助言と援助があれば自分で服薬を管理することができる」7人（2.2%）と続いている。

「助言や援助があっても自分で服薬を管理することができない」の占める割合が最も多い施設種別は、救護施設（52.7%）であり、次いで更生施設（8.0%）、宿所提供施設（1.4%）、社会事業授産施設（1.3%）と続いている。

2. 生活能力の状況

(13) 服薬管理



2. 生活能力の状況

(14) コミュニケーション

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができる	4,233	36.6%	635	66.7%	179	83.3%	161	83.0%	262	84.0%
3: 助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる	2,989	25.8%	199	20.9%	28	13.0%	24	12.4%	20	6.4%
2: 助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができる	3,286	28.4%	96	10.1%	7	3.3%	6	3.1%	6	1.9%
1: 助言や援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない	1,020	8.8%	21	2.2%	1	0.5%	2	1.0%	4	1.3%
無回答	47	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.5%	20	6.4%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.91		3.52		3.79		3.78		3.85	

救護施設は「他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」が最も多く4,233人（36.6%）であり、次いで「助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」3,286人（28.4%）、「助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」2,989人（25.8%）、「助言や援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」1,020人（8.8%）と続いている。

更生施設は「他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」が最も多く635人（66.7%）であり、次いで「助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」199人（20.9%）、「助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」96人（10.1%）、「助言と援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」21人（2.2%）と続いている。

宿所提供施設は「他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」が最も多く179人（83.3%）であり、次いで「助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」28人（13.0%）、「助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」7人（3.3%）、「助言と援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」1人（0.5%）と続いている。

保護授産施設は「他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」が最も多く161人（83.0%）であり、次いで「助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」24人（12.4%）、「助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」6人（3.1%）、「助言と援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」2人（1.0%）と続いている。

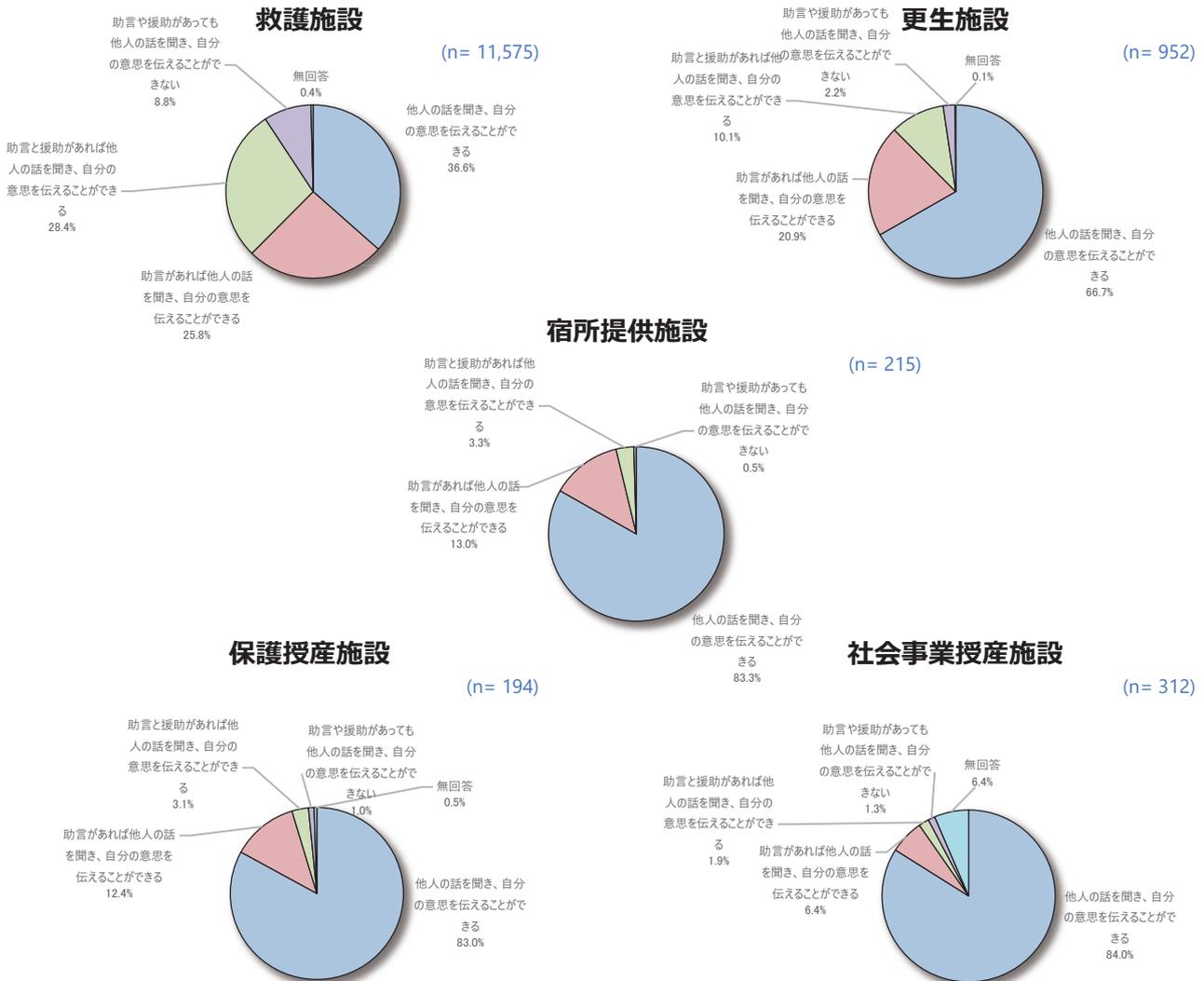
社会事業授産施設は「他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」が最も多く262人（84.0%）であり、次いで「助言があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」「無回答」が共に20人

（6.4%）、「助言と援助があれば他人の話を聞き、自分の意見を伝えることができる」6人（1.9%）、「助言と援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」4人（1.3%）と続いている。

「助言と援助があっても他人の話を聞き、自分の意思を伝えることができない」が最も多い施設種別は救護施設（8.8%）であり、次いで更生施設（2.2%）、社会事業授産施設（1.3%）、保護授産施設（1.0%）、宿所提供施設（0.5%）と続いている。

2. 生活能力の状況

(14) コミュニケーション



2. 生活能力の状況

(15) 電話

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で適切に電話を使用することができる	3,969	34.3%	771	81.0%	197	91.6%	171	88.1%	267	85.6%
3: 助言があれば電話を使用することができる	2,335	20.2%	102	10.7%	12	5.6%	16	8.2%	12	3.8%
2: 助言と援助があれば電話を使用することができる	3,012	26.0%	57	6.0%	3	1.4%	4	2.1%	6	1.9%
1: 助言や援助があっても電話を使用することができない	2,219	19.2%	20	2.1%	3	1.4%	2	1.0%	6	1.9%
無回答	40	0.3%	2	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	21	6.7%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.70		3.71		3.87		3.84		3.86	

救護施設は「自分で適切に電話を使用することができる」が最も多く3,969人（34.3%）であり、次いで「助言と援助があれば電話を使用することができる」3,012人（26.0%）、「助言があれば電話を使用することができる」2,335人（20.2%）、「助言や援助があっても電話を使用することができない」2,219人（19.2%）と続いている。

更生施設は「自分で適切に電話を使用することができる」が最も多く771人（81.0%）であり、次いで「助言があれば電話を使用することができる」102人（10.7%）、「助言と援助があれば電話を使用することができる」57人（6.0%）、「助言や援助があっても電話を使用することができない」20人（2.1%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で適切に電話を使用することができる」が最も多く197人（91.6%）であり、次いで「助言があれば電話を使用することができる」12人（5.6%）、「助言と援助があれば電話を使用することができる」「助言や援助があっても電話を使用することができない」が共に3人（1.4%）と続いている。

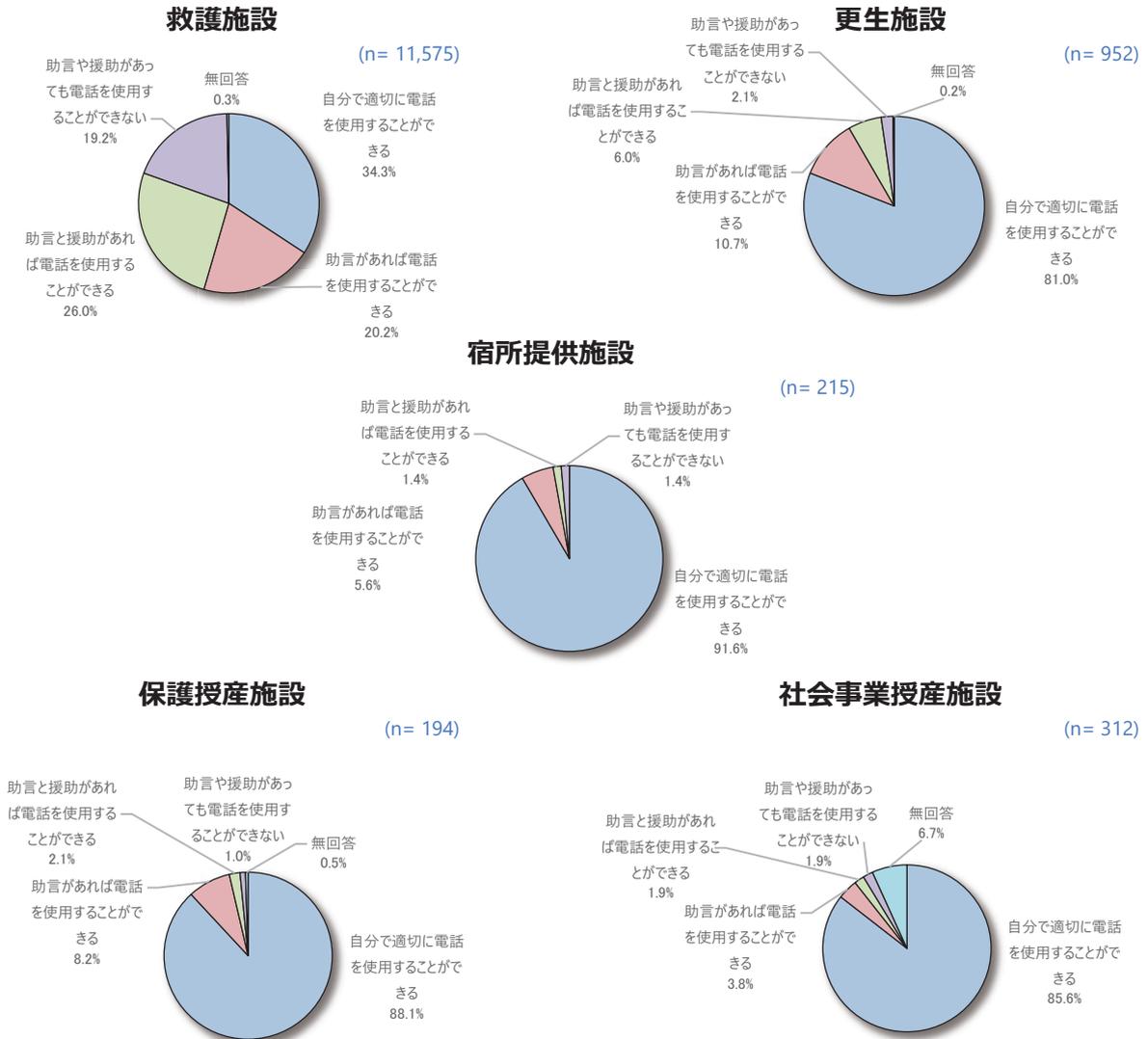
保護授産施設は「自分で適切に電話を使用することができる」が最も多く171人（88.1%）であり、次いで「助言があれば電話を使用することができる」16人（8.2%）、「助言と援助があれば電話を使用することができる」4人（2.1%）、「助言や援助があっても電話を使用することができない」2人（1.0%）と続いている。

社会事業授産施設は、「自分で適切に電話を使用することができる」が最も多く267人（85.6%）であり、次いで「無回答」21人（6.7%）、「助言があれば電話を使用することができる」12人（3.8%）、「助言と援助があれば電話を使用することができる」「助言や援助があっても電話を使用することができない」が共に6人（1.9%）と続いている。

「助言や援助があっても電話を使用することができない」の割合が最も多い施設種別は、救護施設（19.2%）であり、次いで、更生施設（2.1%）、社会事業授産施設（1.9%）、宿所提供施設（1.4%）と続いている。

2. 生活能力の状況

(15) 電話



2. 生活能力の状況

(16) マナー

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる	3,077	26.6%	623	65.4%	169	78.6%	146	75.3%	258	82.7%
3: 助言があればマナーを守ることができる	3,512	30.3%	208	21.8%	36	16.7%	39	20.1%	24	7.7%
2: 助言と援助があればマナーを守ることができる	3,386	29.3%	84	8.8%	5	2.3%	6	3.1%	6	1.9%
1: 助言や援助があってもマナーを守ることができない	1,568	13.5%	34	3.6%	5	2.3%	2	1.0%	4	1.3%
無回答	32	0.3%	3	0.3%	0	0.0%	1	0.5%	20	6.4%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.70		3.50		3.72		3.70		3.84	

救護施設は「助言があればマナーを守ることができる」が最も多く3,512人（30.3%）であり、次いで「助言と援助があればマナーを守ることができる」3,386人（29.3%）、「自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる」3,077人（26.6%）、「助言や援助があってもマナーを守ることができない」1,568人（13.5%）と続いている。

更生施設は「自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる」が最も多く623人（65.4%）であり、次いで「助言があればマナーを守ることができる」208人（21.8%）、「助言と援助があればマナーを守ることができる」84人（8.8%）、「助言や援助があってもマナーを守ることができない」34人（3.6%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる」が最も多く169人（78.6%）であり、次いで「助言があればマナーを守ることができる」36人（16.78%）、「助言と援助があればマナーを守ることができる」「助言や援助があってもマナーを守ることができない」が共に5人（2.3%）と続いている。

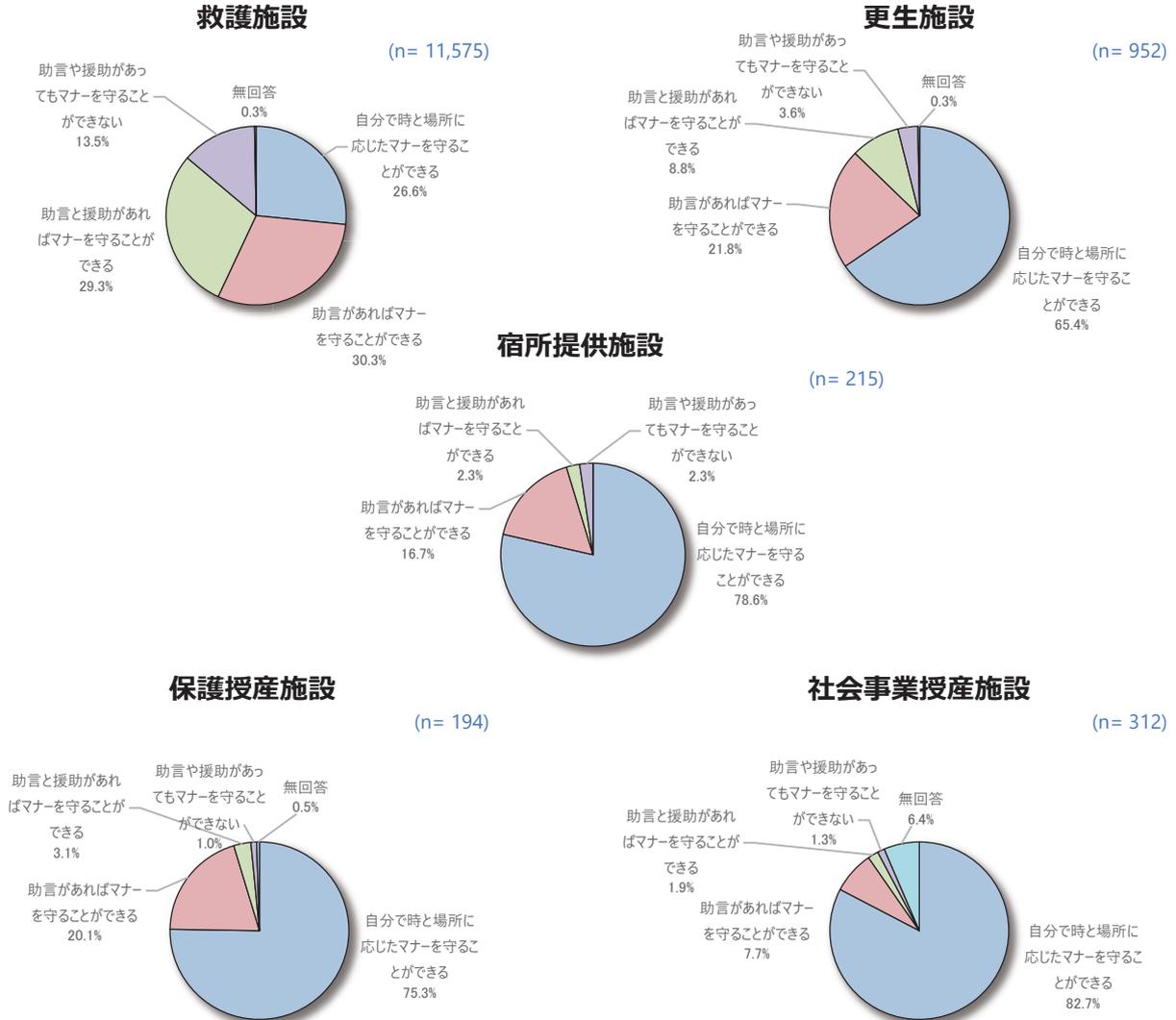
保護授産施設は、「自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる」が最も多く146人（75.3%）であり、次いで「助言があればマナーを守ることができる」39人（20.1%）、「助言と援助があればマナーを守ることができる」6人（3.1%）、「助言や援助があってもマナーを守ることができない」が1人（0.5%）と続いている。

社会事業授産施設は、「自分で時と場所に応じたマナーを守ることができる」が最も多く258人（82.7%）であり、次いで「助言があればマナーを守ることができる」24人（7.7%）、「無回答」20人（6.4%）、「助言と援助があればマナーを守ることができる」6人（1.9%）と続いている。

「助言や援助があってもマナーを守ることができない」の占める割合が最も多い施設種別は、救護施設（13.5%）であり、次いで、更生施設（3.6%）、宿所提供施設（2.3%）、社会事業授産施設（1.3）と続いている。

2. 生活能力の状況

(16) マナー



2. 生活能力の状況

(17) 公共機関の利用

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる	1,865	16.1%	693	72.8%	188	87.4%	151	77.8%	267	85.6%
3: 助言があれば公共機関を利用できる	1,827	15.8%	156	16.4%	10	4.7%	21	10.8%	12	3.8%
2: 助言と援助があれば公共機関を利用できる	4,035	34.9%	88	9.2%	14	6.5%	16	8.2%	13	4.2%
1: 助言や援助があっても公共機関を利用できない	3,816	33.0%	14	1.5%	3	1.4%	5	2.6%	5	1.6%
無回答	32	0.3%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.5%	15	4.8%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.15		3.61		3.78		3.65		3.82	

救護施設は「助言と援助があれば公共機関を利用できる」が最も多く4,035人（34.9%）、次いで「助言や援助があっても公共機関を利用できない」が3,816人（33.0%）、「自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる」が1,865人（16.1%）、「助言があれば公共機関を利用できる」が1,827人（15.8%）と続いている。

更生施設は「自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる」が最も多く693人（72.8%）、次いで「助言があれば公共機関を利用できる」が156人（16.4%）、「助言と援助があれば公共機関を利用できる」が88人（9.2%）、「助言や援助があっても公共機関を利用できない」が14人（1.5%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる」が最も多く188人（87.4%）、次いで「助言と援助があれば公共機関を利用できる」が14人（6.5%）、「助言があれば公共機関を利用できる」が10人（4.7%）、「助言や援助があっても公共機関を利用できない」が3人（1.4%）と続いている。

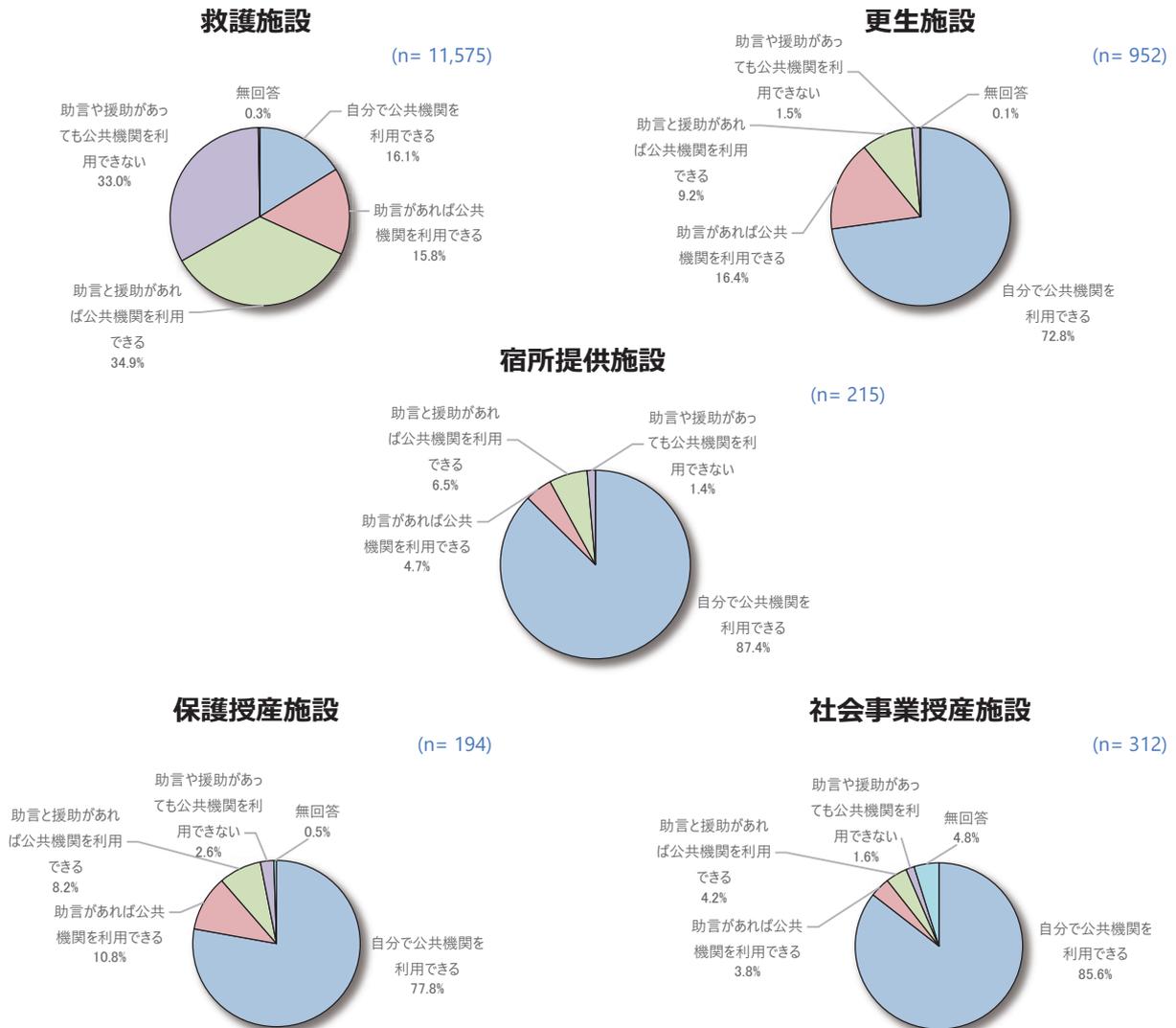
保護授産施設は「自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる」が最も多く151人（77.8%）、次いで「助言があれば公共機関を利用できる」が21人（10.8%）、「助言と援助があれば公共機関を利用できる」が16人（8.2%）、「助言や援助があっても公共機関を利用できない」が5人（2.6%）と続いている。

社会事業授産施設は「自分で公共機関（役所や郵便局、銀行等）を利用できる」が最も多く267人（85.6%）、次いで「助言と援助があれば公共機関を利用できる」が13人（4.2%）、「助言があれば公共機関を利用できる」が12人（3.8%）と続いている。

「助言や援助があっても公共機関を利用できない」の占める割合が最も多い施設種別は、救護施設（33.0%）、次いで保護授産施設（2.6%）、更生施設と社会事業授産施設（1.6%）が続いている。

2. 生活能力の状況

(17) 公共機関の利用



2. 生活能力の状況

(18) 交通機関の利用

(n= 13,248)

pt	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
4: 自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる	2,427	21.0%	800	84.0%	194	90.2%	166	85.6%	271	86.9%
3: 助言があれば交通機関を利用できる	1,512	13.1%	81	8.5%	8	3.7%	19	9.8%	9	2.9%
2: 助言と援助があれば交通機関を利用できる	3,965	34.3%	56	5.9%	11	5.1%	5	2.6%	11	3.5%
1: 助言や援助があっても交通機関を利用できない	3,636	31.4%	13	1.4%	2	0.9%	3	1.5%	5	1.6%
無回答	35	0.3%	2	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	16	5.1%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%
平均 pt	2.24		3.76		3.83		3.80		3.84	

救護施設は「助言と援助があれば交通機関を利用できる」が最も多く3,965人（34.3%）、次いで「助言や援助があっても交通機関を利用できない」が3,636人（31.4%）、「自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる」が2,427人（21.0%）、「助言があれば交通機関を利用できる」が1,512人（13.1%）と続いている。

更生施設は、「自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる」が最も多く800人（84.0%）、次いで「助言があれば交通機関を利用できる」が81人（8.5%）、「助言と援助があれば交通機関を利用できる」が56人（5.9%）、「助言や援助があっても交通機関を利用できない」が13人（1.4%）と続いている。

宿所提供施設は「自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる」が最も多く194人（90.2%）、次いで「助言と援助があれば交通機関を利用できる」が11人（5.1%）、「助言があれば交通機関を利用できる」が8人（3.7%）、「助言や援助があっても交通機関を利用できない」2人（0.9%）と続いている。

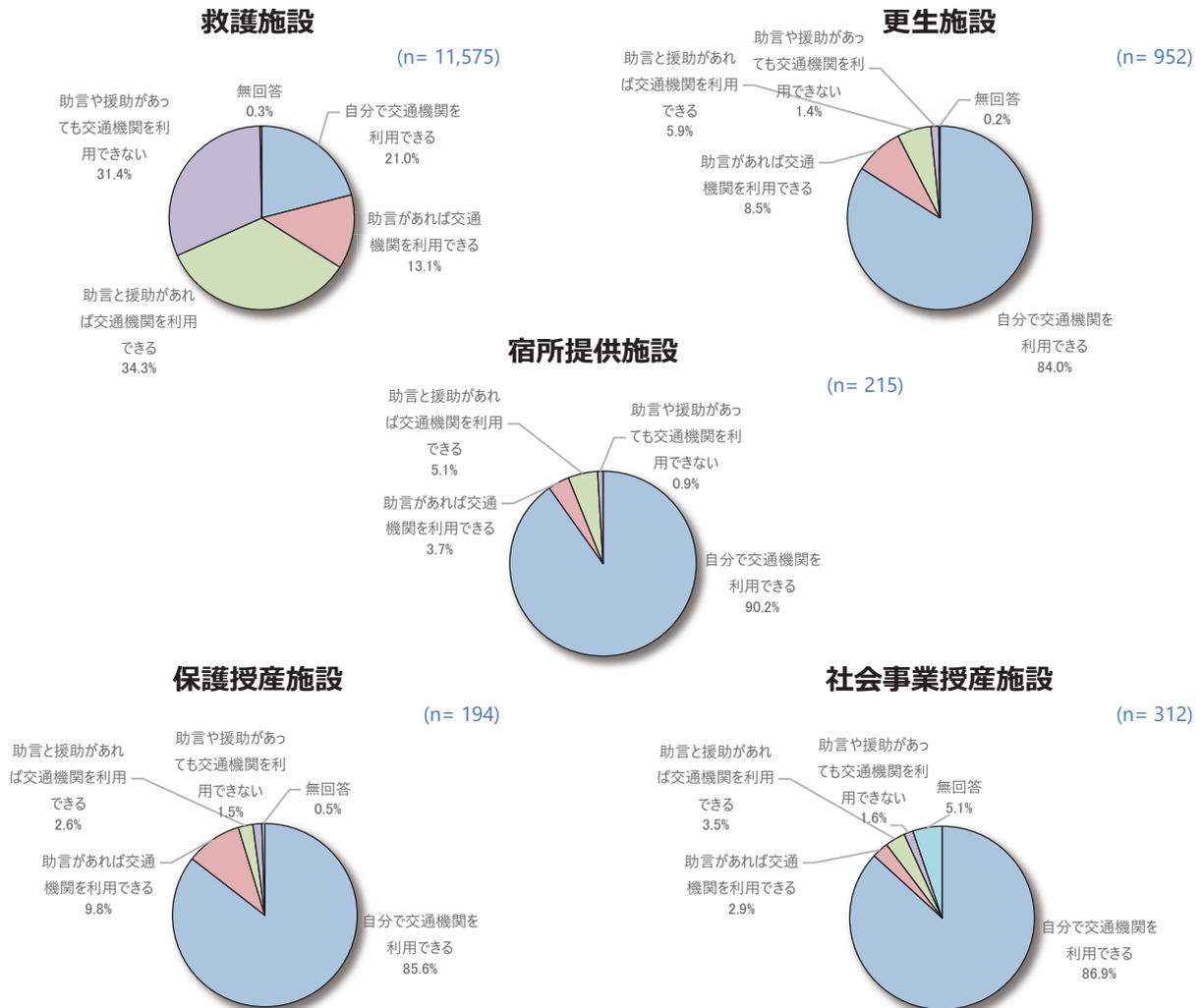
保護授産施設は「自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる」が最も多く166人（85.6%）、次いで「助言があれば交通機関を利用できる」が19人（9.8%）、「助言と援助があれば交通機関を利用できる」が5人（2.6%）、「助言や援助があっても交通機関を利用できない」が3人（1.5%）と続いている。

社会事業授産施設は、「自分で交通機関（電車、バス等）を利用できる」が最も多く271人（86.9%）、次いで「助言と援助があれば交通機関を利用できる」が11人（3.5%）、「助言があれば交通機関を利用できる」が9人（2.9%）、「助言と援助があっても交通機関を利用できない」が5人（1.6%）と続いている。

「助言と援助があっても交通機関を利用できない」の占める割合が最も多い施設種別は、救護施設（31.4%）、次いで社会事業授産施設（1.6%）、保護授産施設（1.5%）、更生施設（1.4%）と続いている。

2. 生活能力の状況

(18) 交通機関の利用



3. 支援の状況

(19) 現在の主な日中活動 [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

(n= 12,742)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 施設内での日中活動	10,942	94.5%	592	62.2%	62	28.8%				
2: 外勤	349	3.0%	159	16.7%	22	10.2%				
3: 求職活動	94	0.8%	87	9.1%	26	12.1%				
4: 転居先探し	120	1.0%	56	5.9%	131	60.9%				
5: デイケア	183	1.6%	132	13.9%	8	3.7%				
6: その他	450	3.9%	60	6.3%	34	15.8%				
有効回答数	11,575	-	952	-	215	-				

救護施設は「施設内での日中活動」が最も多く10,942人（94.5%）であり、次いで「その他」450人（3.9%）、「外勤」349人（3.0%）、「デイケア」183人（1.6%）、「転居先探し」120人（1.0%）と続いている。

更生施設は「施設内での日中活動」が最も多く592人（62.2%）であり、次いで「外勤」159人（16.7%）、「デイケア」132人（13.9%）、「求職活動」87人（9.1%）と続いている。

宿所提供施設は「転居先探し」が最も多く131人（60.9%）であり、次いで、「施設内での日中活動」62人（28.8%）、「その他」34人（15.8%）、「求職活動」26人（12.1%）と続いている。

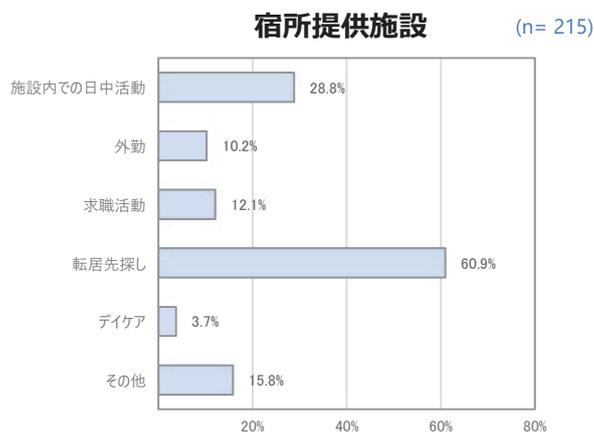
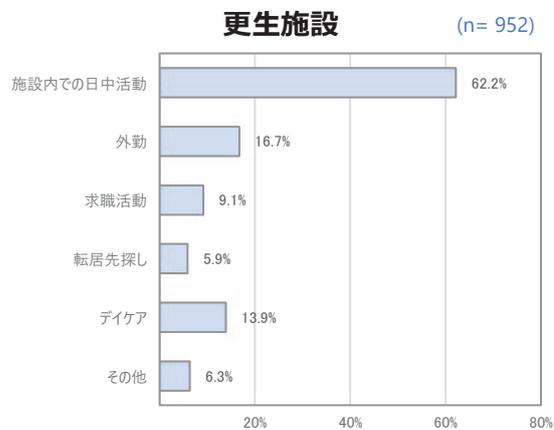
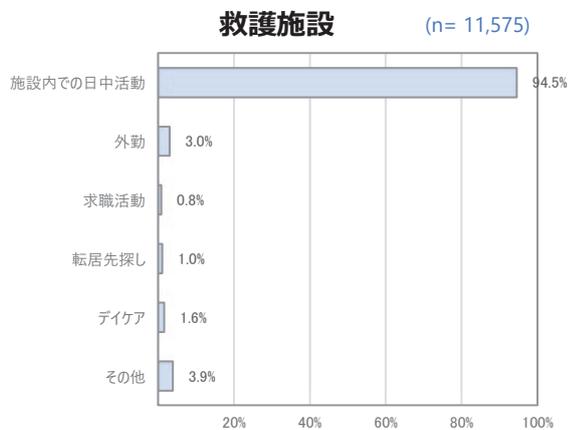
「施設内での日中活動」の占める割合が最も高い施設種別は救護施設（94.5%）であり、次いで、更生施設（62.2%）、宿所提供施設（28.8%）と続いている。

「デイケア」の占める割合が最も高い施設種別は、更生施設（13.9%）であり、次いで、宿所提供施設（3.7%）、救護施設（1.6%）と続いている。

「転居先探し」の占める割合が最も高い施設種別は宿所提供施設（60.9%）であり、次いで更生施設（5.9%）、救護施設（1.0%）と続いている。

3. 支援の状況

(19) 現在の主な日中活動 [救護施設・更生施設・宿所提供施設]



3. 支援の状況

(19) 現在の主な日中活動 [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

《主なその他の内容》

救護施設

- 病気の治療等
- 他制度利用に向けた他制度の体験等
- 依存症の自助グループ等への参加等

更生施設

- 病気の治療等
- 依存症の自助グループ等への参加等

宿所提供施設

- 病気の治療等

3. 支援の状況

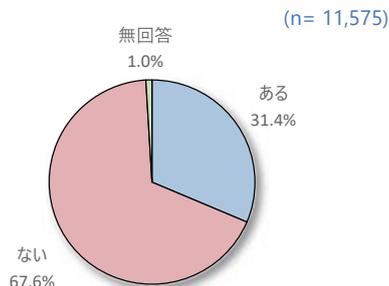
(20) 日中活動による収入

(n = 13,248)

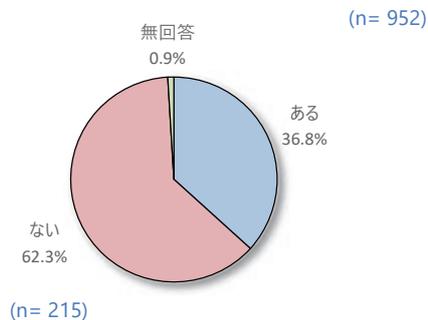
	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: ある	3,637	31.4%	350	36.8%	26	12.1%	173	89.2%	276	88.5%
2: ない	7,825	67.6%	593	62.3%	184	85.6%	21	10.8%	35	11.2%
無回答	113	1.0%	9	0.9%	5	2.3%	0	0.0%	1	0.3%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は「ある」が3,637人（31.4%）、「ない」が7,825人（67.6%）である。
 更生施設は「ある」が350人（36.8%）、「ない」が593人（62.3%）である。
 宿所提供施設は「ある」が26人（12.1%）、「ない」が184人（85.6%）である。
 保護授産施設は「ある」が173人（89.2%）、「ない」が21人（10.8%）である。
 社会事業授産施設は「ある」が276人（88.5%）、「ない」が35人（11.2%）である。
 日中活動による収入が「ある」の占める割合が最も高い施設種別は、保護授産施設（89.2%）、次いで社会事業授産施設（88.5%）更生施設（36.8%）、救護施設（31.4%）、宿所提供施設（12.1%）と続いている。

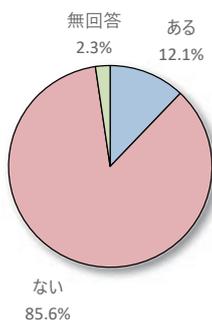
救護施設



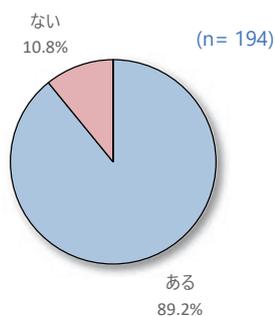
更生施設



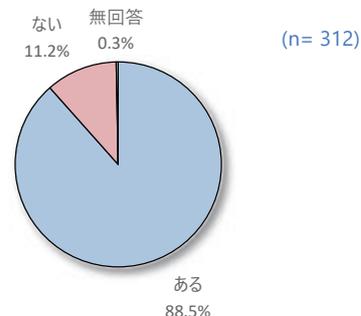
宿所提供施設



保護授産施設



社会事業授産施設



3. 支援の状況

(21) 通所日数 [保護授産施設・社会事業授産施設]

2019年9月(1か月計)通所日数

(n = 506)

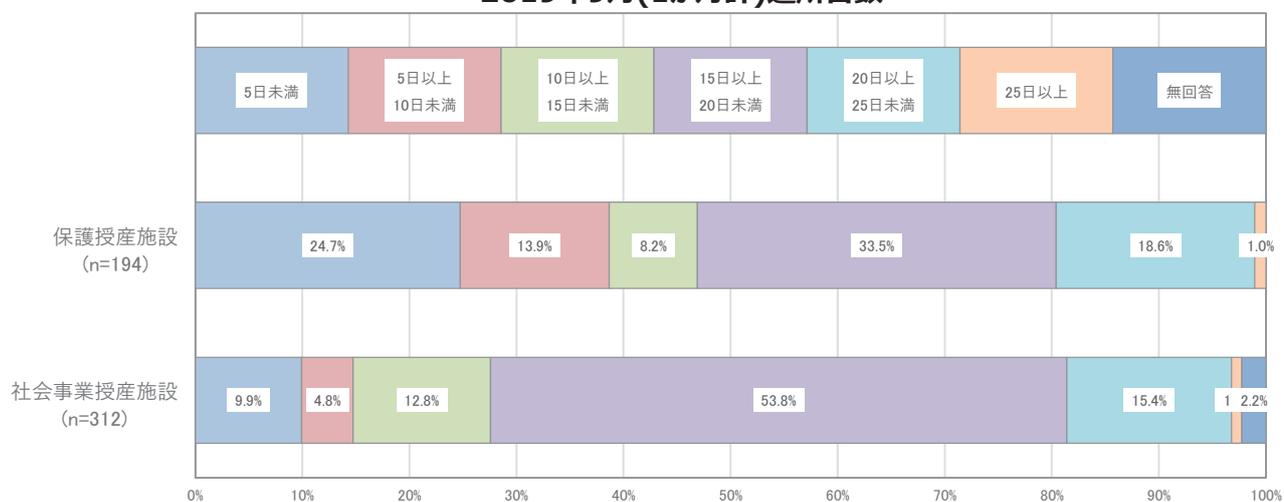
	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 5日未満							48	24.7%	31	9.9%
2: 5日以上10日未満							27	13.9%	15	4.8%
3: 10日以上15日未満							16	8.2%	40	12.8%
4: 15日以上20日未満							65	33.5%	168	53.8%
5: 20日以上25日未満							36	18.6%	48	15.4%
6: 25日以上							2	1.0%	3	1.0%
無回答							0	0.0%	7	2.2%
合計							194	100%	312	100%
平均							12.4日		15.5日	
最大							26日		25日	
最小							0日		0日	

保護授産施設では「15日以上20日未満」が最も多く65人（33.5%）であり、次いで「5日未満」48人（24.7%）、「20日以上25日未満」36人（18.6%）、「5日以上10日未満」27人（13.9%）と続いている。

社会事業授産施設では「15日以上20日未満」が最も多く168人（53.8%）であり、次いで「20日以上25日未満」48人（15.4%）、「10日以上15日未満」40人（12.8%）、「5日未満」31人（9.9%）と続いている。

1か月平均の通所日数は、保護授産施設が12.4日、社会事業授産施設は15.5日である。

2019年9月(1か月計)通所日数



3. 支援の状況

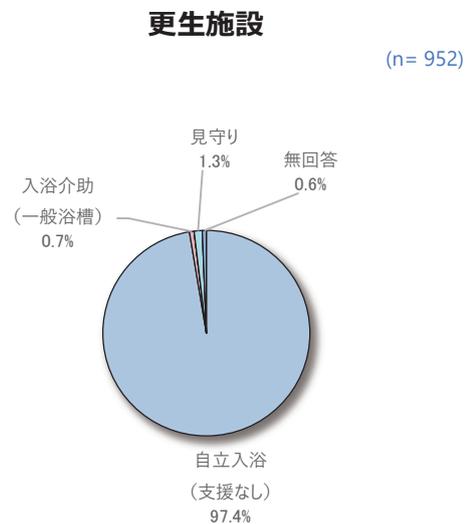
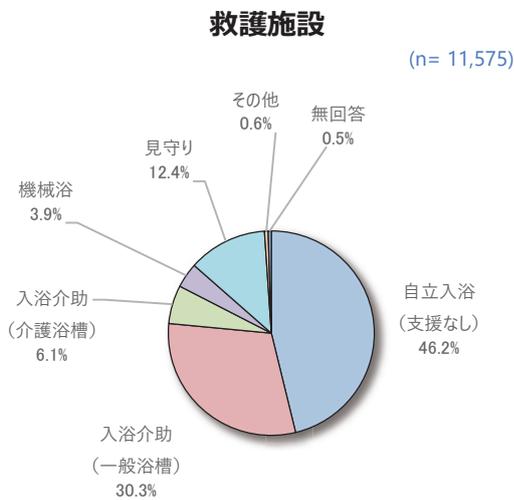
(22) 入浴の状況 [救護施設・更生施設]

(n = 12,527)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: 自立入浴（支援なし）	5,348	46.2%	927	97.4%						
1: 入浴介助（一般浴槽）	3,508	30.3%	7	0.7%						
2: 入浴介助（介護浴槽）	704	6.1%	0	0.0%						
3: 機械浴	456	3.9%	0	0.0%						
4: 見守り	1,436	12.4%	12	1.3%						
5: その他	66	0.6%	0	0.0%						
無回答	57	0.5%	6	0.6%						
合計	11,575	100%	952	100%						

救護施設は「自立入浴（支援なし）」が最も多く5,348人（46.2%）、次いで「入浴介助（一般浴槽）」が3,508人（30.3%）、「見守り」が1,436人（12.4%）、「入浴介助（介護浴槽）」が704人（6.1%）と続いている。

更生施設は「自立入浴（支援なし）」が最も多く927人（97.4%）、次いで「見守り」が12人（1.3%）、「入浴介助（一般浴槽）」が7人（0.7%）と続いている。



3. 支援の状況

(22) 入浴の状況 [救護施設・更生施設]

《主なその他の内容》

救護施設

- シャワー浴
- 他の利用者との入浴をずらすなどの配慮が必要な入浴（皮膚疾患、入れ墨）
- 声掛け、誘導（入浴拒否等）

3. 支援の状況

(23) 食事の状況 [救護施設・更生施設]

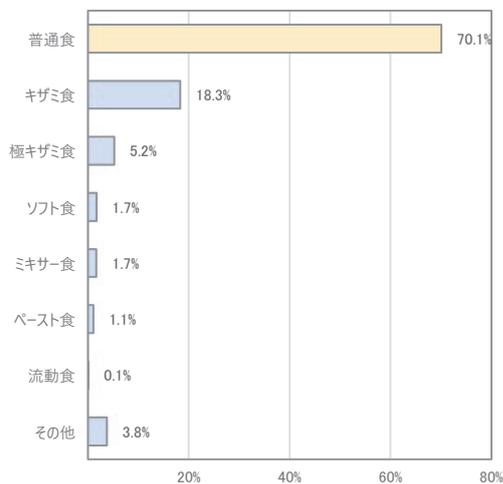
①形態

(n= 12,527)

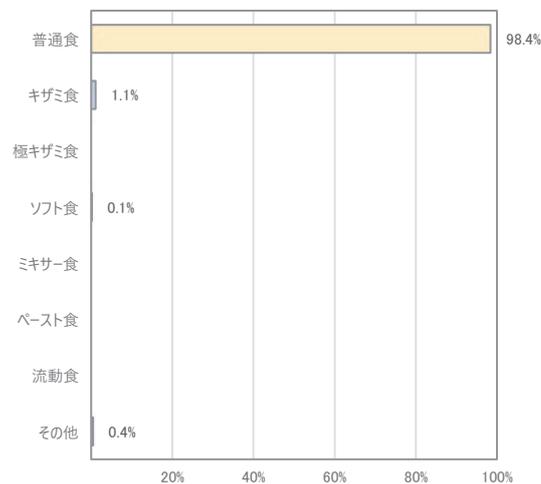
	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: 普通食	8,111	70.1%	937	98.4%						
1: キザミ食	2,122	18.3%	10	1.1%						
2: 極キザミ食	603	5.2%	0	0.0%						
3: ソフト食	201	1.7%	1	0.1%						
4: ミキサー食	195	1.7%	0	0.0%						
5: パースト食	124	1.1%	0	0.0%						
6: 流動食	8	0.1%	0	0.0%						
7: その他	436	3.8%	4	0.4%						
有効回答数	11,575	-	952	-						

救護施設は「普通食のみ」が最も多く8,111人（70.1%）、次いで「キザミ食」が2,122人（18.3%）、「極キザミ食」が603人（5.2%）、「その他」が436人（3.8%）と続いている。
 更生施設は「普通食のみ」が最も多く937人（98.4%）、次いで「キザミ食」が10人（1.1%）、「その他」が4人（0.4%）と続いている。

救護施設 (n= 11,575)



更生施設 (n= 952)



3. 支援の状況

(23) 食事の状況 [救護施設・更生施設]

《主なその他の内容》

救護施設

- 主食は粥
- ゼリー食

更生施設

- 主食は粥

3. 支援の状況

(23) 食事の状況 [救護施設・更生施設]

②治療食

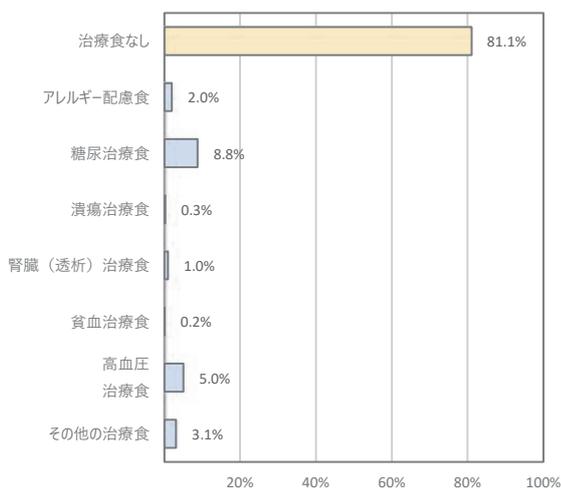
(n= 12,527)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0: 治療食なし	9,383	81.1%	909	95.5%						
1: アレルギー配慮食	236	2.0%	14	1.5%						
2: 糖尿治療食	1,021	8.8%	17	1.8%						
3: 潰瘍治療食	33	0.3%	0	0.0%						
4: 腎臓（透析）治療食	116	1.0%	4	0.4%						
5: 貧血治療食	18	0.2%	0	0.0%						
6: 高血圧治療食	582	5.0%	4	0.4%						
7: その他の治療食	364	3.1%	2	0.2%						
有効回答数	11,575	-	952	-						

救護施設は「治療食なし（不要）」が最も多く、9,383人（81.1%）であり、次いで「糖尿治療食」1,021人（8.8%）、「高血圧治療食」582人（5.0%）、「その他の治療食」364（3.1%）と続いている。更生施設は「治療食なし（不要）」が最も多く、909人（95.5%）であり、次いで「糖尿治療食」17人（1.8%）、「アレルギー配慮食」14人（1.5%）、「腎臓（透析）治療食」「高血圧治療食」が共に4人（0.4%）と続いている。

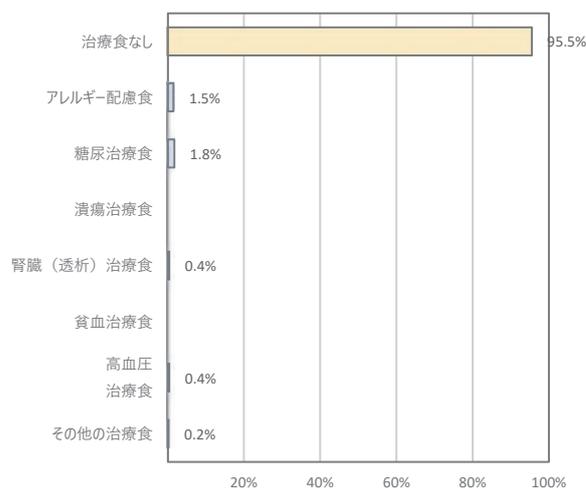
救護施設

(n= 11,575)



更生施設

(n= 952)



3. 支援の状況

(23) 食事の状況 [救護施設・更生施設]

《主なその他の治療食》

救護施設

- 心臓病食
- 肝臓病食
- カロリー制限食
- 脂質異常症食
- 腸閉塞予防食
- カリウム制限食
- 低ナトリウム血症食

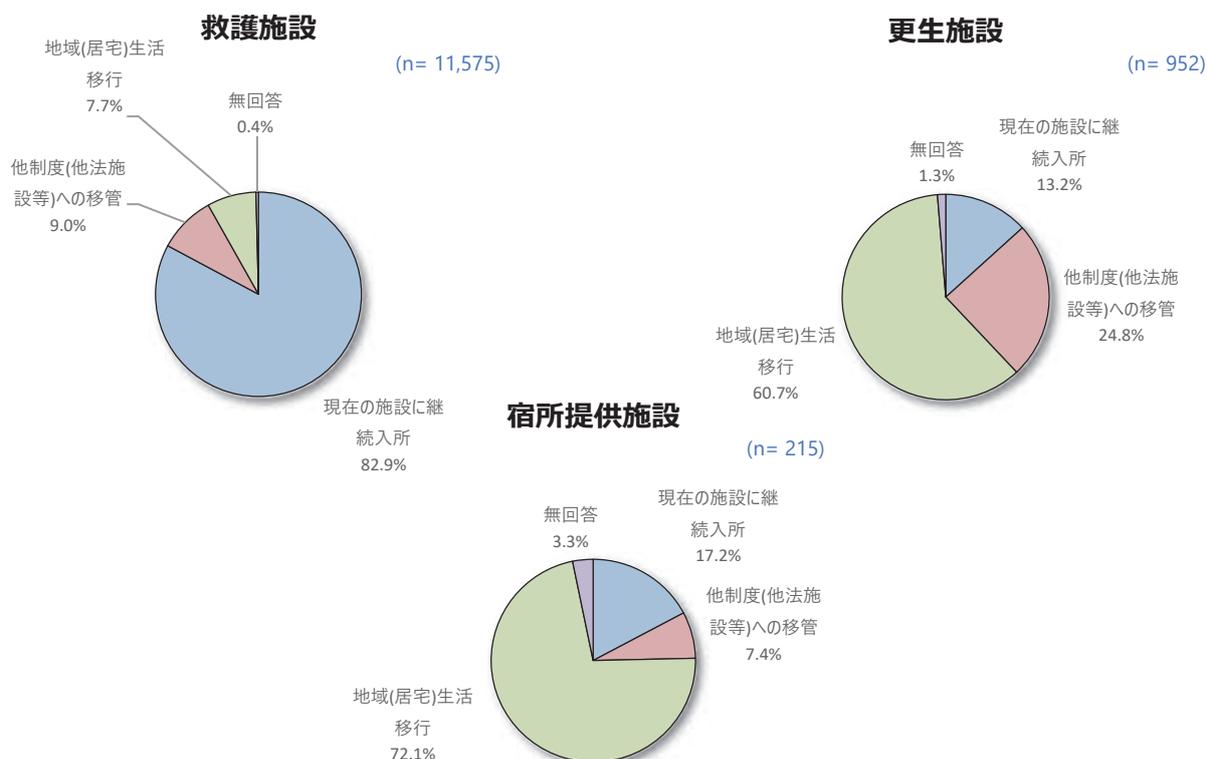
3. 支援の状況

(24) 1年後の居住の場(施設の見立てや方針) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

(n = 12,742)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 現在の施設に継続入所	9,594	82.9%	126	13.2%	37	17.2%				
2: 他制度(他法施設等)への移管	1,042	9.0%	236	24.8%	16	7.4%				
3: 地域(居宅)生活移行	892	7.7%	578	60.7%	155	72.1%				
無回答	47	0.4%	12	1.3%	7	3.3%				
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%				

救護施設は「現在の施設に継続入所」が最も多く、9,594人（82.9%）であり、次いで「他制度(他法施設等)への移管」1,042人（9.0%）、「地域（居宅）生活移行」892人（7.7%）と続いている。
 更生施設は「地域（居宅）生活移行」が最も多く、578人（60.7%）であり、次いで「他制度(他法施設等)への移管」236人（24.8%）、「現在の施設に継続入所」126人（13.2%）と続いている。
 宿所提供施設は「地域（居宅）生活移行」が最も多く155人（72.1%）であり、次いで「現在の施設に継続入所」37人（17.2%）、「他制度(他法施設等)への移管」16人（7.4%）と続いている。
 「現在の施設に継続入所」の占める割合が最も高い施設種別は救護施設（82.9%）であり、次いで宿所提供施設（17.2%）、更生施設（13.2%）と続いている。
 「地域（居宅）生活移行」の占める割合が最も高い施設種別は宿所提供施設（72.1%）が最も多く、次いで更生施設（60.7%）、救護施設（7.7%）と続いている。
 「他制度(他法施設等)への移管」の占める割合が最も高い施設種別は更生施設（24.8%）であり、次いで、救護施設（9.0%）、宿所提供施設（7.4%）と続いている。



3. 支援の状況

(24) 1年後の居住の場(施設の見立てや方針) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

◆理由

(n= 9,757)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 本人の状態から継続入所が適切である	8,335	86.9%	108	85.7%	29	78.4%				
2: 他施設への移管先が見つからない	653	6.8%	11	8.7%	6	16.2%				
3: 他施設の入所待機の状態である	30	0.3%	1	0.8%	0	0.0%				
4: 他施設での受け入れが困難	168	1.8%	1	0.8%	0	0.0%				
5: 他制度の対象とならないため	206	2.1%	2	1.6%	0	0.0%				
6: その他	109	1.1%	1	0.8%	2	5.4%				
無回答	93	1.0%	2	1.6%	0	0.0%				
合計	9,594	100%	126	100%	37	100%				

救護施設は「本人の状態から継続入所が適切である」が最も多く8,335人（86.9%）であり、次いで「他施設への移管先が見つからない」653人（6.8%）、「他制度の対象とならないため」206人（2.1%）、「他施設での受け入れが困難（例／暴力、虐待、債務、触法、依存症等）」168人（1.8%）と続いている。

更生施設は「本人の状態から継続入所が適切である」が最も多く108人（85.7%）であり、次いで「他施設への移管先が見つからない」11人（8.7%）、「他制度の対象とならないため」「その他」が共に2人（1.6%）と続いている。

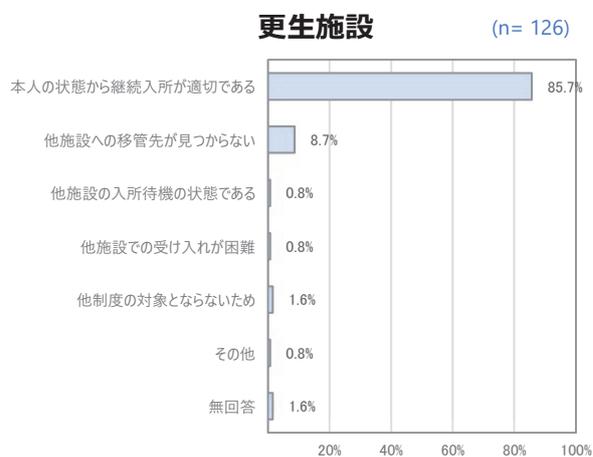
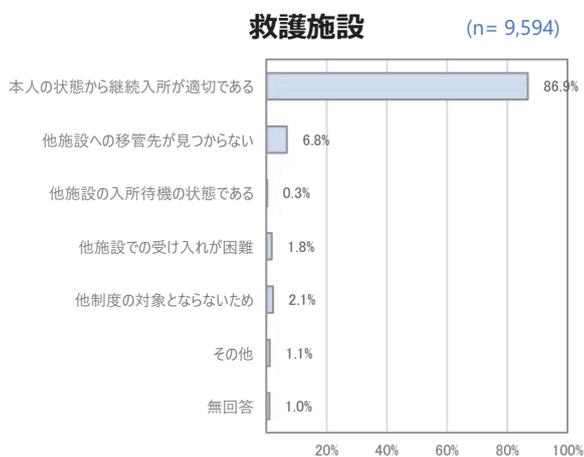
宿所提供施設は「本人の状態から継続入所が適切である」が最も多く29人（78.4%）であり、次いで、「他施設への移管先が見つからない」6人（16.2%）、「その他」2人（5.4%）と続いている。

「他施設への移管先が見つからない」の占める割合が最も高い施設種別は、宿所提供施設（16.2%）、更生施設（8.7%）、救護施設（6.8%）と続いている。

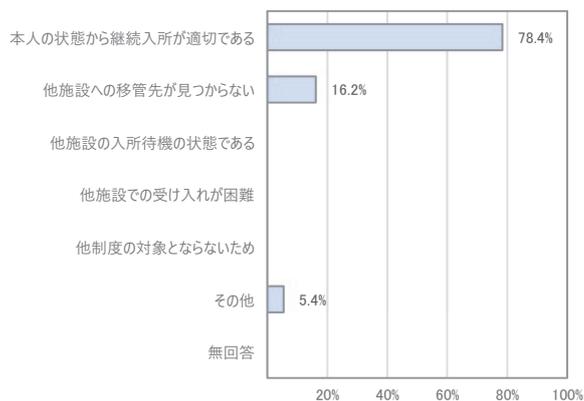
3. 支援の状況

(24) 1年後の居住の場(施設の見立てや方針) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

◆理由



宿所提供施設 (n= 37)



3. 支援の状況

(24) 1年後の居住の場(施設の見立てや方針) [救護施設・更生施設・宿所提供施設]

《主なその他の内容》

救護施設

- 居宅生活に向けた訓練を行うため
- 居宅生活移行のための環境を整えている段階のため（市営住宅への申し込み等）
- 居宅生活移行について、本人が希望していないため
- 居宅生活移行について、家族や身元引受人の理解・協力が得られないため
- 債務整理等に期間を要するため
- 就籍手続きを行っているため
- 依存症等により単独生活では再発の恐れがあるため

3. 支援の状況

(25) 今後の就労・日中活動の場(施設の見立てや方針)

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 一般就労(特例子会社・重度障害者多数雇用事業所を含む)	340	2.9%	401	42.1%	89	41.4%	32	16.5%	19	6.1%
2: 福祉的就労(授産施設・就労継続支援事業等)	311	2.7%	106	11.1%	6	2.8%	60	30.9%	142	45.5%
3: 自立訓練(生活訓練)・就労訓練事業(中間的就労)・就労移行支援事業等の利用	565	4.9%	71	7.5%	11	5.1%	0	0.0%	5	1.6%
4: 職業訓練(職業訓練校等)	9	0.1%	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5: 生きがいの日中活動	3,105	26.8%	239	25.1%	53	24.7%	1	0.5%	25	8.0%
6: 現在の施設内サービスの利用	6,969	60.2%	70	7.4%	9	4.2%	98	50.5%	108	34.6%
7: その他	216	1.9%	57	6.0%	46	21.4%	2	1.0%	5	1.6%
無回答	60	0.5%	5	0.5%	1	0.5%	1	0.5%	8	2.6%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設は「現在の施設内サービスの利用」が最も多く6,969人（60.2%）であり、次いで「生きがいの日中活動」3,105人（26.8%）、「自立訓練（生活訓練）・就労訓練事業（中間的就労）・就労移行支援事業等の利用」565人（4.9%）と続いている。

更生施設は「一般就労（特例子会社・重度障害者多数雇用事業所を含む）」が最も多く401人（42.1%）であり、次いで「生きがいの日中活動」239人（25.1%）、「福祉的就労（授産施設・就労継続支援事業等）」106人（11.1%）、「自立訓練（生活訓練）・就労訓練事業（中間的就労）・就労移行支援事業等の利用」71人（7.5%）と続いている。

宿所提供施設は「一般就労（特例子会社・重度障害者多数雇用事業所を含む）」が最も多く89人（41.4%）であり、次いで「生きがいの日中活動」53人（24.7%）、「その他」46人（21.4%）、「自立訓練（生活訓練）・就労訓練事業（中間的就労）・就労移行支援事業等の利用」11人（5.1%）と続いている。

保護授産施設は「現在の施設内サービスの利用」が最も多く98人（50.5%）であり、次いで「福祉的就労（授産施設・就労継続支援事業等）」60人（30.9%）、「一般就労（特例子会社・重度障害者多数雇用事業所を含む）」32人（16.5%）と続いている。

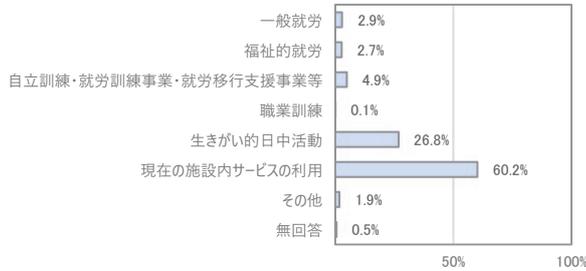
社会事業授産施設では「福祉的就労（授産施設・就労継続支援事業等）」が最も多く142人（45.5%）であり、次いで「現在の施設内サービスの利用」108人（34.6%）、「生きがいの日中活動」25人（8.0%）、「一般就労（特例子会社・重度障害者多数雇用事業所を含む）」19人（6.1%）と続いている。

「自立訓練（生活訓練）・就労訓練事業（中間的就労）・就労移行支援事業等の利用」の占める割合が最も高い施設種別は更生施設（7.5%）であり、次いで宿所提供施設（5.1%）、救護施設（4.9%）と続いている。

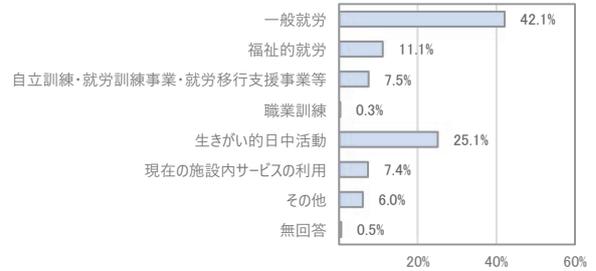
3. 支援の状況

(25) 今後の就労・日中活動の場(施設の見立てや方針)

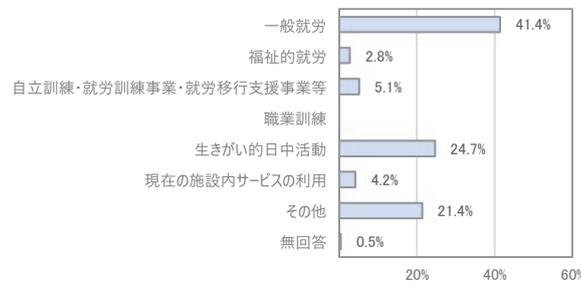
救護施設 (n= 11,575)



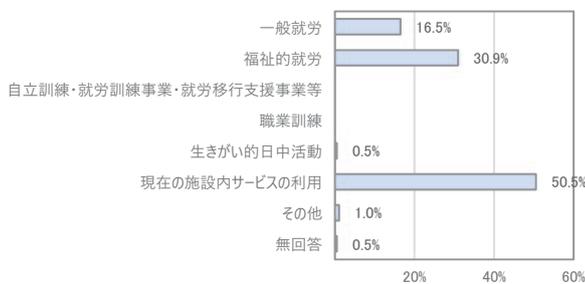
更生施設 (n= 952)



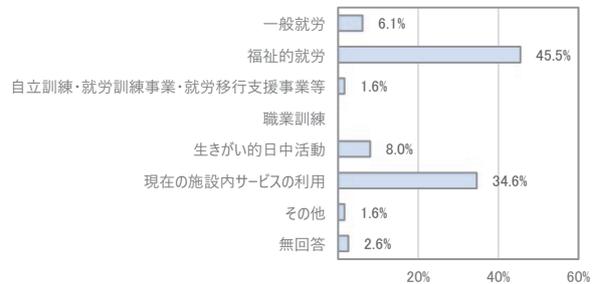
宿所提供施設 (n= 215)



保護授産施設 (n= 194)



社会事業授産施設 (n= 312)



1. 基本情報

(25) 今後の就労・日中活動の場(施設の見立てや方針)

《主なその他の内容》

救護施設

- 他施設への移管（移管した先でのサービスの利用）
- 精神科デイケア
- 依存症の自助グループ等への参加
- 病気の治療等

更生施設

- 他施設への移管（移管した先でのサービスの利用）
- 依存症の自助グループ等への参加

宿所提供施設

- 精神科デイケア
- 病気の治療等
- 依存症等の自助グループ等への参加

保護授産施設

- 介護保険サービスの利用

社会事業授産施設

- 他施設への移管（移管した先でのサービスの利用）

3. 支援の状況

(26) 設問(24)(25)「施設の見立てや方針」に関する福祉事務所との情報の共有

(n= 13,248)

	救護施設		更生施設		宿所提供施設		保護授産施設		社会事業授産施設	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1: 共有している	11,383	98.3%	923	97.0%	213	99.1%	131	67.5%	234	75.0%
2: 共有していない	140	1.2%	22	2.3%	0	0.0%	62	32.0%	63	20.2%
無回答	52	0.4%	7	0.7%	2	0.9%	1	0.5%	15	4.8%
合計	11,575	100%	952	100%	215	100%	194	100%	312	100%

救護施設では「共有している」が最も多く11,383人（98.3%）であり、次いで「共有していない」140人（1.2%）、「無回答」52人（0.4%）と続いている。

更生施設では「共有している」が最も多く923人（97.0%）であり、次いで「共有していない」22人（2.3%）、「無回答」7人（0.7%）と続いている。

宿所提供施設「共有している」が最も多く213人（99.1%）であり、次いで「無回答」2人（0.9%）、「共有していない」はなかった。

保護授産施設では「共有している」が最も多く131人（67.5%）であり、次いで「共有していない」62人（32.0%）、「無回答」1人（0.5%）と続いている。

社会事業授産施設では「共有している」が最も多く234人（75.0%）であり、次いで「共有していない」63人（20.2%）、「無回答」15人（4.8%）と続いている。

「共有していない」の占める割合が高い施設種別は保護授産施設（32.0%）、社会事業授産施設（20.2%）、更生施設（2.3%）、救護施設（1.2%）と続いている。

